

第三編

啓発・管理執行

1 明るい選挙推進運動

(1) 第23回参議院議員通常選挙に係る啓発事業要領

鳥取県選挙管理委員会、鳥取県明るい選挙推進協議会

1 趣 旨

今回の参議院議員通常選挙が明るく行われるために、選挙の意義と投票日等の周知を図るとともに、特にネット選挙解禁の周知及び投票参加の呼びかけに重点を置いて、各種の啓発事業を行うものとする。

2 重点事項

- (1) 選挙の大切さの呼びかけと投票参加の推進
- (2) きれいな選挙の推進

3 実施主体

- (1) 県及び市町村の選挙管理委員会
- (2) 県及び市町村の明るい選挙推進協議会

4 実施事業

県民が選挙を身近に感じられるよう工夫を凝らし、わかりやすい啓発事業を実施する。

- (1) 県及び市町村が共同して行うもの
 - ア 明るい選挙推進大会の開催
 - イ 啓発用物資の配布
 - ウ ポスターによる啓発
 - エ 「選挙のしおり」による啓発
 - オ 懸垂幕・横断幕等による啓発
 - カ 店舗、商店街等での啓発（街頭啓発・店内放送等）
 - キ ホームページによる啓発
 - ク 立候補者に対する申し入れ
 - ケ その他
- (2) 県が行うもの
 - ア マスメディアを活用した啓発
 - イ 電光掲示板、広告塔による啓発
 - ウ 公共交通機関を活用した啓発
 - エ コンビニエンスストアでの啓発
 - オ 便宜供与の依頼
 - カ 委員長談話による啓発
 - キ その他
- (3) 市町村が行うもの
 - ア 広報車による啓発
 - イ 広報紙等の利用による啓発
 - ウ その他

5 統一標語 「自分へと、必ずつながるその1票。」

(2) 第23回参議院議員通常選挙に係る啓発事業計画

No	事業名	事業の内容	備考
1	明るい選挙推進大会の開催	参議院議員通常選挙に向けて、選挙違反の防止及び投票総参加についての意識高揚を図るための大会を開催。 期 日：平成 25 年 6 月 4 日 (火) 場 所：県庁講堂	
2	若者が集まる店舗等での啓発	コンビニエンスストアに啓発チラシの配架、ポスターを掲示するとともに、コンビニレジ画面広告により投票日等の周知を図る。 また、フリーペーパーに投票日を掲載する等により、特に若者に対する啓発を強化する。	
3	マスメディアを活用した啓発	マスメディアに取り上げられる機会を増やすため、選挙行事を積極的に情報提供。	
4	公共交通機関を活用した啓発	バス・JR車内アナウンスによる投票日の周知。	
5	啓発用物資の配布	投票日等が記入された啓発用物資（啓発用ティッシュ、うちわ等）を作成し、街頭啓発等の際に配布。	
6	ポスターによる啓発	明るい選挙推進や投票日周知を図るため、ポスターを作成し、官公署・金融機関・店舗等に掲示依頼をするとともに、ポスター掲示場等に掲示。	

7	「選挙のしおり」による啓発	「選挙のしおり」を県内全世帯に配布し、投票日を周知するとともに、「選挙の大切さ」「投票の意義」を呼びかける啓発を実施。	
8	街頭啓発	県及び市町村の選挙管理委員会・明るい選挙推進協議会が協力して、街頭啓発を実施。 県は、駅前商店街の協力のもと、駅前アーケードオープンの機会を活用しキャラクターを登場する等により、街頭啓発を実施する。	
9	懸垂幕・横断幕等による啓発	投票日周知用の懸垂幕及び横断幕を作成し、各市町村庁舎、総合事務所、JR鳥取駅・米子駅等に掲出。また自動車張幕を物資輸送車に掲示。	
10	広告塔による啓発	県庁内及びJR鳥取・倉吉・米子駅の広告塔により、投票日の周知及び明るい選挙の推進を図る。 また、県庁電光掲示板を利用した啓発を実施。	
11	店内放送等による啓発	県内の大型店等の店内放送、商店街放送及び市町村や事業所の有線放送等を通じて投票日を周知。	遊戯業協同組合との連携
12	ホームページによる啓発	県選挙管理ホームページにネット選挙解禁等のお知らせを掲示	
13	立候補者に対する申し入れ	立候補者に対して、選挙ルールの遵守を申し入れるとともに、選挙事務所に選挙ルール遵守の要望事項を記載したポスターの掲示を依頼。	
14	便宜供与の依頼	鳥取県経営者協会、鳥取県商工会議所連合会及び鳥取県商工会連合会を通じて、投票当日に勤務する有権者に対して、投票のための遅刻・早退等に便宜を与えるよう協力を依頼。	
15	委員長談話	県選挙管理委員会委員長の談話を発表。	公示日、選挙期日

(3) 明るい参議院議員通常選挙推進大会開催要領

1 趣旨

来る参議院議員通常選挙に向けて、啓発講演等を通じて主権者としての自覚と豊かな政治常識、選挙のルールを守るという意識を深め、明るい選挙の実現に資する。

2 主催 鳥取県選挙管理委員会、鳥取県明るい選挙推進協議会、鳥取県明るい選挙推進協議会連合会

3 期日 平成25年6月4日(火) 13:00～14:40

4 場所 鳥取県庁講堂(本庁舎一階) 所在地:鳥取市東町一丁目220 電話:0857-26-7058

5 参加者 各市町村の選挙管理委員、明るい選挙推進協議会委員、その他 約100名

6 日程

12:30 13:00 13:05 13:15 14:25 14:35 14:40

受付	開会	連合会 表彰	講演	大会 宣言	閉会
----	----	-----------	----	----------	----

7 研修内容 講演 講師:一般財団法人 尾崎行雄記念財団主任研究員 谷本 晴樹 氏

講演内容:インターネット選挙運動解禁について

(4) 第23回参議院議員通常選挙に係る街頭啓発実施要領

1 趣旨 参議院議員通常選挙に向けて、明るい選挙と投票総参加を広く県民に推進するため、街頭啓発を行う。

2 主催 鳥取県選挙管理委員会、鳥取県明るい選挙推進協議会

3 実施日時 平成25年7月14日(日) 午後1時から2時まで(投票日の一週間前)

4 場所 鳥取駅前太平線シンボルスクエア(駅前アーケード「バードハット」)周辺

5 参加者 15名程度

○ 県選挙管理委員会委員:2名(英委員、大口委員)

○ 県明るい選挙推進協議会委員:1名(小椋会長)

○ 県選挙管理委員会事務局職員:12名(新事務局長、啓発係ほか)

6 活動内容

(1) 県選挙管理委員会委員長職務代理者等挨拶

(2) 啓発用携帯ティッシュの配布(2,000個)

(3) 啓発用チラシの配布(1,000枚)

(4) 着ぐるみによるPR(めいすいくん、トリピー)

(5) ポスター、のぼり旗、懸垂幕等によるPR

※活動実施について報道資料提供。(7/10頃を予定)

(5) 第23回参議院議員通常選挙市町村啓発事業一覧

区分	街頭啓発	広報車	有無線放送	広報紙等	その他
鳥取市	○	○	○	○	○
米子市	○	○	○	○	○
倉吉市	○	○	○	○	○
境港市	○		○	○	○
岩美町	○	○	○	○	
若桜町	○	○	○	○	○
智頭町	○	○	○	○	○
八頭町	○	○	○	○	
三朝町	○	○	○	○	
湯梨浜町	○	○	○	○	
琴浦町			○	○	○
北栄町	○		○	○	
日吉津村	○		○	○	○
大山町	○	○	○	○	
南部町	○		○	○	○
伯耆町	○	○	○	○	○
日南町	○	○	○	○	
日野町	○	○	○	○	○
江府町		○	○	○	

(6) 委員長談話

ア 公示日

本日、第23回参議院議員通常選挙の期日が公示され、来る7月21日に投開票が行われることとなりました。今回の選挙は、内外ともに重要な課題が山積している状況にあって、我が国の前途を考える上で、極めて大きな意義を持つものであります。有権者の皆様には、選挙の意義を十分に理解され、選挙公報や政見放送のほか、今回の選挙から解禁となったインターネットによる選挙運動などを活用して、各候補者や政党等の政策、政見等を十分に考察され、自分の投じる一票が国政を動かしていくということを、改めてご認識いただき投票していただきたいと思っております。また、近年の投票率が低いことは、民主主義において極めて憂慮すべきことであり、有権者の皆様が、主権者として棄権することなく投票に参加し、責任ある一票を投じられることを切に希望いたします。最後に、政党等候補者及び選挙運動関係者は、政策や政見を十分に有権者に説明されるとともに、選挙のルールを遵守し、違反のない明るくきれいな選挙運動を展開されるよう強く要望します。

平成25年7月4日 鳥取県選挙管理委員会委員長 相見 慎

イ 投票日

第23回参議院議員通常選挙は、いよいよ投票日を迎えることになりました。近年の国政選挙における投票率は低下傾向にあり、憂慮されているところであります。この度の選挙は、我が国の将来を左右する内外ともに重要な政治課題に対して、有権者の判断が求められる大変重要な選挙であります。選挙は民意を国政に反映させる大切な機会です。どの政党、候補者に思いを託するかよく吟味して、自らの自由な判断に立った責任ある一票を投じていただきたいと思っております。国民の総意が十分に反映される機会となるために、有権者の皆様が棄権することなく全員が投票されるよう願っております。最後に、各市町村選挙管理委員会におかれましては、投票・開票等の管理執行に万全を期していただき、この度の選挙が公正かつ円滑に執行されるようお願いいたします。

平成25年7月21日 鳥取県選挙管理委員会委員長 相見 慎

2 管理執行通知等

(1) 参議院議員通常選挙における候補者等及び後援団体の政治活動用文書図画の掲示の規制について(通知)

第201200155979号
平成25年1月17日

各市町村選挙管理委員会委員長 あて

鳥取県選挙管理委員会委員長

このことについて、関係後援団体等に対して別添写しのとおり通知しましたので、御承知ください。

《別添写し》

第201200155979号
平成25年1月17日

自由民主党鳥取県支部連合会 代表者、社会民主党鳥取県連合 代表者、日本共産党鳥取県委員会 代表者、民主党鳥取県総支部連合会 代表者、公明党鳥取県本部 代表者、国民新党参議院鳥取県支部 代表者、幸福実現党鳥取県本部 代表者、川上義博後援会 代表者、坂野真理後援会 代表者、鳥取県山田としお後援会 代表者、石井みどり鳥取県後援会 代表者、川上義博、小谷真理、岩永 尚之、あて

鳥取県選挙管理委員会委員長

参議院議員通常選挙における候補者等及び後援団体の政治活動用文書図画の掲示の規制について(通知)
公職の候補者又は公職の候補者となろうとする者(公職にある者を含む。以下「公職の候補者等」という。)及び

後援団体の政治活動のために使用される文書図画の掲示については、公職選挙法（昭和25年法律第100号。以下「法」という。）第143条第16項から第19項の規定により規制が設けられておりますが、参議院議員通常選挙にあっては、同条第19項の規定により、任期満了の日の6月前の日から当該通常選挙の期日までの間、規制が強化されます。

今回任期満了となる現任の参議院議員の任期満了日は平成25年7月28日であります。したがって、その「任期満了の日の6月前の日」に当たる日は平成25年1月28日であり、同日から当該通常選挙の期日まで政治活動用文書図画の掲示について下記のとおり規制されますので、御留意ください。

記

- 1 平成25年7月28日に任期の満了する参議院議員通常選挙に立候補しようとする公職の候補者等の政治活動のために使用される当該公職の候補者等の氏名又は当該公職の候補者等の氏名が類推されるような事項を表示する文書図画を当該選挙区内に掲示する行為は、法第143条第1項に規定する禁止行為に該当するものとみなされること。
- 2 公職の候補者等の後援団体の政治活動のために使用される当該後援団体の名称を表示する文書図画を掲示する行為についても、上記1と同様であること。
- 3 次の文書図画を掲示する行為は、法第143条第1項に規定する禁止行為に該当しないものであること。
 - (1) 立札及び看板の類については、次に掲げる総数の範囲内で、かつ、公職の候補者等又は当該後援団体が政治活動のために使用する事務所ごとにその場所において通じて2を限り掲示されるもの（縦150cm、横40cm以内で、県選挙管理委員会（比例代表選出議員の選挙については、中央選挙管理会）が交付する証票を貼り付けたものに限る。）。

選挙の種類	立札及び看板の総数	
	公職の候補者等	後援団体
参議院比例代表選出議員の選挙	100 (12)	150 (18)
参議院選挙区選出議員の選挙	12	18

※「参議院比例代表選出議員の選挙」欄の（ ）内は、鳥取県の区域内に掲示できる数

- (2) 政治活動のためにする演説会、講演会、研修会その他これらに類する集会の会場で当該演説会等の開催中使用されるもの。
- (3) 法第14章の3（政党その他の政治団体等の選挙における政治活動）の規定により、選挙運動期間中に使用することができるもの。

(2)参議院議員通常選挙における公職の候補者等及び後援団体に関する寄附の規制等について(通知)

第201300014520号
平成25年4月17日

各市町村選挙管理委員会委員長 あて

鳥取県選挙管理委員会委員長

このことについて、関係後援団体等に対して、別添写しのとおり通知しましたので御承知ください。

《別添写し》

第201300014520号
平成25年4月17日

政党の支部代表者、関係後援団体代表者 あて

鳥取県選挙管理委員会委員長

参議院議員通常選挙における公職の候補者等及び後援団体に関する寄附の規制等について(通知)

公職選挙法（昭和25年法律第100号）第199条の2及び第199条の5の規定により、参議院議員通常選挙にあっては、参議院議員の任期満了の日前90日に当たる日から当該通常選挙の期日までの間は、寄附等の禁止が強化されます。

ついで、任期満了となる現任の参議院議員の任期満了日は平成25年7月28日でありますので、その「任期満了の日前90日に当たる日」は同年4月29日となり、同日から通常選挙の期日までの間は、公職の候補者等及び後援団体に関する寄附等に対する規制が下記のとおり強化されますので、御留意ください。

記

- 1 今回任期の満了する参議院議員通常選挙に立候補しようとする者（現在、参議院議員の職にある者を含む。以下「公職の候補者等」という。）は、自己に係る後援団体に対し、寄附をしてはならないこと。ただし、資金管理団体（政治資金規正法（昭和23年法律第194号）第19条第2項の規定による届出がされた政治団体をいう。）に対する寄附は除かれること。
 なお、公職の候補者等が専ら政治上の主義又は施策を普及するために、その選挙区内で行う講習会その他の政治教育のための集会に関し、必要やむを得ない実費の補償としてする寄附についても禁止されるので留意すること。
- 2 公職の候補者等の政治上の主義若しくは施策を支持し、又はこれらの者を推薦し、若しくは支持することがその政治活動のうち主たるものであるもの（以下「後援団体」という。）は、当該選挙区内にある者に対し、いかなる名義をもってするを問わず、その団体の設立目的により行う行事又は事業に関し寄附をしてはならないこと。
- 3 何人も、後援団体の総会その他の集会又は後援団体が行う行事において、当該選挙区内にある者に対し、饗応接待をし、又は金銭若しくは記念品その他の物品を供与してはならないこと。

(3)書簡文

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、平成25年7月28日の任期満了に伴う第23回参議院議員通常選挙は、現在開会中の国会日程から想定すると国会閉会の日から24日以後30日以内に執行（公示日想定7月4日、選挙期日想定7月21日）されることとなります。

参議院議員通常選挙に関する留意事項については、おって正式に通知しますが、事前準備の都合上、当面の予定等について下記の通りご連絡します。

貴職におかれましても、国政の情勢・動向に十分ご留意をいただくとともに、選挙事務執行体制の確立を図り、選挙の管理執行が円滑に行われますよう格別の御配慮をお願いします。

敬具

平成25年4月23日

鳥取県選挙管理委員会委員長

各市町村選挙管理委員会委員長 様

記

- 参議院議員通常選挙の制度の周知
参議院議員通常選挙の選挙の名称及び投票方法は次のとおりであるので、選挙人に対して周知を図ること。

選挙の名称	投票の方法
参議院比例代表選出議員選挙（略称：参議院比例代表選挙）	名簿登載者の氏名又は政党名を記入
参議院鳥取県選挙区選出議員選挙（略称：参議院選挙区選挙）	候補者の氏名を記入

- 投票用紙の様式
投票用紙の様式は、次のとおり定める予定であるので、選挙人に周知すること。

区 分	用紙の色	文字の色
参議院比例代表選出議員選挙	白 色	赤 色
参議院鳥取県選挙区選出議員選挙	薄い黄色	黒 色

なお、鳥取県選挙管理委員会の印は、刷込み式とすること。

- 選挙人名簿の登録
参議院議員通常選挙の選挙時登録の基準日等については、次のとおり定める予定であること。
 - 被登録資格の決定の基準となる日（登録基準日）
公示日の前日 ただし、年齢については、選挙期日
 - 登録を行う日（登録日）
公示日の前日
- ポスター掲示場
 - ポスター掲示場の区画数は、参議院鳥取県選挙区選出議員選挙については、「6」と定める予定であること。
 - ポスター掲示場を設置する予定の場所をあらかじめ実地調査し、設置することが実際に可能かどうか、その状況を的確に承知しておくこと。
 - 業者の選定に当たっては、材料の仕入れ、ポスター掲示場の作成及び設置方法について状況を十分に承知させておくこと。
 - ポスター掲示場の設置に当たっては、循環型社会の実現に向け、再利用の促進や鳥取県認定グリーン商品等の循環型資材を使用する等廃棄物の抑制とリサイクルの推進を図ること。
 - ポスター掲示場の体裁は、別途通知すること。
 - ポスター掲示場の総数を法定数から減ずる場合は、別途通知するところにより県の選挙管理委員会との協議が必要であること。
- 直接請求又は解職請求等の署名の禁止
参議院議員の任期が平成25年7月28日に満了になることに伴い、平成25年5月29日から参議院議員通常選挙の期日までの間、鳥取県の区域においては、地方自治法（昭和22年法律第67号）、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）及び市町村の合併の特例に関する法律（平成16年法律第59号）並びにこれらの法律に基づく政令の規定による全ての直接請求又は解職等の請求のための署名を求めることができなくなること。
- 郵便等による在外投票の投票用紙等の交付
参議院議員の任期が平成25年7月28日に満了になることに伴い、郵便等による在外投票の投票用紙及び投票用封筒の請求をした在外選挙人に対し、平成25年5月29日以後直ちにこれらを発送しなければならないこと。
- 執行経費の取扱い
国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律（昭和25年法律第179号）が改正され、参議院議員通常選挙における執行経費が従前より削減されることとなったので、人員配置や物品調達等の執行計画全般について見直しを行い、経費の削減について、あらかじめ検討されたいこと。
- その他
 - 無効投票を少なくするため、投票用紙の交付及び投票記載台を比例代表選挙と選挙区選挙で区分することとし、投票方法について有権者に十分周知しておくとともに、投票箱の確保についても配慮しておくこと。
 - 当面の会議等の日程（予定）は次のとおりであること。

会 議 等 名	日	時	場 所
---------	---	---	-----

第5回選挙管理委員会	5月14日(火)午前10時	県庁本庁舎 選挙管理委員会室
県明るい選挙推進協議会連合会理事会	5月20日(月)午後1時30分	県庁第二庁舎 第34会議室
投・開票オンラインシステム市町村説明会	5月22日(水)午後1時30分	県庁本庁舎 講堂
県明るい選挙推進協議会	5月24日(金)午後1時30分	県庁第二庁舎 第34会議室
県明るい選挙推進協議会連合会総会	6月4日(火) 午前11時	県庁本庁舎 講堂
県明るい参議院議員選挙推進大会	6月4日(火) 午後1時	県庁本庁舎 講堂
市町村選管委員長・書記長会議	6月6日(木) 午後2時	県庁本庁舎 講堂
明るい選挙参院選全国フォーラム	6月6日(木) 午後1時	東京都
立候補予定者説明会	6月12日(水)午後1時30分	県庁本庁舎 講堂
第6回選挙管理委員会	6月17日(月)午後2時	県庁本庁舎 選挙管理委員会室
都道府県投・開票速報事務担当者会議	6月18日(火)午後1時30分	東京都
不在者投票管理者説明会	6月18日(火)午後1時30分	県庁本庁舎 講堂
市町村選挙事務(管理執行・投開票)担当者会議	6月24日(月)午後1時30分	県庁本庁舎 講堂
第1回物資輸送(投票用紙等)	6月27日(木)午前8時	—
第2回物資輸送(啓発物資等)	7月1日(月) 午前8時	—
第3回物資輸送(選挙公報)	7月9日(火)	—
第4回物資輸送(投開票関係物資等)	7月12日(金)午前8時	—
第7回選挙管理委員会	7月23日(火)午後3時	県庁本庁舎 選挙管理委員会室

(4) 在外投票に係る物品等の配布について(通知)

第 201300022110 号
平成 25 年 5 月 2 日

各市町村選挙管理委員会委員長 あて

鳥取県選挙管理委員会委員長

第23回参議院議員通常選挙に係る在外投票用紙等については、郵便等による在外投票の投票用紙等の請求があった在外選挙人に対して、参議院議員の任期満了の前日60日に当たる日、つまり平成25年5月29日(水)より交付することとなっております。

在外投票については、国が郵便等投票に用いる投票用紙等の必要物品を作成し、県選挙管理委員会を通して各市町村選挙管理委員会に配布されることとなっております。

本県においては、別紙1のとおり配布する予定ですので、投票用紙等の保管にご留意いただくとともに、受領の上は、別紙2に必要事項を記入の上、提出いただきますようお願いいたします。

また、在外選挙人名簿登録者がゼロの団体においても、新たに在外選挙人名簿への登録があるなど投票用紙等の交付が必要となる場合があるので、投票用紙等の交付手続の準備についてご留意願います。

記

- 1 配布物品の種類及び数量
別紙1「在外投票物品配布一覧表」のとおり
- 2 配布方法等
平成25年5月22日(水)開催の投・開票オンラインシステム市町村説明会において配布するので、当日は、別紙2を持参すること。
なお、同日前の配布を希望する市町村にあっては、当委員会事務局に連絡すること。
- 3 その他
このたび配布する投票用紙は、郵便等による在外投票のみに使用されることとなりますのでご注意ください

別紙1 在外投票物品配布一覧表

市町村	名簿登録者数	一般投票用紙		封筒類(郵便投票用)				投票用紙等交付用封筒	投票用紙送付用封筒	郵便等投票の仕方
		選挙区	比例代表	内封筒		外封筒				
				選挙区	比例区	選挙区	比例区			
鳥取市	92	50	50	50	50	50	50	50	50	50
米子市	64	30	30	30	30	30	30	30	30	30
倉吉市	29	10	10	10	10	10	10	10	10	10
境港市	12	10	10	10	10	10	10	10	10	10
岩美町	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
若桜町	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5
智頭町	7	5	5	5	5	5	5	5	5	5
八頭町	10	5	5	5	5	5	5	5	5	5
三朝町	9	5	5	5	5	5	5	5	5	5
湯梨浜町	10	5	5	5	5	5	5	5	5	5
琴浦町	21	10	10	10	10	10	10	10	10	10
北栄町	10	5	5	5	5	5	5	5	5	5
日吉津村	0	5	5	5	5	5	5	5	5	5
大山町	7	5	5	5	5	5	5	5	5	5
南部町	7	5	5	5	5	5	5	5	5	5

伯耆町	16	10	10	10	10	10	10	10	10	10
日南町	7	5	5	5	5	5	5	5	5	5
日野町	1	5	5	5	5	5	5	5	5	5
江府町	1	5	5	5	5	5	5	5	5	5
合計	312	185	185	185	185	185	185	185	185	185
総務省配布数		200	200	200	200	200	200	200	200	200
県保留分		15	15	15	15	15	15	15	15	15

別紙 2 略

(5) 第23回参議院議員通常選挙における便宜供与について(依頼)

第 201300022989 号

平成 25 年 5 月 1 日

各市町村長、各市町村教育委員会教育長、鳥取県各部(局)長、鳥取県各総合事務所長、鳥取県企業局長、鳥取県病院局長、鳥取県教育委員会教育長、鳥取県警察本部長、中国財務局鳥取財務事務所長、近畿中国森林管理局鳥取森林管理署長、中国地方整備局鳥取河川国道事務所長、中国地方整備局倉吉河川国道事務所長、西日本旅客鉄道株式会社米子支社長、智頭急行株式会社代表取締役社長、若桜鉄道株式会社代表取締役社長、西日本電信電話株式会社鳥取支店長、中国電力株式会社鳥取支社長、日本郵便株式会社鳥取中央郵便局長 あて

鳥取県選挙管理委員会委員長

各種選挙の執行に当たりましては、貴管下の施設等の利用について、格別の御配慮をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、任期満了に伴う第 23 回参議院議員通常選挙の執行が近く予定されているところであります。

ついては、この選挙の執行に当たりまして、下記事項について、市町村の選挙管理委員会(以下「市町村委員会」という。)及び候補者から貴管下の施設等の利用について依頼があった場合には、業務、授業等の諸行事に支障のない限り、格別の御協力と御配慮をお願いします。

なお、貴管下の関係各機関(地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号。以下「自治法」という。)第 244 条の 2 第 3 項の規定に基づく指定管理者を含む。)に対しても、この旨ご指導をいただきますよう併せてお願いします。

記

1 投票所及び開票所

投票所及び開票所は、公職選挙法(昭和 25 年法律第 100 号。以下「法」という。)第 39 条及び第 63 条の規定により、市役所、町村役場又は市町村委員会が指定した場所に設けることとされていますが、従来、市町村委員会では、有権者の便宜のために貴管下の施設を利用することが多く、今回の選挙においても、これらの施設を利用して投票所及び開票所とする市町村が多いものと思われま。

ついては、市町村委員会から貴管下の施設を投票所及び開票所として使用したい旨の依頼があった場合は、投票日当日における各種行事の開催等について調整していただく等の御配慮をいただき、投票及び開票事務に支障を来たすことがないようにお願いします。

2 ポスター掲示場

市町村委員会は、参議院議員通常選挙のうち、鳥取県選挙区選出議員選挙(以下「選挙区選挙」という。)について、法第 144 条の 2 の規定により、公衆の見やすい場所にポスター掲示場を設置しなければならないこととされていますが、その設置場所の確保については、従来から苦慮しているところであります。

ついては、市町村委員会から貴管下の施設等にこのポスター掲示場を設置したい旨の依頼があった場合は、法第 144 条の 5(ポスター掲示場の設置についての協力)の趣旨をご理解いただき、設置場所の提供について、格別の御配慮をお願いします。

3 公営施設使用の個人演説会

選挙区選挙の候補者及び参議院名簿登載者は、自己の政見を広く有権者に周知させるため、法第 161 条の規定により、学校、公民館(社会教育法(昭和 24 年法律第 207 号)第 21 条に規定する公民館をいう。)及び地方公共団体が管理する公会堂並びにこれら以外の施設で市町村委員会が指定した施設(以下「公営施設」という。)を使用して個人演説会を開催することができることとされています。

ついては、候補者から市町村委員会を通じて、貴管下の公営施設を使用する個人演説会の開催申出があった場合は、この個人演説会が開催できるよう御配慮をお願いします。

なお、公営施設使用の個人演説会については、法第 163 条の規定により、開催の申出を公示日以後において開催予定日の 2 日前までに行わなければならないこととされていることから、開催することができる期間が公示日の翌々日から選挙期日の前日までとなりますのでご注意ください。

おって、公営施設の管理者が、自治法第 244 条の 2 第 3 項の規定に基づく指定管理者であるときは、市町村委員会と調整の上、当該指定管理者に対し、個人演説会開催に係る手続の周知等を行なっていただきますようお願いいたします。

4 特定の建物及び施設における演説等の禁止

個人演説会は上記 3 の公営施設以外の施設を使用して開催することもできますが、法第 166 条の規定により、上記 3 の公営施設を除き、国、地方公共団体の所有し又は管理する建物(公営住宅を除く。)や、病院、診療所その他の療養施設など特定の建物・施設において、選挙運動のための演説及び連呼行為を行うことは禁止されていますのでご注意ください。また、これらの建物等のほか、汽車、電車、バス、船舶及び停車場その他鉄道地内においても、これらの行為は禁止されていますので、これについてもご注意ください。

(6) ポスター掲示場減数協議書の提出について(通知)

第 201300019909 号

平成25年5月1日

各市町村選挙管理委員会事務局長 あて

鳥取県選挙管理委員会事務局長

近く執行予定の第23回参議院議員通常選挙におけるポスター掲示場（参議院鳥取県選挙区選出議員選挙に係るもの）の総数を減じる場合は、県選挙管理委員会と協議を行うこととされています。

ついては、ポスター掲示場の減数を行おうとする市町村は、減数協議書を下記の要領により提出してください。

なお、減数を行わない市町村については、その旨及び算定した法定設置数を報告していただきますようお願いいたします。

記

- 1 提出期限 平成25年5月21日（火）
- 2 ポスター掲示場減数協議書（別紙1参照）
鳥取県選挙運動管理規程（昭和37年鳥取県選挙管理委員会規則第3号）第11条の2の規定により、別記第5号様式の2に基づいて作成することとし、ポスター掲示場減数協議書とポスター掲示場設置計画表とは別葉とすること。
なお、この場合の法定設置数の算定に用いる選挙人名簿登録者数は、平成25年3月2日現在の定時登録の数によること。
- 3 ポスター掲示場の体裁等（別紙2参照）
ポスター掲示場の区画数については「6」とされる予定であり、その体裁は、別紙2に準じることとされる予定であるので、設置場所を決定するに当たっては、設置予定場所をあらかじめ実地に調査し、設置することが実際に可能かどうかその状況を的確に把握しておくこと。

（別紙1）

ポスター掲示場減数協議書

近く執行予定の第23回参議院議員通常選挙において、公職選挙法第144条の2第1項の規定により設置するポスター掲示場の総数を、同条第2項ただし書の規定により、次のとおり減じたいので、関係書類を添えて協議します。

平成 年 月 日

（市町村）選挙管理委員会委員長

印

鳥取県選挙管理委員会委員長 様

記

- 1 ポスター掲示場の法定総数 箇所
 - 2 ポスター掲示場を減じようとする数 箇所
 - 3 設置するポスター掲示場の総数 箇所
- 添付書類（上記協議書とは別葉とすること。）

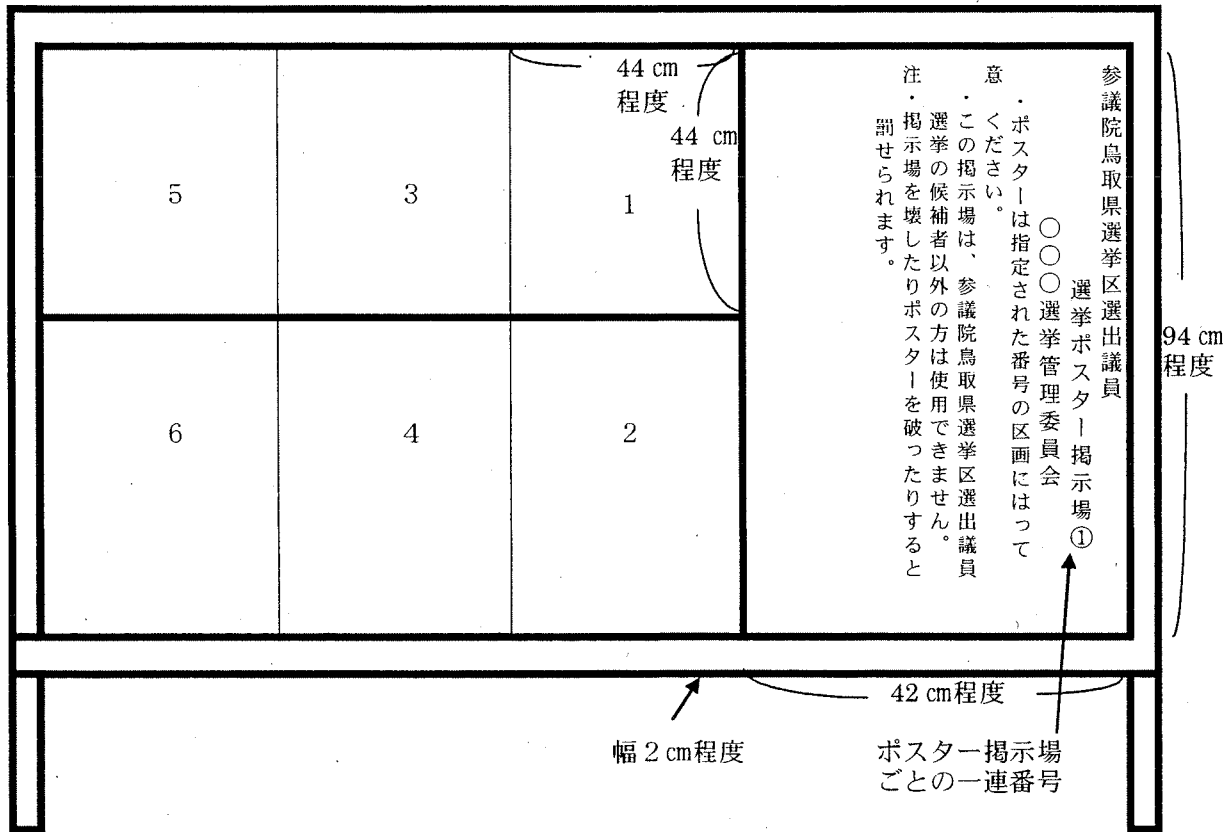
ポスター掲示場設置計画表

投票区名	選挙人名簿登録者数	投票区の面積	法定の設置数 (A)	設置計画の数 (B)	増減 Δ ((B)-(A))	世帯数	集落数	ポスター掲示場の総数を減じようとする理由
計								

備考

- 1 「選挙人名簿登録者数」は、平成25年3月2日の定時登録の数によること。
- 2 「世帯数」は、平成25年3月31日現在の住民基本台帳人口によること。
- 3 住宅地、耕地、山林、池沼の区別が表示された地図に、投票区の区域及びポスター掲示場を設置する予定の場所を表示したものを添付すること。

(別紙2) ポスター掲示場の体裁



(注意)

- (1) 選挙名は、「参議院鳥取県選挙区選出議員選挙」すること。
- (2) 区画番号は、一連番号とすること（上図番号のとおり。）。
- (3) 見出し、注意事項及びポスター掲示場ごとの一連番号は、必ず区画の右側に設けること。
- (4) 1区画の大きさは、44cm×44cmとし、この大きさの外側に幅2cm程度の区画線を設けること。

(7) 第23回参議院議員通常選挙における各種報告等について(通知)

第201300025887号
平成25年5月7日

各市町村選挙管理委員会事務局長 様

鳥取県選挙管理委員会事務局長

近く執行予定の第23回参議院議員通常選挙における各種の報告等については、下記によることとしますので、報告等に当たっては遺漏のないようにお願いします。

なお、本通知は、公示日を7月4日(木)、選挙期日を7月21日(日)と想定して作成したものであり、選挙期日等が他の日にずれた場合には、その日数に応じて事務日程等を読み替えて事務処理に当たっていただきますようお願いいたします。

記

- 1 対象となる報告等は、別途通知するものを除き別紙一覧表のとおりであること。
- 2 報告等に当たっては、それぞれの期限を厳守すること。
- 3 報告等により、その方法が異なるので注意すること。

別紙一覧表 参議院議員通常選挙における各種報告等一覧表

報告事項等	報告等期限	報告等の方法	提出部数	報告等様式	備考
ポスター掲示場減数協議	別途通知 (5月21日)	文書			別途通知するところによること。
ポスター掲示場設置場所一覧表及び図面	別途通知 (6月6日)	文書			別途通知するところによること。

個人演説会等施設指定	6月7日	文書	1部	様式第1号	追加指定等がある場合のみであること。 報告期限より早めに報告すること。
選挙人名簿登録者数	7月3日	ファクシミリ	-	様式第2号	午前12時00分までに次の番号へファクシミリで送信すること。
在外選挙人名簿登録者数	7月3日	ファクシミリ	-	様式第2号の2	⇒0857-26-8129 報告後の異動は、選挙当日有権者数の報告で行うこと。
(期日前)投票所開閉時刻繰上げ・繰下げの届出	7月4日	文書	1部	様式第3号	恒常承認・届出済のものも含め繰上げ・繰り下げを行うもの全てについて届出すること。 ※期日前投票所は2ヶ所以上設ける場合のみ。
選挙当日有権者数及び選挙当日在外有権者数	7月20日	ファクシミリ	-	様式第4号 様式第4号の2	午前12時00分までにファクシミリで送信すること。 報告後の異動は、直ちにその報告訂正をすること。
速報投票区投票速報	7月21日	電話	それぞれ別途通知するところによること。		
投開票速報	7月21日	むらび等			
開票録	7月22日	持参			
期日前投票の中間状況	別途通知	ファクシミリ			
年齢別投票者数	別途通知	電子メール			
時間別投票者数(投票所、期日前投票所)	別途通知	電子メール			
確定報告書	別途通知	電子メール			

(8)第23回参議院鳥取県選挙区選出議員選挙における公営の単価一覧表

種類	限度額	備考
自動車		
一般運送契約業者	1日あたり：64,500円 (期間中@64,500円×17日=1,096,500円)	・1日1台に限る。 ・一般乗用旅客自動車運送事業者との運送契約(自動車、燃料及び運転手込みの契約)による場合
自動車借入れ	1日あたり：15,300円 (期間中@15,300円×17日=260,100円)	・1日1台に限る。 ・上記一般運送契約以外の自動車借入れ契約の場合
燃料	期間中：124,950円 (@7,350円×17日=124,950円)	
運転手	1日あたり：12,500円 (期間中@12,500円×17日=212,500円)	・1日1人に限る。 ・選挙運動用自動車の運転業務に従事した日に限る。
ポスター	※限度枚数(5,058枚)作成する場合 1枚あたり：242円 総額：1,224,036円 (242円×5,058枚)	①単価 $557,115円 + 26円73銭 \times (2,529箇所 - 500箇所)$ 2,529 =241円73銭=242円(1円未満の端数は1円とする。) ②限度枚数：5,058枚 ※ポスター掲示場数の2倍(2,529箇所×2=5,058枚) ※選挙運動用ポスターと個人演説会告知用ポスターを別々に作成したときは、これらの合計枚数が限度枚数以内である必要あり。
ビラ		
50,000枚以下の場合	1枚あたり：7円30銭	
50,000枚を超える場合	※限度枚数(115,000枚)作成する場合 1枚あたり：5円94銭 総額：683,100円 (5円94銭×115,000枚)	①単価 $365,000円 + 4円88銭 \times (115,000枚 - 50,000枚)$ 115,000枚 =5,932円=5円94銭(1銭未満の端数は1銭とする。) ②限度枚数：115,000枚(2種類以内) ※都道府県の区域内の衆議院選挙区の数が2のときは115,000枚
通常葉書		
35,000枚以下の場合	1枚あたり：7円50銭	
35,000枚	※限度枚数(37,500枚)作成する場合	①単価

を超える場合	1枚あたり：7円44銭 総額：279,000円 (7円44銭×37,500枚)	262,500円+6円48銭×(37,500枚-35,000枚) 37,500枚 =7,432円≒7円44銭(1銭未満の端数は1銭とする。) ②限度枚数：37,500枚 ※都道府県の区域内の衆議院選挙区の数が2のときは37,500枚
選挙事務所用 立札・看板の類	1枚あたり：53,388円 総額：160,164円(53,388円×3枚)	立札・看板の類の数は「3」が限度
自動車取付用 立札・看板の類	1枚あたり：50,548円 総額：202,192円(50,548円×4枚)	立札・看板の類の数は「4」が限度
個人演説会場用 立札・看板の類	1枚あたり：38,621円 総額：193,105円(38,621円×5枚)	立札・看板の類の数は「5」が限度

(注1) 供託物を没収された場合は、公営の対象とならない。

(注2) 備考欄に示す限度は公営の対象となる数であり、使用できる数と一致しないものもある。

(注3) 金額は税込の額。

(9) 第23回参议院議員通常選挙における選挙人名簿の整理(想定)について(通知)

第201300022404号

平成25年5月1日

各市町村選挙管理委員会事務局長 あて

鳥取県選挙管理委員会事務局長

第23回参议院議員通常選挙における選挙時登録の際の選挙人名簿の整理(想定)は、別紙のとおりとなりますのでお知らせします。

なお、これは平成25年7月4日(木)を公示日、同月21日(日)を選挙期日と想定して整理したものです。選挙期日、縦覧期間等がこれと異なる場合も考えられますので、ご注意ください。

第23回参议院議員通常選挙における選挙人名簿の整理(想定)

(想定) 公示日：平成25年7月4日

選挙期日：平成25年7月21日

1 選挙人名簿登録基準日						
(1) 登録基準日	平成25年7月3日(水) ただし、年齢については、7月21日とする。					
(2) 登録日	平成25年7月3日(水) (登録基準日と同日であること。)					
(3) 縦覧期間	平成25年7月4日(木) (公示日のみの1日間であること。)					
(4) 縦覧場所の告示期限	平成25年7月1日(月)までに告示すること。					
2 選挙時登録						
(1) 年齢要件	平成25年7月22日以前に出生した者で、					
(2) 住所要件	↓ 平成25年4月3日以前に転入届をした者を、					
(3) 登録	↓ 平成25年7月3日(水)に登録する。					
3 随時抹消						
(1) 登録基準日 まで	平成25年7月3日(水)までに、 平成25年3月2日以前に転出した者を抹消すること。					
(2) 選挙期日 まで	平成25年7月21日(日)までに、 平成25年3月20日以前に転出した者を抹消すること。					
4 平成25年7月21日(日)の選挙人名簿の状態						
平成25年7月22日以前に出生した者で、 平成25年4月3日以前に転入届をした者は、登録されており、 平成25年4月4日以後に転入届をした者は、登録されていない。 平成25年3月20日以前に転出した者は、抹消されており、 平成25年3月21日以後に転出した者は、その旨表示されている。						
5 二重登録						
次の期間に、旧住所地から転出し、新住所地に転入届をした者は、二重登録の可能性がある。したがって、これらの者については、新・旧住所地間において連絡をとり、 新住所地で登録された者は、旧住所地では投票できない ことを関係者に周知しておくこと。						
※○印は選挙人名簿に登録されている状態を示す。						
異動月日	3/20	3/21	3/22	4/2	4/3	4/4
転入届(新住所地)	○	○	○	○	○	×
転出(旧住所地)	×	○	○	○	○	○
← 二重登録の可能性のある期間 →						

【注意】

期日前投票制度の導入に伴い、3月5日以後、3月20日以前に転出した者についても、二重登録の可能性があるので特に留意すること。

(10) 第23回参議院議員通常選挙の管理執行について(通知)

第 201300028174 号
平成 25 年 6 月 6 日

各市町村選挙管理委員会委員長 あて

鳥取県選挙管理委員会委員長

第23回参議院議員通常選挙(以下「参議院選挙」という。)の管理執行に万全を期するため、市町村の選挙管理委員会(以下「市町村委員会」という。)におかれては、下記事項に留意されるとともに、市町村長等関係機関とも十分協議の上、選挙事務体制の確立を図り、周到な計画のもとに事務処理に当たられるようお願いいたします。

なお、本通知は7月4日(木)を公示日、同月21日(日)を選挙期日として想定したものであり、公示日等が想定と異なった場合は、日程を適宜読み替えてください。

記

第1 一般的事項

- 1 今回の参議院選挙の執行に当たっては、公職選挙法(昭和25年法律第100号。以下「法」という。)、公職選挙法施行令(昭和25年政令第89号。以下「政令」という。)、公職選挙法施行規則(昭和25年総理府令第13号。以下「規則」という。)、在外選挙執行規則(平成11年自治省令第2号。以下「在則」という。)、公職選挙法による選挙事務規程(昭和31年鳥取県選挙管理委員会規則第3号。以下「選規」という。)、鳥取県選挙運動管理規程(昭和37年鳥取県選挙管理委員会規則第3号。以下「運規」という。)等に留意すること。
- 2 投票所、開票所等における選挙の名称の表示に当たっては、次によること。
「参議院鳥取県選挙区選出議員選挙」「参議院比例代表選出議員選挙」
- 3 市町村委員会の書記その他の選挙事務に従事する職員(以下「選挙事務従事者」という。)に対する指揮監督を厳正にし、これらの者に対し適宜説明会等を開催して、法令に基づく正確な事務処理をさせ、いやしくも法令に違反したり、選挙人に疑念を抱かせることのないよう最善の努力を払われたいこと。
- 4 選挙事務の執行に際して不測の事態が生じた場合、選挙事務従事者は市町村委員会に、市町村委員会は県の選挙管理委員会(以下「県委員会」という。)に速やかに連絡してその指示を受け、事故を拡大させることのないよう関係者に周知徹底を図ること。
- 5 選挙事務従事者に対しては、その職が常勤又は非常勤にかかわらず身分上の地位と職務権限とを明確にできるような措置しておくこと。

第2 選挙人名簿及び在外選挙人名簿

1 選挙人名簿及び在外選挙人名簿の整備

- (1) 選挙時における選挙人名簿の登録事務は、短期間に処理する必要があるため、被登録資格を有する者の常時調査及び整理並びに既に年齢満19年に達した者の調査及び整理については、なお一層配慮し、脱漏、誤載等が生じないように十分留意すること。
- (2) 選挙時登録後の選挙人名簿についても、選挙期日の前日までに死亡した者及び誤載者等の抹消並びに住所移転者等の表示を行い、その整備に努めること。特に住所移転者については、選挙期日の前日までに住所移転後4ヵ月が経過する者を他の住所移転者と区別しておき、4ヵ月が経過した者については、漏れなく抹消すること。
- (3) 成年被後見人の選挙権の回復等のための公職選挙法等の一部を改正する法律により、成年被後見人の選挙権及び被選挙権に係る欠格条項が削除されることから、同法の施行日以後直ちに、該当する者に係る表示の削除を行うこと。
- (4) 在外選挙人名簿の登録は、随時、市町村委員会において行われているところであるが、在外選挙人に選挙権行使の機会を与えるため、市町村委員会を適宜開き、在外選挙人名簿への速やかな登録に努めるようにすること。

なお、公示日から選挙期日の間は、在外選挙人名簿に新たな登録は行わないこと。

2 選挙時登録等

- (1) 選挙時登録の基準日等は、次のとおり決定される予定であること。
 - ・登録基準日：7月3日(水)(公示日の前日)
(ただし、年齢については、選挙期日(7月21日(日))現在)
 - ・登録日：7月3日(水)(公示日の前日)この場合において、公示日から選挙期日までの間に満20年に達する者については、登録日に登録することとなるが、その者に係る住所要件は登録基準日を基準とするものであるから、登録基準日において当該市町村に3年以上住所を有していることを要すること。
したがって、これにより登録された者は、満20年に達するまでは期日前投票を行うことはできないが、不在者投票を行うことはできるものであること。
- (2) 縦覧期間は、次のとおり決定される予定であること。
 - ・選挙人名簿：7月4日(木)(公示日の1日間)
 - ・在外選挙人名簿：7月4日(木)(公示日の1日間)
- (3) 市町村委員会は、法第23条第2項及び法第30条の7第2項の規定により、選挙人名簿及び在外選挙人名簿の縦覧場所を縦覧開始の日(公示日)前3日(7月1日(月))までに告示すること。
- (4) 学生等で住所の認定について疑義が生じた場合は、必ず実情を調査の上、実態に合った登録を行うこと。

3 登録の移替え

市町村委員会が、当該市町村の区域内の他の投票区に住所を移転した者に係る登録の移替えをしない（選挙の期日後に延期する）ことができる期間は、政令第17条の規定により、任期満了前60日（5月29日（水））から選挙期日までであること。

この場合、期間の設定に当たっては、管理執行上の要請と選挙人の便宜等を比較衡量して定めるとともに、その期間を定めたときは、その旨を告示その他の方法によって選挙人に周知するよう措置すること。

4 補正登録

選挙時登録後、補正登録が必要な場合に備えて、事前に市町村長側と連絡を取り、住民基本台帳との照合等のための事務処理体制を整えておくこと。

5 選挙人名簿登録者数及び在外選挙人名簿登録者数並びに選挙当日有権者数の報告

選挙人名簿登録者数及び在外選挙人名簿登録者数並びに選挙当日有権者数の報告については、平成25年5月7日付第201300025887号「第23回参議院議員通常選挙における各種報告等について（通知）」（以下「各種報告等」という。）で通知したところにより報告すること。

第3 投票

1 投票方法

第23回参議院鳥取県選挙区選出議員選挙（以下「選挙区選挙」という。）の投票用紙には「候補者の氏名」を、第23回参議院比例代表選出議員選挙（以下「比例代表選挙」という）用紙には「参議院名簿登載者の氏名又は参議院名簿届出政党等の名称若しくは略称」を記載しなければならないので、選挙人がこれを誤ったり、混同したりすることがないように周知するとともに、投票所における説明及び案内に特に配慮すること。

2 投票用紙等

- (1) 無効投票の減少及び開票事務の迅速化を図る見地から、投票用紙の色及び文字の色は、それぞれ次のとおりとし、これに押すべき印は、鳥取県選挙管理委員会の印（刷込み式）とすること。

ただし、郵便等による在外投票のための投票用紙及び投票用封筒並びに在外公館投票に用いられる投票用紙は、総務省において作成されるため、これらに押されている印は、選挙区選挙においては総務大臣の印、比例代表選挙においては、中央選挙管理会の印であること。

また、点字投票用紙については、投票用紙の種類を識別できるよう選挙の種類を表示する点字シールを貼ることとする。

区 分	用紙の色	文字の色
選挙区選挙	薄い黄色	黒 色
比例代表選挙	白 色	赤 色

- (2) 仮投票用封筒、投票用封筒及び郵便による投票用封筒に押すべき印は、鳥取県選挙管理委員会の印（刷込み式）とすること。

- (3) 投票用紙は第1回物資輸送（6月27日（木））で送付するので、その管理及び受け払いについては、特に慎重に取り扱い、不正使用や紛失等の事故が生ずることがないように、保管者及び保管場所の選定、交付簿の整備等について、十分留意すること。

- (4) 郵便等による在外投票に用いる投票用紙等については、5月22日（水）に開催した投・開票オンラインシステム市町村説明会において配布済であること。

3 投票所の設備等

- (1) 投票所は選挙人の便宜を考慮して、当該投票区の中で最も適切な施設を選定し、高齢者や歩行が困難な身体障害者等の便宜のため、エレベーター等昇降設備のない2階以上の部屋に設けないように特に留意すること。

また、投票所内はもとより、投票所への進入路等についても、可能な限り段差の解消に努め、車椅子使用者等の安全を確保するなどバリアフリーの観点から配慮を行なうこと。

なお、期日前投票所や市町村委員会の委員長が管理する不在者投票記載場所においても同様であること。

- (2) 投票所の設備は必ず選挙期日の前日までに整え、投票の開始に支障を来すことがないようにするとともに、設備については選規第17条の規定に準じて適正に配置すること。

また、選挙人にわかりやすくするため、案内図の掲示、順路の明示等適切な措置を講ずるとともに、視覚障害者や歩行が困難な身体障害者の誘導等について、十分な配慮を行うこと。

- (3) 投票用紙の交付及び投票の記載は、選挙区選挙と比例代表選挙で、それぞれ分けて行うことができるようにすること。

特に、投票記載所の近くの適当な場所に、「薄い黄色の投票用紙は選挙区選挙です。候補者の氏名を記載してください。」、「白色の投票用紙は比例代表選挙です。参議院名簿登載者の氏名又は参議院名簿届出政党等の名称若しくは略称を記載してください。」といった表示を行うこと。

- (4) 投票記載所は、有権者の投票の秘密が保持できるように十分配慮すること。

- (5) 選挙区選挙については、公職の候補者の氏名及び党派別を、比例代表選挙については、参議院名簿届出政党等の名称及び略称並びに参議院名簿登載者の氏名を、投票所内の投票を記載する場所その他適当な箇所に掲示しなければならないが、その掲示に当たっては、内容に誤りがないよう十分留意するとともに、破損や汚損が生じたときは速やかに再掲示する等万全の措置を講ずること。

なお、参議院名簿届出政党等の名称及び略称並びに参議院名簿登載者の氏名の掲示については、投票所内の適当な箇所に選挙人が見易い大きさと掲示を行うほか、投票を記載する場所にも掲示するなど工夫に努めること。

比例代表選挙の政党等名称等掲示は、第4回物資輸送（7月12日）で送付するが、選挙区選挙の候補者氏名表を運規第67条の規定により作成する際の用紙の色は、薄い黄色とすること。

- (6) 投票箱は、開票事務の迅速化も勘案し、可能な限り、選挙区選挙と比例代表選挙とを区別して2個設置することとし、それぞれの投票箱の表面には当該選挙名を表示し、その裏面には反対の表示をすること。

なお、やむを得ず両選挙を通じて一つの投票箱を使用する場合は、その表面には、両選挙の表示が必要

であること。

(7) 投票区の増設については、本日付第201300028150号「投票区の増設について（通知）」によること。

4 選挙人名簿の対照

個人情報保護の観点から、選挙人名簿の対照に当たり、投票人から当該内容が容易に見えることのないよう配慮すること。

5 投票の順序等

(1) 投票の順序は、選挙区選挙を先にし、比例代表選挙を後に行うこと。

(2) 投票用紙の交付に当たっては、他の選挙の投票用紙を誤って交付する、あるいは、点字投票用紙の点字シールを貼り間違えるといった単純な誤りがないよう必ず複数の者が確認を行うとともに、有権者一人一人に「この薄い黄色の投票用紙は選挙区選挙の投票用紙です。候補者個人の氏名を記入してください。」「この白い投票用紙は比例代表選挙の投票用紙です。参議院名簿登載者の氏名又は（参議院議員名簿届出）政党（等）の名称か略称を記入してください。」といったように、はっきりと相手に説明すること。

また、点字投票を行う選挙人が投票用紙を取り間違えないように、上の指示に加え、「サンギイン ヒレイ ダイヒョー（サンギイン センキョク）と点字で表示されていますのでご確認ください。」とはっきり相手に説明すること。

6 投票管理者及び投票立会人の選任

(1) 投票管理者及び投票立会人は、選挙区選挙と比例代表選挙それぞれについて別に選任手続を行う必要があるが、同一人に各選挙の投票管理者及び投票立会人を兼ねさせることができること。

(2) 選任に当たっては、従来の慣例等に固執することなく女性や青年も適宜選任する等、選挙人が選挙を身近なものとして感じることができるよう配慮すること。

なお、投票立会人は、本人の承諾を得て2人以上5人以下の者を選任するものであること。

また、投票立会人の交替制を採用する投票所においては、立会時間内における投票の状況を記載した引継書を作成すること。

7 投票所の開閉時刻の届出

(1) 投票所の開閉時刻を繰り上げ又は繰り下げることができる「特別の事情」とは、農繁期における農家の仕事の状況、工場地帯における就業時間等をいうものである。単に選挙人の投票に支障をきたさないといった消極的動機だけでなく、選挙人の立場から判断して、投票の便宜を図るため必要があるという積極的動機からも、投票時間の繰り上げ又は繰り下げを行うこと。

(2) 投票所の開閉時刻の繰り上げ又は繰り下げを行った場合には、各種報告等で通知したところにより県委員会に届け出るとともに、直ちにその旨を告示し、その投票所の投票管理者に通知する必要があること。

また、当該投票区の選挙人に混乱が生じないよう、投票所入場券や各種広報媒体の活用等により十分な周知を行うこと。

8 投票事務の取扱い

その他の投票事務の取扱いは、別途配布する「投票事務取扱要領」により実施すること。

9 代理投票

代理投票制度は、秘密投票の原則の例外としての性質を有するものであるから、その手続は法令の定めるところにより厳格に行い、特に、1人の補助者だけで代理投票を行うことが絶対にならないよう十分留意すること。

補助人は、投票所の事務に従事する者のうちから2人を選任すること。

また、代理投票制度の周知及び理解を図り、できるだけ本人の意思を尊重するとともに、重度の障害のある選挙人への対応には十分配慮すること。

10 点字投票

点字投票については、この制度の趣旨、投票方法等を視覚に障害のある選挙人及び投票管理者等に対し徹底すること。

なお、選挙人に点字投票させる際には、投票用紙の交付誤りや点字シールの貼り間違いのないよう注意し、点字シールの貼付位置等については、別途配布する「投票事務取扱要領」によること。

11 期日前投票

(1) 期日前投票制度の周知

期日前投票制度については、その活用を図ることにより、一人でも多くの選挙人が投票できるよう、その仕組み、方法等について広報紙、チラシ、有線放送等の広報媒体を利用して積極的に周知徹底を図ること。

(2) 期日前投票を行うことができる者

ア 期日前投票は当日投票同様、確定投票であることから、選挙の当日、選挙権を有していなくても、期日前投票を行う時点で選挙権を有していれば投票することができること。

したがって、投票後に選挙人が選挙権を喪失したとしても、有効な投票として取り扱われるものであること。

イ 選挙人は、選挙の当日、法第48条の2第1項各号に掲げる期日前投票事由のいずれかに該当することが見込まれる場合に限り、期日前投票が行えるものであること。

(3) 期日前投票所の設置

ア 期日前投票所は、選挙期日の公示日の翌日から選挙期日の前日までの間、各市町村に最低1箇所は設けられることとなるが、期日前投票所を複数設置した場合は、一の期日前投票所を除き、投票の期間を指定することができること。

この場合、選挙人の便宜等を考慮して設定するとともに、その設置場所及び期間を告示その他の方法によって選挙人に周知徹底すること。

イ 期日前投票所の設備は公示日までに整え、投票の開始に支障を来すことがないようにするとともに、設備については選規第23条の3で読み替えて準用する第17条の規定に準じて適正に配置すること。

ウ 期日前投票所における氏名等掲示

公示日の翌日から選挙期日の前日までの間、期日前投票所内の適当な箇所に、比例代表選挙にあつては名簿届出政党等の名称及び略称並びに名簿登載者の氏名の掲示を、選挙区選挙にあつては公職の候補者の氏名及び党派別の掲示をしなければならないので、遺漏、誤り等のないよう留意すること。

特に、参議院名簿届出政党等の掲載の順序の誤りや参議院名簿登載者の掲載の脱漏などがないように万全を期すること。

また、掲載順序については、比例代表選挙にあつては県委員会が、選挙区選挙にあつては市町村委員会が、立候補届出締切り後に行うくじによること。

(4) 期日前投票所の投票時間

投票時間は、原則として午前8時30分から午後8時までであるが、期日前投票所を複数設置した場合には、一の期日前投票所を除き、期日前投票所の開閉時刻を繰り上げ又は繰り下げることができること。この場合、直ちにその旨を告示するとともに、当該期日前投票所の投票管理者に通知しなければならないこと。

(5) 投票管理者及び投票立会人の選任等

ア 投票管理者及び投票立会人は、選挙区選挙と比例代表選挙それぞれについて別個に選任手続を行う必要があるが、同一人に各選挙の投票管理者及び投票立会人を兼ねさせることができること。

イ 投票管理者及び投票立会人は、いずれも選挙権を有する者の中から選任するとともに、投票立会人については、本人の承諾を得て2人選任するものであること。

なお、投票管理者にあつては日毎の交代が、投票立会人にあつては時間毎の交代が可能であること。

ウ 期日前投票は、当日投票同様、確定投票であることから、投票所と同じく投票管理者が常駐し、管理することとなること。

(6) 投票箱の管理等

ア 投票を行う前には選挙人の面前で投票箱に何も入っていないことを示すこととされているので、期日前投票の初日の最初に投票箱を使う際に、選挙人に対し実施すること。また、投票箱の追加を行う場合においても、同様であること。

投票箱の保管は、そのまま期日前投票所において保管することが原則とされているが、保管のため必要があれば、期日前投票所外の別にある金庫等に保管することも可能であること。

イ 期日前投票所と不在者投票記載場所は兼ねることができるが、それぞれの投票方法が異なることから、受付等の経路について十分に検討しておく必要があること。

ウ 投票管理者は、期日前投票の期間の末日に、期日前投票所を閉鎖した後、投票箱、封印をした鍵、投票録等を市町村委員会に送致し、当該投票箱等の送致を受けた市町村委員会は、選挙の期日に、当該投票箱等を開票管理者に送致しなければならないこと。

1.2 不在者投票

(1) 不在者投票の管理執行

ア 通常の不在者投票

(ア) 名簿登録地市町村以外の市町村における不在者投票、指定病院等における不在者投票及び選挙期日には選挙権を有することが見込まれるものの、選挙期日前の投票を行おうとする日においては未だ選挙権を有しない者の不在者投票が、一般的な形態となること。

(イ) 選挙人が、選挙の当日、法第48条の2第1項各号に掲げる不在者投票事由のいずれかに該当することが見込まれる場合に限り、不在者投票が行えるものであること。

(ウ) 不在者投票を行う場合は、必ず選挙権を有する者の立会いが必要であること。

この場合、立会人は、不在者投票管理者若しくは事務補助者又は代理投票の補助者を兼ねることができないので注意すること。

イ 郵便等による不在者投票

(ア) 新たに郵便等投票証明書の交付の請求があつた場合には、制度の趣旨等について十分説明し、必要があれば福祉当局とも連絡・協議すること。

(イ) 郵便等投票証明書の有効期限が交付の日から7年間（要介護者については、交付の日から介護保険の被保険者証に記載されている要介護認定の有効期間の末日まで有効）であることから、郵便等投票証明書の有効期限が満了する選挙人に対しても、あらかじめ、更新の手続きが必要な旨を通知する等の措置をとること。

(ウ) 代理記載をさせることができる選挙人は、郵便等投票証明書に代理記載をさせることができる選挙人に該当する旨の記載を受け、かつ、代理記載人となるべき者一人を定めてその者の氏名等を届け出ているものであること。

(エ) 郵便等投票を行う選挙人は、選挙期日前4日までに、その登録されている選挙人名簿の属する市町村委員会の委員長に対して、当該選挙人が署名した文書により、かつ、郵便等投票証明書を提示して投票用紙等の請求をしなければならないこと。

ウ その他の不在者投票

特定国外派遣組織に属する選挙人が国外において不在者投票をするためには、選挙の期日前5日までに、当該特定国外派遣組織の長に対し、不在者投票をしようとする旨の申出をしなければならないとされていること及び当該特定国外派遣組織の長がする投票用紙等の交付の請求は、選挙の期日前3日までに行わなければならないとされていることから、請求があり次第直ちに投票用紙等の交付が行えるよう準備しておくこと。

(2) 不在者投票の期間

不在者投票の期間は、選挙期日の公示日（以下「公示日」という。）の翌日から選挙期日の前日までであること。なお、郵便等による不在者投票の投票用紙の請求は、選挙期日前4日（7月17日（水））までに行わ

なければならないこと。

(3) 投票用紙等の交付

公示日前に郵便等で投票用紙等の請求があった場合は、当該請求書を一時保管しておき、公示日以降直ちに交付（郵便等をもって発送するときは、公示日前において市町村委員会の定める日以後直ちに発送）すること。

(4) 不在者投票の事務取扱場所

不在者投票の事務取扱場所の告示は、選規第24条の規定により、公示日に行うこと。

(5) 不在者投票記載場所における氏名等の掲示

公示日の翌日から選挙期日の前日までの間、不在者投票管理者である市町村委員会の委員長の管理する投票を記載する場所内の適当な箇所に、比例代表選挙については参議院名簿届出政党等の名称及び略称並びに参議院名簿登載者の氏名を、選挙区選挙については候補者の氏名及び党派別を掲示しなければならないので、遺漏、誤り等のないよう留意すること。

特に、参議院名簿届出政党等の掲載の順序の誤りや参議院名簿登載者の掲載の遺漏などがないように万全を期すること。

なお、掲載順序については、比例代表選挙にあつては県委員会が、選挙区選挙にあつては市町村委員会が、立候補届出締切り後に行うことによること。

(6) 投票所の閉鎖後に送致された投票

投票所の閉鎖後に送致された不在者投票の数等については、その内容を明らかにできるように集計・整理しておくこと。

1.3 在外投票

在外投票の事務処理については、本日付第201300028448号「参議院議員通常選挙に係る在外投票の事務処理について（通知）」及び「在外選挙事務取扱要領」を参照の上、事務の執行に万全を期すること。

第4 開 票

1 開票の順序等

開票は即日開票とし、その順序は選挙区選挙を先に行い、比例代表選挙を後に行うこと。

2 開票管理者及び開票立会人の選任

(1) 開票管理者は、選挙区選挙と比例代表選挙それぞれについて別個に選任を行う必要があるが、同一人に各選挙の開票管理者を兼ねさせることができること。

(2) 開票立会人については、比例代表選挙の開票立会人として届出された者は、選挙区選挙の開票立会人として届け出ることはできないこと。

また、開票立会人に関する法第62条の規定は、それぞれの選挙について適用されるため、人数の制限のくじ及び政党の制限のくじは各選挙ごとに行う必要があるほか、開票の立会人も別々に行うべきものであるため、誤解の生じないよう事前に選挙事務従事者に説明しておくこと。

3 開票事務の取扱い

その他の開票事務の取扱いについては、別途配布の「開票事務取扱要領」によるものとするが、特に次の点に留意すること。

(1) 開票事務が正確に行なわれるべきことはもちろんであるが、選挙人に速やかに結果を知らせるため、また、開票事務に従事する職員等の負担及び諸経費の負担軽減のため、開票終了時間をなるべく早めるように努めること。

については、他の市町村における取組を参考にしつつ、開票作業に適した開票所の選定、効率的な人員・器具等の配置の検討、票の分類方法及び分類用補助用具等の工夫、事務従事者の服装等の見直し、按分組み合わせリスト及び投票効力判定例の選挙事務従事者等への周知徹底を行い、開票作業の一層の改善を図ること。

(2) 開票事務が正確かつ迅速に行われるよう開票管理者を補助する事務従事者の選任及びこれらの者の事務分担についても配慮するとともに、開票立会人に対しても開票事務の円滑な処理について事前に協力を求めておくこと。

(3) 投票の効力の判定については、迅速かつ的確に行えるよう事前に判例、実例等の研究を行っておくこと。

(4) 特に非拘束名簿式により行われる比例代表選挙の開票事務処理については、投票の分類、按分票の処理、得票の集計及び点検が膨大な作業量となるので、開票作業の一層の改善を図るとともに、開票事務の習熟等について遺漏のないよう配慮すること。

なお、投票の効力の判定については、別途通知する予定であること。

(5) 開票事務は開票所での投票の開披、点検、集計等の事務以外に、県への速報事務を含めたものであるため、速報に要する体制について十分に留意すること。

(6) 開票管理者は、開票所内の秩序保持に十分留意し、厳正かつ迅速な開票の進行に努めること。特に候補者の運動員等と開票立会人が連絡をとり合う等の行為によって、開票事務に支障をきたすことがないように留意すること。

(7) 投票結果については、投票者数、投票総数、有効投票数及び無効投票数について総合的に点検を行うこと。
この場合、投票者数と投票総数との不一致については、再度その手続の点検を行うこと等により原因を調査し、安易に処理することのないようにすること。

4 開票録の検収

開票録については、別途通知する検収日（7月22日（月））に持参すること。

第5 選挙公営

1 ポスター掲示場（選挙区選挙）

ポスター掲示場の設置及び管理については、別途配布した「ポスター掲示場設置要領」により実施するとともに、特に次の点に留意すること。

(1) ポスター掲示場の設置に当たっては、循環型社会の実現に向け、再利用の促進や鳥取県認定グリーン商品等

の循環型資材の使用等、廃棄物発生抑制とリサイクルの推進を図るとともに、ポスター掲示場に係る執行経費が縮減される見込みであることから、その設置経費の削減についても併せて検討を行うこと。

- (2) ポスター掲示場の維持管理については、万全を期し、倒壊、破損等の事故が生じたときは、速やかにその復旧を図るよう配慮すること。
- (3) 風雨等により、掲示してあるポスターが破損した場合は、候補者が手持ちのポスターを再掲示することは差し支えないが、選挙期日に再掲示することはできないので留意すること。
- (4) ポスター掲示場の設置場所を表示した図面及びポスター掲示場一覧表を平成25年5月13日付第201300027043号「ポスター掲示場設置場所一覧表及びその図面の提出について（通知）」に定めるところにより県委員会に提出すること。

2 公営施設使用の個人演説会

- (1) 公営施設を使用して行う個人演説会の開催申出に係る事務を円滑に処理するため、個人演説会を開催することのできる日時を予定表を、あらかじめ管理者（地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定に基づく指定管理者を含む。以下同じ。）に提出させておくとともに、納付すべき費用額を公表させる等の措置を講じておくこと。
- (2) 市町村委員会は、管内の公共施設について法第161条第1項第3号の規定により指定すべき施設の把握に努め、公営施設を指定したときは、「各種報告等」に定めるところにより、所定の期限（6月7日（金））までに報告すること。
- (3) 法第161条に規定する公営施設以外の地方公共団体の所有し又は管理する建物においては、個人演説会を行うことができないので管理者に周知すること。

3 選挙公報（選挙区選挙及び比例代表選挙）

参議院選挙における選挙公報を各世帯に配布する期限は、選挙期日前2日（7月19日（金））までであるが、各市町村委員会には第3回物資輸送（7月10日（水））で選挙区選挙及び比例代表選挙の公報をそれぞれ配布する予定であるので、あらかじめ配布計画をたてておき、配布漏れ、期限後の配布等がないよう、受領後直ちに各世帯、各指定病院等へ配布すること。

第6 選挙運動と政治活動

近年の選挙においては、選挙運動とともに政党その他の政治団体による政治活動が極めて活発化する傾向にあるが、あくまで法令の定めるところに従って公正かつ平等に行われるように、関係当局との連絡を密にするとともに、平成25年5月20日付第201300029432号「第23回参議院議員通常選挙における違反文書図画の措置等について（通知）」により適切な処置をとること。

- 1 確認団体が選挙期間中に行う政治活動については、違法な政治活動が行われぬよう留意すること。
- 2 政党その他の政治団体がその政治活動のために使用するポスターに参議院選挙に立候補した者の氏名又はその氏名が類推されるような事項を記載している場合は、公示日のうちに当該ポスターを撤去しなければならないこと。（法第201条の14）

第7 投票及び開票速報体制

- 1 投票速報及び開票速報については、別途通知するところにより速報体制の確立を図るとともに、人員体制及び事前準備等にも十分留意すること。
- 2 投票速報を行うに当たっては、投・開票オンラインシステムにより実施することとしているので、人員体制及び機器の操作等について、万全の体制を図ること。
- 3 県内の投票率を推定するため、別途通知するところにより、一部市町村において投票状況の報告を求めると。

第8 啓発活動

明るい選挙を実現するためには、すべての国民が選挙の意義を自覚し、選挙のルールを守り、進んで投票に参加することが必要であるが、今回の参議院選挙においては、「第23回参議院議員通常選挙に係る啓発事業要領」に基づき、「選挙の大切さの呼びかけと投票参加の推進」及び「きれいな選挙の推進」を重点事項として啓発事業を実施するので、各市町村委員会においても、この啓発事業要領に基づき、選挙が円滑に執行されるよう市町村明るい選挙推進協議会他関係諸団体とも密接な連携を取りながら幅広く各種の啓発活動を推進すること。

第9 その他

- 1 比例代表選挙における参議院名簿届出政党等の名称等の掲示に関し必要な事項については、本日付第201300035477号「参議院比例代表選出議員の選挙における参議院名簿届出政党等の名称等及び参議院名簿登載者の氏名の掲示について（通知）」及び本日付第201300035484号「参議院比例代表選出議員選挙における期日前投票所及び不在者投票記載場所用参議院名簿届出政党等の名称等掲示の作成方法について（通知）」によること。

また、参議院名簿届出政党等の名称及び略称並びに参議院名簿登載者の氏名は、公示日に各市町村委員会あてに電子メール及びファクシミリで通知する予定であること。

- 2 点字による選挙区選挙の候補者の名簿及び比例代表選挙の参議院名簿届出政党等の名簿を作成し、配付する予定であり、その市町村委員会への配布並びに投票所、期日前投票所及び市町村委員会の委員長が管理する不在者投票記載場所への備え付けに関する事項については、別途通知する予定であること。

また、点字、音声及び音声コード付き拡大文字による「選挙のお知らせ版」についても配布する予定であり、これについても別途通知する予定であること。

- 3 比例代表選挙に非拘束名簿式が導入されたことにより、参議院名簿登載者個人の選挙運動ができることとなっているので留意すること。

また、参議院名簿登載者1人につき1箇所の選挙事務所を設置することができるが、その設置又は異動については、当該選挙事務所が設置された市町村委員会へ届け出ることとなっているので留意すること。

- 4 投票録及び開票録については、それぞれの選挙ごとに作成すること。

なお、指定在外選挙投票区の投票録の様式は他の投票区の様式と異なっているので留意すること。

5 執行経費基準法が改正され、投開票所経費を中心に国から交付される執行経費が大幅に減額されることから、選挙執行委託費の経理に当たっては、必要資材の調達、選挙の執行体制等について、経費の削減や職員の負担軽減の観点から、従来の慣行にとらわれることなく全般的に検討を加え、事前に周知な計画をたてて、経費の効率的な支出に努めるとともに、交付される金額の範囲内で費目相互の調整を図り、執行経費に不足を生ずることのないよう特に留意すること。

また、経理補助簿を作成すること等により経費使用の明確化を図ること。

6 参議院選挙に係る確定報告書は、別途通知するところにより作成し、提出すること。

(11) 参議院議員通常選挙に係る在外投票の事務処理について(通知)

第 201300028448 号

平成 25 年 6 月 6 日

各市町村選挙管理委員会委員長 様

鳥取県選挙管理委員会委員長

近く執行予定の第 2 3 回参議院議員通常選挙(以下「通常選挙」という。)の管理執行については、本日付け第 201300028174 号により通知したところですが、在外投票の事務処理については下記事項に御留意いただきますようお願いいたします。

記

1 郵便等による在外投票に関し、公示日前に行う事務

(1) 投票用紙等の必要数の確保

郵便等による在外投票に用いられる投票用紙及び投票用封筒については、総務省において作成し、県の選挙管理委員会(以下「県委員会」という。)を経由して各市町村の選挙管理委員会(以下「市町村委員会」という。)に交付されるものであること。

なお、総務省において作成し、各市町村委員会に送付される投票用紙等は、郵便等による在外投票においてのみ用いられるものであるため、在外選挙人の国内における投票又は国内の選挙人の投票に用いられることのないよう注意すること。

おって、在外選挙人への投票用紙等の交付期間が長期にわたるので、その保管については万全を期すこと。万一紛失等の事故が発生した場合、新たに投票用紙等を作成し、配布し直す等の措置が必要となることもあり得るので、保管については十分な措置を講ずること。

(2) 物品の準備

市町村委員会は、投票用封筒(内封筒、外封筒)や送付用封筒等の交付物品のほか、国際スピード郵便(以下「EMS」という。)の宛先を記載する連写式伝票(日本郵便株式会社の営業所で用意しているもの)等の郵便による在外投票に関して必要な物品について、あらかじめ準備を行っておくこと。

(3) 郵便による在外投票のための投票用紙等の発送及びその準備

市町村委員会は、郵便等による在外投票のための投票用紙等を円滑に発送できるよう、あらかじめ郵便等による在外投票の対象者を在外選挙人名簿に基づき確認しておくとともに、選挙人の住所地が EMS の取扱い地域であるか等について事前に日本郵便株式会社と打ち合わせておくこと。

(4) 投票管理者等への手続の説明

市町村委員会は、あらかじめ関係する投票管理者、投票立会人、開票管理者、開票立会人及び事務従事者に対し、在外選挙人の投票の手続について十分に説明しておくこと。

2 在外選挙人名簿の登録及び縦覧等

(1) 在外選挙人名簿の登録の迅速化

在外選挙人名簿への登録については、在外選挙人証の送付に要する時間を考慮し、速やかに登録事務を行い選挙人の投票の機会ができるだけ確保されるよう留意すること。

(2) 在外選挙人名簿の登録を行わない期間

公示の日から選挙の期日までの期間は、在外選挙人名簿の登録は行わないこととされていること。

(3) 国内への転入者の取扱い

国外から国内に転入し、選挙人名簿に登録された者については、当該名簿に基づいて投票を行うこととなり、在外選挙人名簿に基づく投票はできないものであること。

(4) 在外選挙人名簿の縦覧

縦覧に供する書面は公示日現在の在外選挙人名簿に基づき調製しなければならないこと。

また、今回の通常選挙における在外選挙人名簿の縦覧期間については、中央選挙管理会において、公示日の 1 日のみとされる予定であること。

なお、市町村委員会は、縦覧期間の開始の日前 3 日までに縦覧の場所を告示しなければならないこと。

(5) 在外選挙人証の記載事項の変更等

在外投票のための投票用紙等の請求の際には必ず在外選挙人証を提示することとされていることから、在外選挙人証の記載事項の変更又は再交付の申請がなされた場合にあっては、直ちに当該申請に係る手続を行うこと。

在外選挙人証の記載事項の変更又は再交付については、公示日から選挙の期日までの間においても行うことができること。

3 郵便等による在外投票に用いる投票用紙等の市町村委員会への交付

(1) 市町村委員会からの交付請求

郵便等による在外投票に用いる投票用紙等の交付請求は、市町村委員会の委員長が、県委員会の委員長を経由して総務大臣に対して書面をもって行うこととされていること。

なお、この書面(投票用紙等請求書)は、投票用紙等の交付を受ける際に、受領書とともに提出することで足りるものであること。(2)ア参照)

(2) 市町村委員会への交付

ア 交付

市町村委員会の委員長は、総務大臣から県委員会の委員長を経由して交付される投票用紙等を受領したときは、数量等を確認し、直ちに「投票用紙等交付請求書兼受領書」を県委員会の委員長に提出すること。

なお、投票用紙等については、平成25年5月22日(水)に開催した投・開票オンラインシステム市町村説明会において配布済であること。

イ 投票用紙等の追加交付

市町村委員会の委員長は、在外選挙人名簿の登録状況や選挙人からの投票用紙等の請求状況等から投票用紙等が不足するおそれがあると認めた場合においては、県委員会の委員長に対して投票用紙等の追加交付を請求すること。

県委員会の委員長は、市町村委員会の委員長から投票用紙等の追加交付の請求を受けた場合には、県委員会が留保している投票用紙等から追加交付を行うこと。

なお、県委員会が留保している投票用紙等が追加交付に必要な数量に不足する場合には、県委員会の委員長が総務大臣に対して追加交付の請求を行うこととなるので、県委員会の委員長に対する投票用紙等の追加交付の請求に際しては、あらかじめ時間的余裕をもって連絡すること。

4 郵便等による在外投票

(1) 在外選挙人からの交付請求

在外選挙人は、選挙の期日前4日までに在外選挙人が登録されている在外選挙人名簿の属する市町村委員会(以下「登録地選管」という。)の委員長に対して、当該在外選挙人が署名をした文書により、在外選挙人証を提示して直接に、又は在外選挙人証を同封した郵便等をもって投票用紙等の交付を請求することができること。

(2) 投票用紙等の発送

登録地選管の委員長は、請求を行った選挙人が郵便等による在外投票を行うことができる者に該当すると認められた場合には、参議院議員の任期満了日前60日に当たる日(5月29日)前に受けた請求に対しては同日以後直ちに、同日以後に受けた請求に対しては直ちに、当該選挙人に対して発送しなければならないものであること。この際、在外選挙人から、比例代表選挙、選挙区選挙いずれかの投票用紙のみの請求となっている場合には、投票用紙等の交付誤り等のないよう、十分注意すること。

なお、国外への投票用紙等の発送については、投票用紙等の送付に要する時間を考慮し、あらかじめ十分な準備をしておくとともに、郵送方法の選択においても、最も迅速かつ確実なものを選ぶこと。

おって、在外選挙人証及び投票用封筒に記載すべき事項について、遺漏がないよう特に留意するほか、旧様式の在外選挙人証が同封されていた場合には、在外選挙人の便宜を図るため、新様式のを交付すること。

5 在外公館投票

在外公館における投票は、公示日の翌日から選挙期日前6日までの間に行われるが、選挙の期日の直前に集中して登録地市町村の市町村委員会に到着することが予想されるので、投票の受領、指定在外選挙投票区の投票管理者への送致、受理不受理の決定等の事務に要する人員の配置に留意するなど事務の円滑な処理について配慮すること。

6 国内における投票

(1) 投票の種類等

在外選挙人は、在外選挙人名簿登録地市町村(以下「登録地市町村」という。)の指定在外選挙投票区の投票所において選挙期日に投票すること、登録地市町村において公示日の翌日から選挙期日の前日までの間に市町村委員会が指定した期日前投票所で投票すること、登録地市町村以外の市町村委員会において(選挙権未取得者(選挙の当日に選挙権を有する者に限る。以下同じ。))にあっては、市町村委員会において)公示日の翌日から選挙期日の前日までの間に不在者投票を行うことが可能であること。

(2) 投票所での当日投票

在外選挙人は、選挙当日、自ら登録地市町村の指定在外選挙投票区の投票所へ行き、在外選挙人証を提示して投票することができること。

指定在外選挙投票区の投票管理者は、投票用紙を交付する際には在外投票ができる者であることを確認するとともに、在外選挙人証に記載すべき事項について遺漏のないよう留意しなければならないものであること。

(3) 期日前投票所での投票

在外選挙人は、公示日の翌日から選挙期日の前日までの間、自ら登録地市町村の期日前投票所へ行き、在外選挙人証を提示し、かつ、期日前投票事由を申し立て、当該申し立てが真正であることを誓う旨の宣誓書を提出して投票することができること。

期日前投票所の投票管理者は、投票用紙を交付する際には在外投票ができる者であり、期日前投票事由に該当するかどうかを確認するとともに、在外選挙人証に記載すべき事項について遺漏のないよう留意しなければならないものであること。

(4) 不在者投票

在外選挙人は、公示日の翌日から選挙期日の前日までの間、登録地市町村以外の市町村委員会において(選挙権未取得者にあっては、市町村委員会において)、在外選挙人証を提示し、市町村委員会の委員長が管理する投票を記載する場所で投票を行うことができること。

なお、投票用紙等を請求する場合は、不在者投票事由を申し立て、かつ、当該申し立てが真正であることを誓う旨の宣誓書を提出しなければならないこと。

不在者投票管理者は、投票用紙等を交付する際には、在外投票ができる者であるかどうか、不在者投票事由に該当するかどうかを確認するとともに、在外選挙人証に記載すべき事項について遺漏のないよう留意すること。

7 登録地選管における投票の送致等

登録地市町村の市町村委員会の委員長は、在外公館の長から送付された在外公館投票、郵便等による在外投票、登録地市町村以外の市町村委員会から送付された不在者投票及び選挙権未取得者の不在者投票を直ちに登録地市

町村の指定在外選挙投票区の投票管理者に送致しなければならないこと。

8 投票の受理・不受理の決定等

(1) 投票管理者における受理・不受理の決定等

投票の受理・不受理の決定等についての考え方は、基本的に一般の不在者投票と同じものであること。

指定在外選挙投票区の投票管理者は、投票所を閉じる時刻までに送致を受けた投票について、送付用封筒から投票用封筒を取り出し、投票箱を閉じる前に、投票立会人の意見を聞いて、受理・不受理の決定をすること。

受理された在外投票は、投票用封筒を開いて直ちに投票箱に入れなければならないが、この場合においては、投票の秘密の保持に特に留意すること。

(2) 開票管理者における在外投票の取扱い

開票管理者における在外投票の取扱いについての考え方は、基本的に一般の不在者投票の取扱いと同じであること。

9 在外投票事務処理簿等の作成

(1) 登録地選管の委員長は、在外投票事務処理簿を備え、在外投票に関してとった措置等を記録するとともに、その概略を記載した在外投票に関する調書を作成し、指定在外選挙投票区の投票管理者に送致しなければならないこと。

(2) 在外選挙人の国内での投票においては、登録地選管の委員長は、一般の不在者投票事務処理簿及び不在者投票に関する調書とは別に、在外選挙人に係る不在者投票事務処理簿を備えとともに、在外選挙人の不在者投票に関する調書を作成し、指定在外選挙投票区の投票管理者に送致しなければならないこと。

(3) 指定在外選挙投票区の投票管理者は、1及び2の調書を投票所投票録に添付しなければならないこと。

(4) 指定在外選挙投票区における投票所投票録、期日前投票所において各日毎に作成する期日前投票所投票録は通常のものとは別様式となっているので注意すること。

10 投票用紙等の実績報告

市町村委員会は、選挙の期日後直ちに投票用紙等の受領及び交付に関する実績報告書を県委員会あて提出すること。

11 その他

1から8までに掲げるもののほか、在外選挙人の投票に関する事務の取扱いについては、在外選挙事務取扱要領によること。

(12) 第23回参议院議員通常選挙における投票及び開票事務の取扱いについて(通知)

第 201300029554 号
平成 25 年 6 月 24 日

各市町村選挙管理委員会委員長 あて

鳥取県選挙管理委員会委員長

第23回参议院議員通常選挙(以下「参议院選挙」という。)における投票及び開票事務の取扱いについては、「第23回参议院議員通常選挙における管理執行について(通知)」(平成25年6月6日付第201300028174号)及び「参议院議員通常選挙に係る在外投票の事務処理について(通知)」(平成25年6月6日付第201300028448号)によるほか、下記事項に留意の上、適切な事務処理をお願いします。

記

1 投票事務

投票事務の取扱いについては、既に配布済みの「投票事務取扱要領」、「期日前投票事務取扱要領」及び「在外選挙事務取扱要領」によるほか、特に次の事項に留意すること。

(1) 選挙期日当日の投票所における投票

ア 投票管理者及び職務代理者

① 投票管理者及び職務代理者の選任に当たっては、当該選挙の選挙権を有する者の中から、市町村の選挙管理委員会(以下「市町村委員会」という。)が選任すること。

この場合、参议院鳥取県選挙区選出議員選挙(以下「選挙区選挙」という。)と参议院比例代表選出議員選挙(以下「比例代表選挙」という。)とで同一人を選任して差し支えないこと。

② 投票管理者は、投票事務の最高責任者であり、投票所において投票事務の全般を管理執行するとともに、投票に関する手続の全てについて、最終的な決定権を有すること。

したがって、投票事務が公正かつ的確に処理されているか、選挙人の投票の秘密が守られているか、投票所内の秩序が保たれているかどうか等投票事務の全般に渡り、常に注意しなければならないこと。

なお、職務代理者がその職に就いたときも同様であること。

③ 投票管理者と職務代理者は、同時に席を空けてはならないこと。

イ 投票立会人

① 投票立会人の選任に当たっても、選挙区選挙と比例代表選挙とで同一人とするは差し支えないこと。

② 選任に当たっては、当該投票区の選挙人名簿に登録された者の中から、本人の承諾を得て、市町村委員会が選任すること。

③ 投票立会人は、投票事務の公平を確保するため、公益代表として投票事務の全般に立ち会う職責を有すること。

④ 投票には常に2人以上5人以下の投票立会人が立ち会わなければならないこと。

⑤ 性別や年齢を問わず選任し、投票所の雰囲気や和らげるよう配慮すること。

ウ 投票事務従事者

① 投票事務に他部局の職員を従事させる場合は、それぞれの任命権者に選挙事務従事の職務命令を行ってもらうほか、必要があれば、選挙管理委員会の「書記」に兼務させておくこと。

- ② 投票事務が的確かつ迅速に処理されるよう、あらかじめ係編成及び事務分担を定めておくとともに、事前に事務内容等について十分に説明しておくこと。

エ 投票所の設備等

- ① 選挙期日の公示日以後、可能な限り速やかに入場券を交付すること。
入場券の記載誤り、誤配布等が生じないよう、執行体制に万全を期すとともに、日本郵便株式会社等との連携を密にし、配布計画の策定に当たること。
- ② 投票所の門戸には、必ず選挙区選挙と比例代表選挙の両選挙名の表示がされた標札を掲げておくこと。
- ③ 投票用紙の交付及び投票の記載は、選挙区選挙と比例代表選挙とが別々に行われるようにすること。
この際、最初に選挙区選挙の投票用紙の交付を行い、次に比例代表選挙の投票用紙の交付を行うことができるように適正に設備を配置するとともに、投票用紙の交付誤りがないようにすること。
- ④ 在外選挙人が日本国内で行う投票については、在外選挙人名簿との対照、在外選挙人証の提示、在外選挙人証への必要事項の記入等、一般の選挙人と異なる手続きが必要となるため、その受付等の経路について十分に検討しておくこと。
また、総務省が作成した郵便等による在外投票用の投票用紙等を誤って交付するといったことがないように万全を期すること。
- ⑤ 投票管理者席、投票立会人席、各係席等を明記しておくとともに、選挙人に投票順路、出入口等の表示が一見して分かるよう案内図等を掲示しておくこと。
- ⑥ 投票記載所は、選挙人の投票の秘密が保持できるよう十分配慮すること。
- ⑦ 投票所内及び投票記載台における選挙区選挙の候補者氏名等の掲示及び比例代表選挙の政党等名称等の掲示に当たっては、その内容に誤りがなければ確認すること。
- ⑧ 選挙人への投票の記載方法を分かりやすく周知するよう工夫すること。
- ⑨ 投票箱の表示に当たっては、「投票事務取扱要領」により表示をすること。
- ⑩ 視力障害者に対する便宜供与の一つとして、点字による選挙区選挙の候補者の名簿及び比例代表選挙の参議院名簿届出政党等の名簿を作成し、送付するので、別途通知するところにより取り扱うこと。
- ⑪ 投票所には必ず時計を用意し、投票所の開閉は、投票所の入口を確認して正確に行うこと。
- ⑫ 日没後においても、選挙人が投票しやすいよう、案内や照明を設けること。
- ⑬ 歩行が困難な方の便宜のため、仮設スロープの設置等に配慮すること。（「6その他」参照）

オ 投票の開始

- ① 投票所を開く時刻になったら、投票管理者は投票立会人が2人以上参集していることを確認すること。
この場合、投票立会人が2人に達しないときは、投票管理者は、直ちに2人に達するまで当該投票区の選挙人名簿に登録されている者の中から選任すること。
- ② 最初に到着した選挙人の面前で、全ての投票箱に何も入っていないことを確認（空虚確認）し、その旨当該選挙人に文書で証明してもらうこと。
- ③ 選挙人名簿との対照に当たっては、入場券のみに頼ることなく、入場券、選挙人名簿等の記載内容のほか、本人の申し立てている内容と本人自身とをよく見比べるなどして当該選挙人本人であることを確認すること。
また、投票所内が混雑してきた場合においても、名簿対照が終了するまでは投票用紙を交付しないこと。
なお、成年被後見人の選挙権の回復等のための公職選挙法等の一部を改正する法律により、成年被後見人の選挙権及び被選挙権に係る欠格条項が削除されることから、同法の施行日以後、該当する者に係る表示は削除されているものであること。
- ④ 選挙人が他の選挙人の投票状況等を容易に確認できる方法で対照事務を行わないこと。
- ⑤ 選挙人名簿に、他の市町村へ転出したという表示がしてある者が投票に来た場合は、当該選挙人の転出先の市町村の選挙人名簿に登録されている事実があれば元の住所地で投票させることができないので、この点を本人に確かめるとともに、二重登録の可能性のある者については、事前に転出先の市町村と連絡をとって登録の有無を確認しておくこと。
- ⑥ 補正登録すべき者があった場合は、市町村委員会は直ちに選挙人名簿に登録するとともに、その旨告示すること。
- ⑦ 投票用紙を交付するに当たっては、選挙区選挙と比例代表選挙とは別々に交付するとともに、それぞれ所定の用紙であることを確認して交付すること。
交付の際は、選挙人に黙って渡さず、1枚ずつ「この薄い黄色の投票用紙は選挙区選挙の投票用紙です。候補者の氏名を記入してください。」「この白色の投票用紙は比例代表選挙の投票用紙です。参議院名簿登載者の氏名又は（参議院議員名簿届出）政党等の名称が略称を記入してください。」といったように、はっきりと相手に説明する等、選挙人が投票の記載方法を誤らないよう配慮すること。
- ⑧ 選挙人から点字で投票したい旨の申出があったときは、**点字投票**と右肩に刷り込まれた点字投票用紙に、選挙名を表示する点字シールを貼付して交付すること。
この場合、誤って他の選挙の点字シールを貼らないよう、投票用紙と点字シールの印字及び色をよく確認するとともに、必ず投票用紙の右上から右下の方向に貼り付けること。
また、交付の際、交付係から上記⑦の説明に加え、口頭で「この投票用紙は選挙区選挙です。点字で"サンギン センキョク"と選挙の種類が表示してありますのでご確認ください。」等と説明すること。
- ⑨ 代理投票は、心身の故障その他の事由により、投票用紙に候補者の氏名等を自書することができない者に限られること。
代理投票の申請があった場合は、投票管理者は投票立会人の意見を聴いて代理投票を行わせるかどうか決定するとともに、別に補助者2人を投票所の事務に従事する者のうちから選任しなければならないこと（補助者本人の承諾を得る必要はない。）。

カ 投票所の閉鎖等

- ① 投票管理者は、投票所閉鎖時刻になったら投票所の閉鎖宣言をするとともに、「投票所の入口」を閉じるこ

と。

② 投票管理者は、不在者投票及び在外投票の受理、不受理の決定に当たっては、投票立会人の意見を聴いて決定すること。

③ 投票箱は、そのふたを閉じた後は、絶対に開いてはならないこと。

④ 投票管理者及び投票立会人は、選挙区選挙及び比例代表選挙それぞれの投票録を正副2通作成し、署名すること。

また、指定在外選挙投票区における投票所投票録は、一般のものとは様式が異なっているので注意すること。

なお、投票録に記載する選挙当日有権者数には、失権者を含まないが、期日前投票を行った者のうち選挙期日までに選挙権を失った者は含まれるので注意すること。

⑤ 投票箱は、投票管理者が投票立会人とともに開票管理者に送致すること。

この場合、送致目録を作成し、投票録等必要書類も併せて送致すること。

(2) 期日前投票所における投票

ア 投票管理者及び職務代理人

① 投票管理者は、選挙権を有する者の中から市町村の委員会が選任すること。

また、職務代理人についてはこれと異なり、当該選挙の選挙権を有する者に限られているので注意すること。

なお、いずれの者についても、選挙区選挙と比例代表選挙とで同一人を選任して差し支えないこと。

② 期日前投票所は、当日投票と同様に確定投票であることから、選挙期日当日の投票所と同じく投票管理者が常駐し、管理することとなること。

イ 投票立会人

① 市町村委員会は、選挙権を有する者の中から本人の承諾を得て、2人の投票立会人を選任すること。

なお、選挙区選挙と比例代表選挙とで同一人を選任して差し支えないこと。

② 投票立会人の職務内容は、投票手続きの立会い等を行うことであるが、毎日投票箱の鍵の封印を行う点と期日前投票の期間の末日において投票箱の送致にあたる必要のない点異なるので留意すること。

ウ 期日前投票所の設備等

① 期日前投票所の門戸においても、必ず選挙区選挙と比例代表選挙の両選挙名の表示がされた標札を掲げておくこと。

② 投票用紙の交付及び投票の記載は、選挙区選挙と比例代表選挙とが別々に行われるようにするとともに、在外投票に関し、指定した期日前投票所においては、受付等の経路についても十分に検討しておくこと。

また、総務省が作成した郵便による在外投票用の投票用紙等を誤って交付するといったことがないよう万全を期すること。

③ 選挙期日の公示日の翌日から選挙期日の前日まで、期日前投票所内の適当な箇所に選挙区選挙の候補者氏名及び党派名並びに比例代表選挙の政党等の名称、略称及び名簿登載者の氏名を掲示すること。

④ 期日前投票所における投票については、選挙期日当日の投票と同様に仮投票の制度が適用されること。

エ 投票の開始

投票箱の空虚確認は、期日前投票期間の初日のみではなく、投票箱の追加を行う場合には、その都度投票を行う前にその手続を行う必要があること。また、投票箱に何も入っていないことを確認し、その旨を選挙人に文書で証明してもらうこと。

オ 投票所の閉鎖等

① 投票管理者は、期日前投票所を閉じるべき時刻になったら投票所の閉鎖宣言をするとともに、「期日前投票所の入口」を閉じること。

② 投票箱の閉鎖後は、一の鍵は投票管理者が封印し、他の鍵は投票立会人が封印することになること。

③ 投票箱を閉鎖してから翌日に開くまでの保管方法としては、原則として期日前投票所においてそのまま保管することとなるが、保管のため必要があれば期日前投票所外の金庫等に入れて保管することも可能であること。

④ 投票管理者は、期日前投票を行う各日に選挙区選挙及び比例代表選挙それぞれの期日前投票所投票録を正副2通作成し、投票立会人とともに署名すること。

なお、指定在外選挙投票区における期日前投票所投票録は、一般のものとは様式が異なるので注意すること。

⑤ 投票箱は、期日前投票の期間の末日において、期日前投票所を閉鎖した後に、投票管理者が市町村委員会へ送致し、選挙の期日に市町村委員会が開票管理者へ送致すること。

この場合、送致目録を作成し、封印をした鍵、投票録、選挙人名簿の抄本等についても併せて送致すること。

2 開票事務

開票事務の取扱いについては、別途配布する「開票事務取扱要領」によるほか、特に次の事項に留意すること。

(1) 開票管理者及び職務代理人

ア 開票管理者及び職務代理人の選任に当たっては、各選挙ごとに当該選挙の選挙権を有する者の中から、市町村委員会が選任すること。

この場合、選挙区選挙と比例代表選挙に同一人を選任できること。

イ 開票管理者は、開票事務の最高責任者であって、投票の有効、無効を正しく決定したり、開票事務が公正かつ迅速に処理されているかどうか、会場の秩序が十分保たれているかどうか等、開票事務の全般に渡り常に注意しなければならないこと。

なお、職務代理人がその職に就いたときも同様であること。

ウ 開票管理者と職務代理人とは同時に席を空けてはならないこと。

(2) 開票立会人

- ア 開票立会人は、選挙区選挙の候補者及び比例代表選挙の名簿届出政党等が、その開票区内の選挙人名簿に登録されている者の中から、開票立会人となることについての本人の承諾書を添付して、選挙期日の前3日目の午後5時までに当該市町村委員会に届け出ることになっていること。
この場合、候補者及び名簿届出政党等は、同一人を開票立会人となるべき者として届け出ることにはできないので、届出の受理に当たっては十分注意すること。
- イ 開票立会人は、選挙区選挙及び比例代表選挙について常にそれぞれ3人以上10人以下でなければならないこと。
この場合、届出のあった者が10人以下のときは、その者が開票立会人となり、11人以上あるときは、その者の中から市町村委員会がくじにより開票立会人となるべき者10人を定めること。
また、同一の政党等に属する候補者から届出のあった者が3人以上あるときは、その中から2人をくじで定め、これら以外の者は開票立会人となれないこと。
ここでいう政党等の所属とは、候補者の立候補届出の所属政党等又は名簿届出政党等であって、開票立会人として届け出られた者の所属政党等ではない点に注意すること。
- (3) 開票事務従事者
- ア 開票事務に他部局の職員を従事させる場合は、それぞれの任命権者に選挙事務従事の職務命令を行ってもらうほか、必要があれば、選挙管理委員会の「書記」に兼務させておくこと。
- イ 開票事務が的確かつ迅速に処理されるよう、あらかじめ係編成及び事務分担を定めておくとともに、事前に事務内容等について十分説明しておくこと。
また、動きやすい衣服等（ウエア、シューズ等）を着用するよう、事前に指示しておくこと。
- ウ 開票事務従事者は、その身分を明らかにし、関係者以外の入場者と区別するため、一定の記章又は腕章を必ず付けること。
- エ 開票事務従事者は、開票参観人等に疑念を抱かれるような言動を厳に避けるよう留意すること。
- (4) 開票所の設備等
- ア 開票所の門戸には、必ず選挙区選挙と比例代表選挙の両選挙名を表示した標札を掲げておくこと。
- イ 投票点検台等については、開票事務が的確かつ迅速に処理されるよう、高さや配置等を工夫すること。
- ウ 参観人等が投票点検台等に近づくことがないように措置すること。
- エ 選挙区選挙については、参観人、報道関係者の便宜のために各候補者の得票数を掲示する掲示板等を設けること。
また、比例代表選挙についても、可能な限り掲示を行うこと。
- オ 開票所の照明については特に留意し、不測の停電等に備えて照明器具を必ず用意しておくとともに、必要に応じ、無停電装置等も準備しておくこと。
- カ 参観人は、当該市町村の選挙人であることを要件とするので、受付簿を備え付け、その者の氏名、住所等を記入させること。
- キ 複写機を利用できる開票所にあつては、開票結果一覧表を複写して参観人等に配布するなど、迅速に開票結果を有権者に知らせるよう配慮すること。
- (5) 開票の開始
- ア 開票管理者は、既に告示されている開票開始時刻になったら、選挙区選挙及び比例代表選挙の開票立会人がそれぞれ3人以上いること及び全ての投票区の投票箱（期日前投票所の投票箱を含む。）を受領し、異常のないことを確認の上、開票開始宣言をすること。
この場合、それぞれの開票立会人が3人に達しないときは、開票管理者は直ちに3人に達するまで、その開票区内の選挙人名簿に登録されている者の中から選任すること。
- イ 投票箱は全部を一度に開き、まず選挙区選挙と比例代表選挙との投票の分別を行い、その後、各投票区の投票の内容がわからないように混同すること。
この場合、開票管理者は仮投票、代理投票の仮投票並びに投票所で不受理又は拒否の決定を受けた不在者投票及び在外投票がある場合は、当該投票の受理及び不受理を開票立会人の意見を聴いて決定しておくこと。
- (6) 投票の処理
- ア 投票の処理は、選挙区選挙を先に行い、その後に比例代表選挙を行うこと。
- イ 投票の処理に当たっては、事前に開票立会人にその事務処理体系を説明の上、事務処理が迅速に行えるよう協力を得ること。
- ウ 疑問票の判定に対処するため、事前に過去の実例及び判例を研究しておくとともに、比例代表選挙の投票の効力の判定方法についても、事前によく研究しておくこと。
- エ 投票の効力は、開票管理者が開票立会人の意見を聴いて、最終的に決定するものであること。
- オ 投票結果については、投票者数、投票総数、有効投票数及び無効投票数について総合的に点検を行うこと。
この場合、投票者数と投票総数との不一致については、再度その手続の点検を行うこと等によりその原因を調査し、安易に「持ち帰りその他」等と処理することのないよう特に留意すること。
- カ 開票管理者は、投票結果の確認が終わったときは、必ず各候補者及び名簿届出政党等の得票数を朗読又は掲示して、開票結果を参観人等に周知すること。
- キ 比例代表選挙の投票の処理は、選挙区選挙の投票と混同する恐れが全くなくなったのを確認した上で開始すること。
- ク 開票管理者は、開票が終了したときは、選挙区選挙及び比例代表選挙それぞれの開票録を正副2通作成し、開票立会人とともに署名すること。
- 3 投票及び開票速報
- 投票及び開票の速報並びに速報投票区の投票速報（該当市町村のみ）については、別途通知するところによるほか、特に次の事項に留意すること。
- (1) 速報担当者

県への速報担当者は、投開票オンラインシステムに習熟しておくとともに、県からの電話確認等に的確に対応できるように、投開票事務の進捗状況を常に把握しておくこと。

また、県との連絡が常時取れるよう体制を整備しておくこと。

(2) 速報の迅速性及び正確性の確保

速報の迅速性及び正確性の確保はもちろんのことであるが、報告に当たっては、必ず複数の者と数値の読み合わせを行うとともに、進捗管理を徹底すること。

4 選挙時登録者数及び当日有権者数等の報告

参議院選挙における選挙人名簿整理及び当日有権者数の報告については、「第23回参議院議員通常選挙における各種報告等について(通知)」(平成25年5月7日付201300025887号)及び「第23回参議院議員通常選挙における選挙人名簿の整理(想定)について(通知)」(平成25年5月1日付第201300022404号)により通知しているところであるので、所定の様式により報告すること。

(1) 選挙時登録者数及び在外選挙人名簿登録者数については、公示日前日の午前12時00分までにファクシミリにより報告すること。

(2) 当日有権者数(在外含む。)については、選挙期日前日の午前12時00分までにファクシミリにより報告すること。

なお、当日有権者数には、住所移転により表示がなされている者も含まれるので注意すること。

5 開票録等及び確定報告書の検収

参議院選挙の開票録等の検収は7月22日に、確定報告書の検収は別途通知するところによりそれぞれ行う予定であること。(「第23回参議院議員通常選挙における各種報告等について(通知)」(平成25年5月7日付201300025887号))

6 その他

(1) 開票事務は、正確性が第一であることはもちろんであるが、その速報性についても報道機関、ひいては選挙人から要請されているところである。

他県等においても、近年、開票事務の迅速化に対する取組みがさかんに検討、実践されているところであるので、各市町村においても、本通知及び別途配布の「開票事務取扱要領」によるほか、他団体の先進事例の取組みをマニュアルに反映させたり、前回の衆議院議員総選挙、参議院議員通常選挙及び統一地方選挙をベースに時間短縮の目標を設定するなど、開票事務の迅速化に向けた取組みを行うこと。

(2) 投票所は、選挙人の便宜を考慮して、当該投票区の中で最も適当な施設を選定して設けることとし、選挙人の便宜のため、例えば土足で出入りができるよう配慮すること。

(3) 投票所及び開票所は可能な限り1階に設けるとともに、床等に段差がある場合は、高齢者や歩行が困難な身体障害者等の便宜のため、スロープを設置するなど適切な措置を講じること。

(4) 投票が円滑に行われるようにするため、投票所内の入口等に投票の順序、投票所の見取図を掲示するほか、投票所内においては、投票の順路についての案内や誘導をすること。

(5) 身体等に障害がある選挙人に対しては、付添人も含めて、その対応には十分配慮すること。特に代理投票を行わせる場合には制度の趣旨を十分に説明し、丁寧な対応を行うこと。

(6) 投票所内における氏名等の掲示に当たっては、当該掲示事項について誤りのないよう万全を期すること。

また、投票所に虫めがねや老眼鏡を備え付けるなど、選挙人が氏名表、政党等名称等掲示の記載内容を容易に確認できるように、可能な限り便宜を図ること。

(13) 近く執行予定の参議院議員通常選挙において使用する諸物品の輸送計画について(通知)

第201300050457号
平成25年6月20日

各市町村選挙管理委員会事務局長 あて

鳥取県選挙管理委員会事務局長

このことについて、下記のとおり送付しますので、担当者を派遣して受領していただきますようお願いいたします。

なお、投票用紙の保管については、盗難、紛失、焼失等の事故がないよう万全の措置を講じられることを特に願います。

本通知は、平成25年7月4日(木)公示、7月21日(日)選挙期日を想定したものであり、期日等が変更となった場合は、別途お知らせします。

記

1 送付期日

第1回 平成25年6月27日(木)

第2回 平成25年7月1日(月)

第3回 平成25年7月10日(水)

第4回 平成25年7月12日(金)

2 送付物品の種類 別紙1のとおり

3 送付物品の数量 別紙2のとおり

4 送付方法 別紙3のとおり

5 輸送計画 別紙4のとおり

6 留意点

諸物品の受渡しに当たっては、受領書を徴するので、担当職員は印章を持参すること。また、その際本人確認を行うので、身分証明書を提示すること。

別紙1

送付物品の種類

輸送区分	選挙啓発	番号	送付物品の名称	比例	選挙区	備考
第1回輸送 6/27 (木)	選挙物資	1	一般用投票用紙	○	○	
		2	船員用不在者投票用紙	○	○	
		3	点字投票用紙	○	○	
		4	点字シール	○	○	
		5	不在者投票用外封筒(公印あり)	○	○	
		6	不在者投票用外封筒(公印なし)	○	○	
		7	郵便投票用外封筒(本人用)	○	○	
		8	郵便投票用外封筒(代理記載用)	○	○	
		9	不在者投票用内封筒	○	○	
		10	仮投票用封筒	○	○	
		11	不在者投票事務処理簿(一般)	○	○	
		12	不在者投票事務処理簿(在外)	○	○	
		13	不在者投票に関する調書(一般)	○	○	
		14	不在者投票に関する調書(在外)	○	○	
		15	在外投票に関する調書	○	○	
		16	期日前投票所投票録(一般)	○	○	
		17	期日前投票所投票録(在外)	○	○	
		18	点字候補者氏名票	○	×	期日前投票所分
		19	不在者投票証明書用封筒	○		共用
		20	期日前投票宣誓書	○		"
		21	不在者投票宣誓書・請求書	○		"
		22	不在者投票証明書	○		"
		23	投票用紙送付票	○		"
		24	投票用紙及び投票用封筒精算書	○		"
		25	郵便等投票証明書(本人用)	○		"
		26	郵便等投票証明書(代理記載用)	○		"
		27	引継書	○		"
第2回輸送 7/1 (月)	啓発物資	1	懸垂幕・横断幕	○		共用
		2	ポスター(県作成)	○		"
		3	ポスター(国作製)	○		別途送付
		4	点字パンフレット(国作成)	○		共用
		5	音声CD(国作成)	○		"
		6	立候補者申込書	○		"
		7	選挙のしおり(チラシ)	○		"
		8	啓発用のぼり旗	○		"
第3回輸送 7/10 (水)	選挙物資	1	選挙公報	○	○	
第4回輸送 7/12 (金)	投票関係諸用紙等	1	投票所投票録(一般)	○	○	
		2	投票所投票録(在外)	○	○	
		3	開票録	○	○	表紙を含む
		4	有効投票決定箋	○	○	
		5	無効投票決定箋	○	○	
		6	疑問票効力決定箋	○	○	
		7	按分票効力決定箋	○	○	
		8	得票集計表	○	○	
		9	政党名・名簿登載者氏名揭示(大)	×	○	期日前投票所分を除く
		10	政党名・名簿登載者氏名揭示(小)	×	○	期日前投票所分を除く
		11	点字政党等名称等票	×	○	期日前投票所分 (比例当日分は別途送付)
		12	点字候補者氏名票	○	×	当日分

13	視覚障がい者用選挙のお知らせ(音声版テープ、音声版CD、拡大文字盤)	○	○
----	------------------------------------	---	---

別紙2

第1回送付物品

選挙区

区分	1 一般用投票 用紙	2 船員用 不在者 投票用 紙	3 点 字 用 票 用 紙	4 点 字 シ ー ル	5 不 在 者 投 票 用 外 封 筒 (公印有)	6 不 在 者 投 票 用 外 封 筒 (公印無)	7 郵 便 投 票 用 外 封 筒 (本 人 用)	8 郵 便 投 票 用 外 封 筒 (代 理 記 載 用)	9 不 在 者 投 票 用 内 封 筒	10 仮 投 票 用 封 筒
鳥取市	160,500	100	300	300	1,700	20	150	40	1,910	200
米子市	121,600		160	160	1,100		100	20	1,220	100
倉吉市	41,800		110	110	600		50	10	660	80
境港市	29,900	100	50	50	500	20	50	10	580	30
岩美町	10,900	100	30	30	100	20	10	5	135	50
若桜町	3,700		10	10	80		10	5	95	20
智頭町	7,100		10	10	90		10	5	105	20
八頭町	16,400		30	30	180		10	5	195	50
三朝町	6,300		50	50	110		10	5	125	50
湯梨浜町	15,100		50	50	210		10	5	225	30
琴浦町	16,200	100	20	20	220	20	10	5	255	40
北栄町	13,600		30	30	150		10	5	165	50
日吉津村	3,100		10	10	30		10	5	45	10
大山町	15,900		30	30	220		10	5	235	50
南部町	10,200		20	20	90		10	5	105	20
伯耆町	10,300		20	20	100		10	5	115	40
日南町	5,200		40	40	110		10	5	125	40
日野町	3,500		20	20	50		10	5	65	20
江府町	3,300		20	20	60		10	5	75	30
都市計	353,800	200	620	620	3,900	40	350	80	4,370	410
町村計	140,800	200	390	390	1,800	40	150	75	2,065	520
合計	494,600	400	1,010	1,010	5,700	80	500	155	6,435	930
予備	200	100	90	90	100	20	100	45	265	40
(合計+予備)	494,800	500	1,100	1,100	5,800	100	600	200	6,700	970

区分	11 不在者投票 事務処理簿 (一般)	12 不在者投票 事務処理簿 (在外)	13 不在者 投票に 関する 調書(一 般)	14 不在者投票 に関する調 書(在外)	15 在外投票に 関する調書	16 期日前投票 所投票録(一 般)	17 期日前投票 所投票録 (在外)	18 点字候補者 氏名票(期日 前投票所分)
鳥取市	190	5	190	5	5	450	50	15
米子市	90	5	90	5	5	50	50	7
倉吉市	70	5	70	5	5		50	6
境港市	40	5	30	5	5		50	6
岩美町	50	5	50	5	5		50	6
若桜町	20	5	20	5	5		50	6
智頭町	20	5	20	5	5		50	6
八頭町	50	5	50	5	5	100	50	8
三朝町	40	5	40	5	5		50	6
湯梨浜町	30	5	40	5	5		50	6
琴浦町	40	5	40	5	5		50	6
北栄町	30	5	30	5	5		50	6
日吉津村	10	5	10	5	5		50	6
大山町	40	5	40	5	5	100	50	8
南部町	20	5	20	5	5		50	6
伯耆町	30	5	30	5	5	50	50	7
日南町	30	5	30	5	5		50	6
日野町	20	5	20	5	5		50	6

江府町	30	5	30	5	5		50	6
都市計	390	20	380	20	20	500	200	34
町村計	460	75	470	75	75	250	750	95
合計	850	95	850	95	95	750	950	129
予備	150	35	150	35	35	50	50	
(合計+予備)	1,000	130	1,000	130	130	800	1,000	129

比例代表

区分	1 一般用投票 用紙	2 船員用 不在者 投票用 紙	3 点 字 用 票 用 紙	4 点 字 シ ー ル	5 不 在 者 投 票 用 外 封 筒 (公印有)	6 不 在 者 投 票 用 外 封 筒 (公印無)	7 郵 便 投 票 用 外 封 筒 (本 人用)	8 郵 便 投 票 用 外 封 筒 (代 理 記 載 用)	9 不 在 者 投 票 用 内 封 筒	10 仮 投 票 用 封 筒
鳥取市	160,500	100	300	300	1,700	20	150	40	1,910	200
米子市	121,600		160	160	1,100		100	20	1,220	100
倉吉市	41,800		110	110	600		50	10	660	80
境港市	29,900	100	50	50	500	20	50	10	580	30
岩美町	10,900	100	30	30	100	20	10	5	135	50
若桜町	3,700		10	10	80		10	5	95	20
智頭町	7,100		10	10	90		10	5	105	20
八頭町	16,400		30	30	180		10	5	195	50
三朝町	6,300		50	50	110		10	5	125	50
湯梨浜町	15,100		50	50	210		10	5	225	30
琴浦町	16,200	100	20	20	220	20	10	5	255	40
北栄町	13,600		30	30	150		10	5	165	50
日吉津村	3,100		10	10	30		10	5	45	10
大山町	15,900		30	30	220		10	5	235	50
南部町	10,200		20	20	90		10	5	105	20
伯耆町	10,300		20	20	100		10	5	115	40
日南町	5,200		40	40	110		10	5	125	40
日野町	3,500		20	20	50		10	5	65	20
江府町	3,300		20	20	60		10	5	75	30
都市計	353,800	200	620	620	3,900	40	350	80	4,370	410
町村計	140,800	200	390	390	1,800	40	150	75	2,065	520
合計	494,600	400	1,010	1,010	5,700	80	500	155	6,435	930
予備	200	100	90	90	100	20	100	45	265	40
(合計+予備)	494,800	500	1,100	1,100	5,800	100	600	200	6,700	970

区分	11 不 在 者 投 票 事 務 処 理 簿 (一般)	12 不 在 者 投 票 事 務 処 理 簿 (在外)	13 不 在 者 投 票 に 関 す る 調 書 (一般)	14 不 在 者 投 票 に 関 す る 調 書 (在外)	15 在 外 投 票 に 関 す る 調 書	16 期 日 前 投 票 所 投 票 録 (一般)	17 期 日 前 投 票 所 投 票 録 (在 外)
鳥取市	190	5	190	5	5	450	50
米子市	90	5	90	5	5	50	50
倉吉市	70	5	70	5	5		50
境港市	40	5	30	5	5		50
岩美町	50	5	50	5	5		50
若桜町	20	5	20	5	5		50
智頭町	20	5	20	5	5		50
八頭町	50	5	50	5	5	100	50
三朝町	40	5	40	5	5		50
湯梨浜町	30	5	40	5	5		50
琴浦町	40	5	40	5	5		50
北栄町	30	5	30	5	5		50
日吉津村	10	5	10	5	5		50
大山町	40	5	40	5	5	100	50

南部町	20	5	20	5	5		50
伯耆町	30	5	30	5	5	50	50
日南町	30	5	30	5	5		50
日野町	20	5	20	5	5		50
江府町	30	5	30	5	5		50
都市計	390	20	380	20	20	500	200
町村計	460	75	470	75	75	250	750
合計	850	95	850	95	95	750	950
予備	150	35	150	35	35	50	50
(合計+予備)	1,000	130	1,000	130	130	800	1,000

各選挙共通

区分	1 不在者 投票証 明書用 封筒	2 期日前投 票宣誓書	3 不在者 投票誓 書請求 書	4 不在者 投票証 明書	5 投票用紙 送付票	6 投票用紙 及び投票 用封筒精 算書	7 郵便等投 票証明書 (本人用)	8 郵便等投 票証明書 (代理記載 用)	9 引継書
鳥取市	350	35,200	1,720	350	120	120	150	40	40
米子市	200	28,400	1,100	200	60	60	100	20	40
倉吉市	60	7,300	600	60	50	50	50	10	40
境港市	130	7,900	520	130	20	20	50	10	40
岩美町	20	2,300	120	20	40	40	10	5	40
若桜町	20	1,100	80	20	20	20	10	5	40
智頭町	20	3,300	90	20	15	15	10	5	40
八頭町	30	4,900	180	30	40	40	10	5	40
三朝町	20	1,900	110	20	30	30	10	5	40
湯梨浜町	20	3,200	210	20	20	20	10	5	40
琴浦町	20	4,000	240	20	30	30	10	5	40
北栄町	30	3,400	150	30	20	20	10	5	40
日吉津村	20	700	30	20	5	5	10	5	40
大山町	30	5,400	220	30	30	30	10	5	40
南部町	30	2,900	90	30	20	20	10	5	40
伯耆町	20	3,800	100	20	30	30	10	5	40
日南町	20	1,400	110	20	20	20	10	5	40
日野町	20	1,200	50	20	20	20	10	5	40
江府町	20	1,100	60	20	20	20	10	5	40
都市計	740	78,800	3,940	740	250	250	350	80	160
町村計	340	40,600	1,840	340	360	360	150	75	600
合計	1,080	119,400	5,780	1,080	610	610	500	155	760
予備	70	400	320	70	30	10	100	45	40
(合計+予備)	1,150	119,800	6,100	1,150	640	620	600	200	800

第2回送付物品

啓発物資 (各選挙共通)

区分	1 懸垂幕・横断 幕	2 ポスター (県作成)	4 点字パンフレ ット	5 音声CD (国作成)	6 立候補者申込 書	7 選挙のしおり (チラシ)	8 啓発用のぼ り旗
鳥取市	10	900	11	11	6	91,200	2
米子市	1	350	4	4	4	72,300	2
倉吉市	2	380	4	4		24,500	2
境港市	1	130	3	3		17,300	2
岩美町	1	160	2	2		5,120	2
若桜町	1	110	2	2		1,600	2
智頭町		90	2	2		3,200	2
八頭町	3	260	4	4		6,800	2
三朝町	1	150	2	2		3,200	2
湯梨浜町	3	150	4	4		7,000	2
琴浦町	2	150	3	3		7,200	2
北栄町	2	180	3	3		5,700	2

日吉津村	1	15	2	2		1,350	2
大山町	3	180	4	4		6,700	2
南部町	2	100	3	3		4,500	2
伯耆町	2	160	3	3		4,500	2
日南町	1	150	2	2		3,000	2
日野町	2	80	3	3		1,850	2
江府町	1	100	2	2		1,400	2
都市計	14	1,760	22	22	10	205,300	8
町村計	25	2,035	41	41		63,120	30
合計	39	3,795	63	63	10	268,420	38
予備		173	7	7		1,780	
(合計+予備)	39	3,968	70	70	10	270,200	38

第4回送付物品
選挙区

区分	1	2	3-1	3-2	4	5	6	7
	投票所投票録 (一般)	投票所投票録 (在外)	開票録表紙	開票録	有効投票決定箋	無効投票決定箋	疑問票効力決定箋	按分票効力決定箋
鳥取市	300	4	4	4	1000	500	200	10
米子市	180	4	4	4	6000	800	150	10
倉吉市	110	3	4	4			20	
境港市	50	4	4	4	1400	200	100	10
岩美町	80	4	4	4	520	100	50	10
若桜町	40	4	4	4	160	100	50	10
智頭町	40	4	4	4	340	100	50	10
八頭町	80	4	4	4	770	150	150	10
三朝町	70	4	4	4	290	100	50	10
湯梨浜町	50	4	4	4	710	150	150	10
琴浦町	60	4	4	4	350	70	100	10
北栄町	50	4	4	4	200	100	20	10
日吉津村	10	4	4	4	130	100	50	10
大山町	70	4	4	4	740	200	150	10
南部町	20	4	4	4	300	50	50	10
伯耆町	60	4	4	4	480	150	150	20
日南町	50	4	4	4	240	100	50	10
日野町	40	4	4	4	150	100	50	10
江府町	50	4	4	4	140	100	50	10
都市計	640	15	16	16	8,400	1,500	470	30
町村計	770	60	60	60	5,520	1,670	1,170	160
合計	1,410	75	76	76	13,920	3,170	1,640	190
予備	140	25	24	24	130	80	60	10
(合計+予備)	1,550	100	100	100	14,050	3,250	1,700	200

区分	8	12	13-1	13-2	13-3
	得票集計表	点字候補者 氏名票 (当日分)	視覚障がい 者用選挙の お知らせ (音声版テ ープ)	視覚障がい 者用選挙の お知らせ (音声版C D)	視覚障がい 者用選挙の お知らせ (拡大文字 版)
鳥取市	130	92	1	1	1
米子市	60	43	1	1	1
倉吉市		35	1	1	1
境港市	20	12	1	1	1
岩美町	10	22	1	1	1
若桜町	10	9	1	1	1
智頭町	10	7	1	1	1
八頭町	30	22	1	1	1
三朝町	10	20	1	1	1
湯梨浜町	30	12	1	1	1
琴浦町	10	16	1	1	1

北栄町	20	12	1	1	1
日吉津村	10	1	1	1	1
大山町	30	19	1	1	1
南部町	10	9	1	1	1
伯耆町	20	15	1	1	1
日南町	10	12	1	1	1
日野町	10	9	1	1	1
江府町	10	13	1	1	1
都市計	210	182	4	4	4
町村計	230	198	15	15	15
合計	440	380	19	19	19
予備	10				
(合計+予備)	450	380	19	19	19

比例代表

区分	1 投票所投票 録 (一般)	2 投票所投票 録 (在外)	3-1 開票録表紙	3-2 開票録	4 有効投票決 定箋	5 無効投票決 定箋	6 疑問票効 力決定箋	7 按分票効力 決定箋
鳥取市	300	4	4	4	3,000	500	200	100
米子市	180	4	4	4	6,000	800	150	10
倉吉市	110	3	4	4			50	
境港市	50	4	4	4	1,400	200	100	10
岩美町	80	4	4	4	520	100	50	10
若桜町	40	4	4	4	160	100	50	10
智頭町	40	4	4	4	340	100	50	10
八頭町	80	4	4	4	770	150	150	10
三朝町	70	4	4	4	290	100	50	10
湯梨浜町	50	4	4	4	710	150	150	10
琴浦町	60	4	4	4	350	70	100	10
北栄町	50	4	4	4	600	100	20	60
日吉津村	10	4	4	4	130	100	50	10
大山町	70	4	4	4	740	300	600	200
南部町	20	4	4	4	300	50	50	10
伯耆町	60	4	4	4	480	200	200	100
日南町	50	4	4	4	240	100	50	10
日野町	40	4	4	4	150	100	50	10
江府町	50	4	4	4	140	100	50	10
都市計	640	15	16	16	10,400	1,500	500	120
町村計	770	60	60	60	5,920	1,820	1,670	480
合計	1,410	75	76	76	16,320	3,320	2,170	600
予備	140	25	24	24	130	80	80	50
(合計+予備)	1,550	100	100	100	16,450	3,400	2,250	650

区分	8 得票集計表	9 政党名・名 簿登載者氏 名揭示 (大)	10 政党名・名 簿登載者氏 名揭示 (小)	11 点字政党等 名称等票 (期日前投 票所分)	13-1 視覚障がい 者用選挙の お知らせ (音声版テ ープ)	13-2 視覚障がい 者用選挙の お知らせ (音声版C D)	23-3 視覚障がい 者用選挙の お知らせ (拡大文 字版)
鳥取市	250	120	1600	15	1	1	1
米子市	60	65	590	7	1	1	1
倉吉市		53	430	6	1	1	1
境港市	20	18	150	6	1	1	1
岩美町	10	33	220	6	1	1	1
若桜町	10	14	90	6	1	1	1
智頭町	10	11	70	6	1	1	1
八頭町	30	33	220	8	1	1	1
三朝町	10	30	160	6	1	1	1
湯梨浜町	30	18	120	6	1	1	1

琴浦町	10	24	160	6	1	1	1
北栄町	20	18	120	6	1	1	1
日吉津村	10	2	10	6	1	1	1
大山町	250	29	190	8	1	1	1
南部町	10	14	90	6	1	1	1
伯耆町	20	23	150	7	1	1	1
日南町	10	18	120	6	1	1	1
日野町	10	14	90	6	1	1	1
江府町	10	20	130	6	1	1	1
都市計	330	256	2,770	34	4	4	4
町村計	450	301	1,940	95	15	15	15
合計	780	557	4,710	129	19	19	19
予備	20	23	40				
(合計+予備)	800	580	4,750	129	19	19	19

(別紙3)

送付方法

※物資の受渡しにおける注意事項

受渡しに当たっては、受領書を徴するので、担当職員は印章を持参すること。また、その際本人確認を行うので、身分証明書を提示すること。

1 第1回輸送【投票用紙等】

鳥取市、岩美町及び八頭郡の3町の選挙管理委員会に対しては、県庁1階講堂で、午前9時から9時30分までの間に受渡しを行う。

上記以外の選挙管理委員会に対しては、別紙4の輸送計画に沿って受渡しを行う。

2 第2回輸送【啓発物資】

鳥取市、岩美町及び八頭郡の3町の選挙管理委員会に対しては、県庁1階講堂で、午前9時から9時30分までの間に受渡しを行う。

上記以外の選挙管理委員会に対しては、別紙4の輸送計画に沿って受渡しを行う。

3 第3回輸送【選挙公報】

(1) 選挙公報（選挙区）

鳥取市、岩美町及び八頭郡3町の選挙管理委員会に対しては、日ノ丸印刷株式会社東郷工場（鳥取市本高421-8）で、午前8時から8時30分までの間に選挙公報（選挙区分）の受渡しを行う。

上記以外の選挙管理委員会に対しては、別紙4の輸送計画に沿って受渡しを行う。

(2) 選挙公報（比例代表）

鳥取市、岩美町及び八頭郡3町の選挙管理委員会に対しては、新日本海新聞社（鳥取市五反田町12番3）で、午前8時30分から9時までの間に選挙公報（比例代表分）の受渡しを行う。

上記以外の選挙管理委員会に対しては、別紙4の輸送計画に沿って受渡しを行う。

4 第4回輸送【投票関係諸用紙等】

鳥取市、岩美町及び八頭郡の3町の選挙管理委員会に対しては、県庁1階講堂で、午前9時から9時30分の間に受渡しを行う。

上記以外の選挙管理委員会に対しては、別紙4の輸送計画に沿って受渡しを行う。

(別紙4)

輸送日程等

○下記の日程と時間は変更となることがあります。

(1) 日程

輸送の名称	輸 送 日	輸 送 方 法
第1回輸送	平成25年6月27日(木)	県庁出発
第2回輸送	平成25年7月1日(月)	県庁出発
第3回輸送	平成25年7月10日(水)	印刷所出発
第4回輸送	平成25年7月12日(金)	県庁出発

(2) 行程

○各回とも下記日程により物資輸送を行う予定です。

○経路等を変更する場合があります。

予定時間	受渡場所	受渡市町村
9:00	第1、2、4回は県庁出発 第3回は印刷業者出発	(トラックは、8:00県庁裏玄関着) (トラックは、8:00印刷業者着)
10:00	湯梨浜町役場	湯梨浜町
10:30	倉吉市役所	倉吉市、三朝町
11:10	北栄町役場	北栄町
11:40	琴浦町役場	琴浦町
13:00	大山町役場	大山町
13:40	日吉津村役場	日吉津村

14:10	第1、2、4回：米子市役所 第3回：ふれあいの里	米子市、境港市
14:50	伯耆町役場	南部町、伯耆町
15:20	江府町防災情報センター	江府町
15:40	日野町役場	日南町、日野町

(14) 第23回参议院議員通常選挙における投票速報及び開票速報の取扱いについて(通知)

第201300048136号
平成25年6月14日

各市町村選挙管理委員会委員長 あて

鳥取県選挙管理委員会委員長

近く執行予定の参议院議員通常選挙の投票速報及び開票速報については、別添の「第23回参议院議員通常選挙 投票速報実施要領」により実施しますが、特に下記事項に注意して、この速報が迅速かつ的確に行われますようお願いいたします。

記

1 一般的事項

- (1) オンライン用端末の時計を正確な時刻に合わせておくこと。
- (2) 入力は、必ず入力担当者以外の者との読み合わせにより行うこと。
- (3) 送信者は、メール送信した後、県選管からの「受信確認メール」を確認すること。
- (4) 投票速報連絡責任者は、県選管に予め報告した連絡用電話が受け取られるよう常時待機態勢を整えておくこと。
- (5) 送信は、迅速かつ正確に行い、決して忘れて遅れたりすることのないようにすること。(速報事務に大きな混乱を起こすと同時に、報道機関への公表にも影響するため。)
- (6) 無効投票についても、速報を入れる必要があるため、注意すること。

2 投票速報

期日前投票及び不在者投票を含むものであるため、十分に注意すること。

3 開票速報

(1) 選挙区選挙

ア 開票速報には、各市町村が開票を終了した後に行う「確定報」と開票の中間状況を速報する「中間報」(4市のみ)の2種類があること。

イ 4市の中間報については、21時30分から30分おきに速報を入れること。

(例：21時30分については、21時20分から30分の間に報告)

なお、中間報は「開票率0」の場合でも必ず行うこと。

(2) 比例代表選挙

開票速報は、選挙区選挙と同様であること。

ただし、中間報は行わないものであること。

4 無効投票速報

(1) 無効投票速報は、比例代表の開票速報(確定報)に引き続きファクシミリにより行うこと。

(2) 速報に当たっては、「参议院鳥取県選挙区選出議員選挙無効投票速報発信票」及び「参议院比例代表選出議員選挙無効投票速報発信票」により行うこと。

なお、速報の際は、併せて無効投票率

$$\left[\frac{\text{無効投票速報発信票「合計」}}{\text{開票速報「投票総数」}} \right]$$
 も速報すること。

この場合の無効投票率は、小数点以下第3位を四捨五入し、第2位まで求めること。

5 訂正報

(1) 訂正報告については、訂正後の数値を入力したチェックリストを印刷し、訂正箇所の当該数字の前に○印をつけて「訂正後」と記入し、訂正前の数字が入った旧チェックリストに「訂正前」と明記したものと併せて、県選管にファクシミリ送信すること。

(2) ファクシミリ送信後、直ちに、電話により訂正を行う旨と訂正を行う理由を報告すること。

(3) 県選管からの指示を受けた上で、メールを送信すること。

6 オンライン不通時の速報

(1) 機会の故障などオンラインによる報告ができない場合の報告は、ファクシミリにより実施すること。

(2) 不通時に備えて、あらかじめデータを入力していない空の帳票を印刷して準備しておくこと。

(15) 第23回参议院議員通常選挙における速報投票区の投票状況の速報の取扱いについて(通知)

第201300048137号
平成25年6月14日

鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、八頭町、琴浦町、大山町、日南町選挙管理委員会委員長 あて

鳥取県選挙管理委員会委員長

近く執行予定の参议院議員通常選挙における速報投票区の投票状況に係る速報については、別添の「第23回参议院議員通常選挙推定投票率速報要領」により実施しますので、下記事項に御注意の上、適切に行うようよろしくお願いいたします。

記

以上

- 1 投票日の9時、10時、11時、12時、13時、14時、15時、16時、17時、18時、19時、19時30分及び20時に速報を行うこと。
- 2 速報時刻には、県において定時照会を行うので、速報責任者は、速報時刻の10分前現在で投票者数を確認し、電話口で待機すること。
- 3 報告に際して使用する様式別紙のとおり
(発信者及び受信者がそれぞれ記録用に使用するもので、ファクシミリ送信するものではありません。)

(16) 参議院鳥取県選挙区選出議員選挙立候補予定者説明会交付資料一覧表

品目	数量
1 参議院鳥取県選挙区選出議員選挙候補者届出書 (本人届出)	2
2 参議院鳥取県選挙区選出議員選挙候補者届出書 (推薦届出)	2
3 候補者推薦届出承諾書	2
4 宣誓書	2
5 通称認定申請書	2
6 選挙人名簿登録証明書交付申請書	4
7 選挙人名簿登録証明書	4
8 選挙事務所設置届出書	2
9 選挙事務所異動届出書	5
10 選挙事務所 (設置・異動) 承諾書	5
11 候補者推薦届出者代表者証明書	5
12 出納責任者選任届出書	2
13 出納責任者異動届出書	2
14 出納責任者 (選任・解任) 承諾書	2
15 出納責任者職務代行開始届出書	2
16 出納責任者職務代行終止届出書	2
17 個人演説会開催申出書	50
18 個人演説会開催申出の撤回申出書	10
19 開票立会人となるべき者の届出書	30
20 (開票立会人となるべきことの) 承諾書	30
21 選挙立会人となるべき者の届出書	2
22 (選挙立会人となるべきことの) 承諾書	2
23 政見放送申込書	6
24 候補者経歴書	6
25 選挙公報掲載申請書	2
26 選挙公報掲載文原稿用紙	2
27 選挙運動用自動車の使用の契約届出書	5
28 自動車燃料代確認申請書	5
29 選挙運動用自動車使用証明書 (自動車)	5
30 選挙運動用自動車使用証明書 (燃料)	5
31 選挙運動用自動車使用証明書 (運転手)	5
32 請求書 (選挙運動用自動車の使用)	10
33 請求内訳書 (一般乗用旅客自動車運送事業者との運送契約により自動車を使用した場合)	5
34 請求内訳書 (一般乗用旅客自動車運送事業者以外の者との契約により自動車を使用した場合、自動車借入)	5
35 請求内訳書 (一般乗用旅客自動車運送事業者以外の者との契約により自動車を使用した場合、燃料代)	5
36 請求内訳書 (一般乗用旅客自動車運送事業者以外の者との契約により自動車を使用した場合、運転手)	5
37 ポスター作成契約届出書	5
38 ポスター作成枚数確認申請書	5
39 ポスター作成証明書	5
40 請求書 (ポスターの作成)	5
41 請求内訳書 (ポスターの作成)	5
42 ビラ作成契約届出書	5
43 ビラ作成枚数確認申請書	5
44 ビラ作成証明書	5
45 請求書 (ビラの作成)	5
46 請求内訳書 (ビラの作成)	5
47 選挙用ビラ証紙交付申請書	5
48 選挙用ビラ届出書	5
49 通常葉書作成契約届出書	5
50 通常葉書作成枚数確認申請書	5
51 通常葉書作成証明書	5

52	請求書（通常葉書の作成）	5
53	請求内訳書（通常葉書の作成）	5
54	選挙事務所用立札・看板作成契約届出書	5
55	選挙事務所用立札・看板作成数確認申請書	5
56	選挙事務所用立札・看板作成証明書	5
57	請求書（選挙事務所用立札・看板の作成）	5
58	請求内訳書（選挙事務所用立札・看板の作成）	5
59	自動車等取付用立札・看板作成契約届出書	5
60	自動車等取付用立札・看板作成数確認申請書	5
61	自動車等取付用立札・看板作成証明書	5
62	請求書（自動車等取付用立札・看板の作成）	5
63	請求内訳書（自動車等取付用立札・看板の作成）	5
64	個人演説会場用立札・看板作成契約届出書	5
65	個人演説会場用立札・看板作成数確認申請書	5
66	個人演説会場用立札・看板作成証明書	5
67	請求書（個人演説会場用立札・看板の作成）	5
68	請求内訳書（個人演説会場用立札・看板の作成）	5
69	（報酬を支給する者の）届出書（甲）	10
70	（報酬を支給する者の）届出書（乙）	30
71	選挙運動費用収支報告書 収入（その1）	10
72	選挙運動費用収支報告書 収入（その2）	10
73	選挙運動費用収支報告書 収入（その3）	10
74	選挙運動費用収支報告書 支出（その1）	20
75	選挙運動費用収支報告書 支出（その2）	10
76	収支報告書記載上の注意事項	1
77	領収書等を徴し難い事情があった支出の明細書（その1）	5
78	領収書等を徴し難い事情があった支出の明細書（その2）	5
79	振込明細書に係る支出目的書	20
80	会計帳簿の様式（その1）	1
81	会計帳簿の様式（その2）	1
82	寄附金控除のための確認申請書	1
83	寄附金（税額）控除のための書類	1
84	候補者用通常葉書使用証明書（見本）	1
85	選挙運動用通常葉書差出票（見本）	1
86	新聞広告掲載証明書（見本）	1
87	新聞広告掲載承諾通知書（見本）	1
88	公職の候補者旅客運賃後払証（見本）	1
89	選挙用ビラ証紙交付票（見本）	1
90	第23回参議院議員通常選挙事務処理日程表	1
91	参議院議員通常選挙（鳥取県選挙区）候補者の手引	1
92	出納責任者の手引き	1
93	選挙運動用自動車等で街頭演説等を行う場合の道路交通法上の留意事項について	1
94	インターネット選挙運動解禁に係るチラシ	1
95	インターネット選挙運動解禁（公職選挙法の一部を改正する法律）の概要・チラシ	1
96	公職選挙法の一部を改正する法律新旧対照条文	1
97	改正公職選挙法（インターネット選挙運動解禁）ガイドライン	1
98	プロバイダ責任制限法の概要等	1
99	プロバイダ責任制限法 名誉毀損・プライバシー関係ガイドライン	1
100	プロバイダ責任制限法 名誉毀損・プライバシー関係ガイドライン別冊	1
101	各種契約書の書式例	1
102	候補者届出等記載例	1
103	参議院鳥取県選挙区選出議員選挙における公営の単価等	1
104	点字版「参議院鳥取県選挙区選出議員選挙のお知らせ」製作のために	1
105	個人演説会を開催することができる公営施設の指定一覧表	1

(17) 参議院議員通常選挙政党等関係交付資料一覧

品目	数	量
1	選挙事務所設置届（名簿届出政党等用）	6
2	選挙事務所異動届（名簿届出政党等用）	6
3	選挙事務所設置届（候補者用）	6
4	選挙事務所異動届（候補者用）	6
5	選挙立会人となるべき者の届出書・承諾書（比例代表）	各 2
6	開票立会人となるべき者の届出書・承諾書（比例代表）	各 3 0
7	個人演説会開催届出書	6
8	個人演説会開催届出の撤回届出書	6

3 委員会告示及び選挙長告示

(1) 委員会告示

告示番号	告示事項	根拠法令	鳥取県公報	
第19号	選挙人名簿登録基準日等	法22、令14	7.1付号外第74号	
第20号	ポスター掲示場にポスターを掲示できる日	法144の2		
第21号	選挙長等の選任	法75、令80、81	7.4付号外第77号	
第22号	選挙長等の執務場所	—		
第23号	投票用紙の様式	法45、規則5、選規15		
第24号	投票用封筒等に押すべき印	規則8、10、10の5		
第25号	選挙公報の掲載順序のくじを行う日時及び場所	法169、172、運規58		
第26号	政見放送の日時を定めるくじを行う日時及び場所	放規13、14		
第27号	名簿届出政党等の名称等掲示の掲載順序を定めるくじを行う日時及び場所	法175、運規66		
第28号	選挙会等の開催場所及び日時	法78		
第29号	選挙運動費用制限額	法194、196、令127		7.4付号外第78号
第30号	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1の数	自治法74等		
第31号	政見放送の日時	放規13、14	7.5付号外第81号	
第34号	当選人の住所及び氏名	法101の3	7.23付号外第86号	
第42号	選挙運動費用収支報告書の要旨	法192	10.15付号外第114号	

(2) 選挙長告示

告示番号	選挙長処理事項	根拠法令	鳥取県公報
第1号	選挙立会人のくじを行う場所及び日時	法76	7.4付号外第77号
第2号	候補者の届出	法86の4	7.5付号外第80号

4 選挙事務執行体制等

(1) 第23回参議院議員通常選挙事務分担表

委員長 相見 慎、委員長代理 英 義人、委員 大口 久志、委員 吉田 圭子

係名	事務分担	29名(前回H22:36名)	
		主査	副査
総括	○選挙事務の総括に関する事	新事務局長 福田(隆)次長 兼庶務係長	岸本次長
	○選挙事務の連絡調整に関する事 ○報道機関等への情報提供に関する事	岸本次長 北川係長	福田(隆)次長 兼 庶務係長 岸本次長
管理係	○諸規程の整備に関する事 ○選挙管理委員会の議案に関する事 ○選挙管理委員会、選挙(分会)長の告示に関する事 ○市町村選挙管理委員会及び指定病院等の一般指導に関する事 ○取締機関及び報道機関との連絡に関する事(管理執行関係) ○選挙事務の一般管理に関する事 ○供託金の管理に関する事 ○他の係に属しない事項に関する事	北川係長 福田(裕)係長 宮本主事	岸本次長
市町村候補者公営係	○選挙公報に関する事 ○政見放送に関する事 ○投票用紙の作製に関する事 ○不在者投票等事務諸用紙の作製に関する事 ○立候補届出諸用紙の作製に関する事 ○候補者公営に関する諸用紙の作製に関する事 ○政治団体関係諸用紙及び「七つ道具」の作製に関する事 ○氏名等掲示に関する事 ○投・開票事務諸用紙の作製に関する事 ○点字氏名票、点字版・音声版「選挙のお知らせ」に関する事	山根補佐 吉川補佐 福井係長 村岡主事 新崎主事 新崎主事 吉川補佐 川福主事 村岡主事 川福主事	福井書記 北川係長 山根補佐 山根補佐 川福主事 福井係長 福井係長 吉川補佐 川福主事 新崎主事
	○各種印刷立会、総務省原稿受領	谷口係長(とり替) 岩本主事(とり替) 木本補佐(交通) 岩田係長(交通) 酒井補佐(教学)	—

啓発係	○臨時啓発に関する計画の立案・実施に関すること ○啓発物資の作製に関すること ○明るい選挙推進大会に関すること ○市町村の啓発事業に関すること	西尾主事(教学) 川上補佐 藤田書記 前田係長 前田係長	前田係長 前田係長 片山係長 藤田書記
速報係	○報道機関との連絡に関すること(投開票速報関係) ○投・開票速報に用いる物資の作製に関すること ○投・開票速報オンラインシステム(運用関係)に関すること ○投・開票速報オンラインシステム(ハード関係)に関すること	田中(智)書記 田中(智)書記 田中(智)書記 成相係長(情報)	岸本次長 成相係長(情報) 北川係長 田中(康)主事(情報)
庶務経理係	○庶務経理の総括に関すること ○候補者公営費の支払に関すること ○選挙の執行経費に関すること ○不在者投票特別経費交付金に関すること ○物品・契約経由の物資作製の総括に関すること ○選挙(分会)長、立会人等への旅費、報酬の支払に関すること ○物資輸送に関すること ○その他の支払い事務に関すること	福田(隆)次長兼庶務係長 片山係長 石本主事 浦上書記 岡村書記 浦上書記 岡村書記 浦上書記	澤書記 石本主事 片山係長 岡村書記 澤書記 岡村書記 川上補佐 澤書記

(2) 投開票速報実施要領等

ア 参議院議員通常選挙 投・開票速報実施要領

平成25年7月21日執行予定の参議院鳥取県選挙区選出議員選挙(以下「選挙区選挙」という。)及び参議院比例代表選出議員選挙(以下「比例代表選挙」という。)の投票速報及び開票速報は、次により実施します。

1 通常時の速報報告(オンライン)

- ・各市町村からの当日有権者速報、投票速報、開票速報は、原則としてオンラインにより行います。
- ・オンラインの操作方法については、「投・開票オンラインシステム操作説明書(市町村選管用)」を参照ください。

(1) 投票結果(選挙区選挙、比例代表選挙)

報告者	報告時刻	報告の方法
速報責任者	投票当日 各投票所からの報告の集計が終わり次第	県委員会にオンラインにより報告 (選挙区選挙、比例代表選挙の順) 報告メール名 選挙区選挙:「選挙区投票結果・〇〇(市町村名)」 比例代表選挙:「比例代表投票結果・〇〇(市町村名)」

注) データの入力が完了したときは、送信前にチェックリストを印刷し、2人1組で入力データの確認を行ってください。(選挙区選挙、比例代表選挙を混同しないように注意ください。)

報告数には、期日前投票、不在者投票を含めた数字を報告してください。

予定時刻までに投票結果の報告のない市町村に対しては、県委員会事務局長の指示により、督促する場合があります。

選挙当日有権者数には、期日前投票を行った者のうち、選挙期日までに選挙権を有しなくなった者を含みます。

(2) 開票速報(選挙区選挙、比例代表選挙)

報告者	報告時刻	報告の方法
速報責任者	投票当日 《開票速報》 各市町村の投票の点検、集計が終わり次第 《選挙区選挙中間報》 4市:21時30分から30分おき報告 (例:21時30分については、21時20分から30分までの間に報告)	県委員会にオンラインにより報告 (選挙区選挙、比例代表選挙の順) 報告メール名 選挙区開票結果:「選挙区開票結果・〇〇(市町村名)」 選挙区市部中間報:「選挙区開票状況*・〇〇市」(*番号は、報告回数) 比例代表開票速報:「比例代表開票結果・〇〇(市町村名)」

注) 開票速報のデータ入力が完了したときは、送信前に必ずチェックリストを印刷し、2人1組で入力データの確認を行ってください。(選挙区選挙、比例代表選挙を混同しないように注意ください。)

市町村における投票状況及び開票状況の公表は、県委員会に報告後、各市町村選挙管理委員会において柔軟に対応してください。

(3) 訂正報(選挙区選挙、比例代表選挙)

報告したデータに間違いを発見した場合は、直ちに訂正報を下記によりお願いします。

- ① 訂正後の数値を入力して、出力したチェックリストに訂正箇所の該当数字の前に〇印をつけて「訂正後」と記入し、訂正前のチェックリストに「訂正前」と明記したものと併せて、県選管にファクシミリ送信する。

- し、訂正前のチェックリストに「訂正前」と明記したものと併せて、県選管にファクシミリ送信する。
- ②①の直後に、電話により訂正報を行う旨を連絡し、訂正箇所と訂正理由を報告する。
- ③必ず県委員会からの指示を受けた上で、訂正後のデータをメール送信する。
(電話番号：0857-26-7591, 7058) ファクシミリ番号：0857-26-8129)

(4) 無効投票速報 (選挙区選挙、比例代表選挙)

報告者	報告時刻	報告の方法
速報責任者	投票当日 開票速報に引き続き	無効投票の内訳を県委員会にファクシミリにより報告

注) 県委員会は、無効投票速報の内容が確認された時点で待機解除の指示を出しますので、開票速報責任者は、県委員会からの解除指示があるまでは待機し、解除したあとも国からの解除連絡があるまでは、いつでも緊急連絡が取れるようにしてください。

報告に当たっては、「選挙区選挙無効投票速報発信票」及び「比例代表選挙無効投票速報発信票」により行なってください。なお、速報の際は併せて無効投票率

〔無効投票速報発信票「合計」
開票速報「投票総数」〕も速報してください。

この場合の無効投票率は、小数点以下第3位を四捨五入し、第2位まで求めてください。

(5) 推定投票率速報 (選挙区選挙)

- ・推定投票率速報は、下記の投票区において、オンラインによらず、県委員会からの電話聞き取りにより実施します。
- ・実施方法については、「第23回参議院議員通常選挙推定投票率速報要領」により行ってください。

市町村名	投票区名	施設名	所在地
鳥取市	第4投票区	鳥取市立西中学校体育館	鳥取市寿町 907
米子市	第8投票区	米子市児童文化センター	米子市西町 133
倉吉市	第5投票区	倉吉市立西郷小学校体育館	倉吉市下余戸 114
境港市	第1投票区	境港市渡公民館	境港市渡町 1356-1
岩美町	浦富第2投票区	県漁業協同組合浦富支所	岩美郡岩美町大字浦富 2359-15
八頭町	第21投票区	八東体育文化センター	八頭郡八頭町富枝 10-1
琴浦町	第11投票区	赤碕地区公民館	東伯郡琴浦町大字赤碕 1547-5
大山町	中山第3投票区	大山町役場中山支所	西伯郡大山町赤坂 66
日南町	第3投票区	生山自治会館	日野郡日南町生山 739-3

2 非常時の速報報告 (ファクシミリ)

機械の故障などオンラインによる報告ができない場合は、次により報告してください。

- (1) 各市町村委員会はあらかじめデータを入力していない空の帳票 (チェックリスト) をオンライン不通時の報告様式として印刷して準備してください。
- (2) ファイルの作成は出来るが、オンライン送信不能の場合には、帳票を印刷してファクシミリにより報告してください。送信する用紙は、A4サイズとします。
- (3) ファイルの作成自体が出来ない場合には、予め印刷しておいた帳票に記入し、ファクシミリにより送信してください。
- (4) ファクシミリ送信した後に、電話により送信不能の旨を報告してください。
この際に使用する電話は、訂正報のものと同じとします。
電話報告の際に、受信した帳票の内容について、市町村委員会と県委員会とで確認を行います。
(電話番号：0857-26-7591, 7058) ファクシミリ番号：0857-26-8129)

3 問い合わせ先等

- (1) オンラインシステムに関する質疑
0857-26-7591/7058
- (2) その他管理執行に関する質疑
(0857)26-7057/7061
- (3) 報告用のファクシミリ番号
(0857)26-8129

イ 参議院議員通常選挙推定投票率速報要領

1 速報期日 平成25年7月21日

2 速報を行う投票区 (速報投票区)

次の速報投票区において、速報現時の投票者数の報告を行ってください。

市町村	投票区名	投票所施設名	電話番号	受信電話番号
鳥取市	第4投票区	鳥取市立西中学校体育館	080-2910-4460	0857-26-7059
米子市	第8投票区	米子市児童文化センター	090-8243-9814	
倉吉市	第5投票区	倉吉市立西郷小学校体育館	090-7373-8312	
境港市	第1投票区	境港市渡公民館	0859-45-0903	0857-26-7167
岩美町	浦富第2投票区	県漁業協同組合浦富支所	090-2000-5054	
八頭町	第21投票区	八東体育文化センター	090-8609-6222	
琴浦町	第11投票区	赤碕地区公民館	090-4103-3928	0857-26-7168
大山町	中山第3投票区	大山町役場中山支所	0858-58-6111	

3 速報責任者

各市町の選挙管理委員会は、速報投票区に速報責任者を配置し、速報を行ってください。

4 速報要領

(1) 速報時刻の時間及び方法

速報時刻	方法	県選管 留意事項
9時、10時、11時、12時、 13時、14時、15時、16時、 17時、18時、19時、 19時30分、20時現在の推定 投票率	<p><県から定時通話で聞き取り></p> <p>1) 速報責任者は速報時刻の10分前時点での投票者数(累計)を男・女・計別に記録後、電話口で待機</p> <p>2) 速報責任者は、「〇市(町)第〇投票区〇時現在投票速報」と呼称し、「投票者数、男〇名、女〇名、計〇名」と報告</p>	<p>1) 速報投票区から速報の報告を受けたときは、その内容を復唱して確認</p> <p>2) 受信者(聞取者)、発信者(報告者)が相互に氏名を確認</p> <p>3) 9時現在で聞き取りをする際に当日有権者数及び当該速報投票区の期日前投票者数を確認</p>

※琴浦町及び日南町は19時が最終

(2) 使用する電話

速報の聞き取りに使用する電話は、2の表のとおりです。

(3) 期日前投票及び不在者投票の扱い

○期日前投票者数については、9時の報告時点から当該速報投票区の数を加えて報告してください。
(以降の報告時も同様)

○在外投票者数及び不在者投票者数については、この報告から除外されるものですので、注意してください。

5 推定投票率の算定(県委員会)

(1) 速報投票区の当日有権者数で、速報時刻(4(1))現在の男・女・計の投票者数を除して、各速報投票区の投票率を算出し、公表責任者に報告するものとします。

(2) 投票率は、百分率(%)により、小数点以下第3位を四捨五入して小数点以下第2位まで算出するものとします。

(3) 県全体の推定投票率は、次の算式により算出するものとします。

$$\left[\begin{array}{c} \text{県の男の当} \\ \text{日有権者数} \end{array} \right] \times \left[\begin{array}{c} \text{全速報投票区の} \\ \text{男の推定投票率} \end{array} \right] + \left[\begin{array}{c} \text{県の女の当} \\ \text{日有権者数} \end{array} \right] \times \left[\begin{array}{c} \text{全速報投票区の} \\ \text{女の推定投票率} \end{array} \right]$$

(県の当日有権者数)

ウ 参議院議員通常選挙の投票・開票状況公表要領

参議院鳥取県選挙区選出議員選挙(以下「選挙区選挙」という。)及び参議院比例代表選出議員選挙(以下「比例代表選挙」という。)の投票・開票状況の公表は、次により行います。

1 投票状況の公表

(1) 推定投票率

ア 推定投票率は、選挙区選挙についてのみ、次の投票区の投票状況により推定します。

市町村名	投票区名	施設名	所在地
鳥取市	第4投票区	鳥取市立西中学校体育館	鳥取市寿町907
米子市	第8投票区	米子市児童文化センター	米子市西町133
倉吉市	第5投票区	倉吉市立西郷小学校体育館	倉吉市下余戸114
境港市	第1投票区	境港市渡公民館	境港市渡町1356-1
岩美町	浦富第2投票区	県漁業協同組合浦富支所	岩美郡岩美町大字浦富2359-15
八頭町	第21投票区	八東体育文化センター	八頭郡八頭町富枝10-1
琴浦町	第11投票区	赤碕地区公民館	東伯郡琴浦町大字赤碕1547-5
大山町	中山第3投票区	大山町役場中山支所	西伯郡大山町赤坂66
日南町	第3投票区	生山自治会館	日野郡日南町生山739-3

※琴浦町及び日南町は19:00が最終

イ 公表の時間、及び方法

時間	方法
9時、10時、11時、12時、13時、 14時、15時、16時、17時、18時、 19時、19時30分、20時現在の 推定投票率(計13回)	<p>1) 一覧表を県政記者室に提供(17部)</p> <p>2) F-net(県政記者室)等によりファクシミリ送信</p> <p>3) 2)に併せ、鳥取県選挙管理委員会ホームページ(以下「HP」という。)に掲載(更新)</p>

[市町→県: (n-1)時50分からn時までの間に聞き取り]

[県: n時現在をn時10分までに公表]

(2) 確定投票率

区分	時間	方法
選挙区選挙	20時30分 から30分おき 及び最終確定時	<p>1) 県計集計票をメール送信(CSV形式、エクセル形式)</p> <p>2) 1)に併せ県計集計票を県政記者室に提供(17部)</p> <p>3) 2)に併せ、HPに掲載(更新)</p>
	最終確定時	選挙区選挙と同じ

[市町村: 確定後随時県へ報告]
[県: n時30分(0分)現在をn時40分(10分)までに公表]

比例代表選挙	(中央選管報告後)
[市町村：確定後随時県へ報告]	

2 開票状況の公表

(1) 選挙区選挙

区分	時間	方法
町村別開票速報 (①) (確定報)	着信の都度	1) 町村別個票を着信の都度メール送信 (CSV形式)
市部開票速報 (②)		
中間報	21時30分 から30分おき	1) 市部個票をその都度メール送信 (CSV形式)
確定報	着信の都度	1) 市部個票を着信の都度メール送信 (CSV形式)
時間別開票速報 (①) (②)を累計)	21時30分 から30分おき 及び最終確定時	1) 県計集計票をメール送信 (CSV形式、エクセル形式) 2) 1)に併せ、県計集計票を県政記者室に提供 (17部) 3) 2)に併せ、HPに掲載 (更新)
法定得票数及び 供託金の没収点	開票結果最終確 定時	時間別開票速報に同じ

※「21時30分から30分おき」の取扱い

[市→県：21時20分から21時30分までの間に県に報告。以降30分間隔。]

[県：21時30分現在を21時40分までに公表。以降30分間隔。]

(2) 比例代表選挙

区分	時間	方法
市町村別開票速報 (確定報)	着信の都度	1) 市町村別個票を着信の都度メール送信 (CSV形式)
時間別開票速報 (県計集計表)	23時00分 から1時間おき 及び最終確定時 (中央選管報告後)	1) 県計集計票をメール送信 (CSV形式、エクセル形式) 2) 1)に併せ、県計集計票を県政記者室に提供 (19部) 3) 2)に併せ、HPに掲載 (更新)

3 その他

市町村における投票状況及び開票状況の公表は、県選挙管理委員会に報告後は各市町村選挙管理委員会において柔軟に対応するものとする。

(3) 第23回参議院議員通常選挙投・開票当日事務分担並びに事務処理要領

委員長	相見 慎
委員長職務代理者	英 義人
委員	大口久志
委員	吉田圭子

1 組織及び分担

係名	分担事務	担当者
総指揮	投票及び開票速報に関する事務処理を指揮する。	新事務局長
総務係 (1)	庶務・給与・物品調達を担当し、他の係に属しない事務を処理する。	福田次長
発表係 (4)	投票及び開票速報の公表に関する事務を処理する。	川上、前田、福田、浦上、藤田
指導係 (3)	市町村の投票及び開票の事務処理に関し、適宜指示を与え、又は投票の効力等に関する質疑に回答する等市町村の指導に関する事務を処理する。	岸本次長、北川係長、宮本
推定投票率係 (11) (兼6)	速報投票区(9投票所)から投票速報を受信(計13回)し、県下の投票率を推定する事務を処理する。 推定投票率のホームページへの掲示を行う。	(集計、報告)北川係長、福田、宮本 (受信)木本、岩田、酒井 (県端末)片山、石本 (HP担当)成相、田中(兼) (全体補助)田中(兼)
電算係 (10)	オンラインシステムの総括を行うとともに、投票速報及び開票速報の集計及び中央選管への報告を行う。	県端末班 福井、片山(←集計係)
	投票速報及び開票速報の受信確認、データ保存、公表用帳票印刷に関する電算処理を行う。 また、市町村がオンライン報告ができない場合の代行入力処理を行う。	代行端末班(←受信係) 1班(端末1) 山根、新崎 2班(端末2) 吉川、村岡 3班(端末3) 岡村、川福
	投票速報及び開票速報の集計された情報をホームページに掲載す	HP担当(←発表係)

	投票速報及び開票速報の集計された情報をホームページに掲載する。	HP担当 (←発表係) 成相、田中(康)
メール送信係 (2)	投・開票速報のメールによる公表の事務を処理する。	(←発表係) 成相、田中(康)
調整係 (3)	全体の進捗状況を管理し、電算係への確定指示等を行うとともに、無効投票速報(ファクシミリ)の受信状況を確認し、市町村との連絡調整を行う。	福田次長、石本、澤、 田中(智)

2 各係の事務処理要領(総務係、指導係を除く)

A 推定投票率係

推定投票率は、参議院選挙区選挙について、速報投票区の投票状況により推定する。

(1) 投票状況の聞き取りを行う投票区等

市町村	投票区	投票所施設	速報責任者	電話番号	発信電話番号	担当者
鳥取市	第4投票区	鳥取市立西中学校体育館	上田章晴	080-2910-4460	(0857) 26-7059	木本
米子市	第8投票区	米子市児童文化センター	米田克宏	090-8243-9814		
倉吉市	第5投票区	倉吉市立西郷小学校体育館	鳥飼真輔	090-7373-8312		
境港市	第1投票区	境港市渡公民館	松本貴志	0859-45-0903	(0857) 26-7167	岩田
岩美町	浦富第2投票区	県漁業協同組合浦富支所	浜野晃	090-2000-5054		
八頭町	第21投票区	八東体育文化センター	安住真彦	090-8609-6222		
琴浦町	第11投票区	赤碕地区公民館	浜川 明	090-4103-3928	(0857) 26-7168	酒井
大山町	中山第3投票区	大山町役場中山支所	杉本美鈴	0858-58-6111		
日南町	第3投票区	生山自治会館	弓場弘之	0859-82-1444		

(2) 導通確認

7月21日午前8時30分に予告通知を行う(県から発信を行う。)

(3) 聞き取り時刻

7月21日の次の時刻である。

(速報投票区は、それぞれの時刻の10分前の数字を報告することになっている。)

9時、10時、11時、12時、13時、14時、15時、
16時、17時、18時、19時、19時30分、20時
(計13回)

(4) 受信票の記入

① 速報投票区からの投票速報を受信したときは、「投票速報受信票」の「投票者(4)~(6)」に記入する。

② 9時の報告を受信するときは、「当日有権者(1)~(3)」についても記入する。

(5) 期日前投票者数及び不在者投票の確認等

9時の報告を受信する場合は、

① 期日前投票者数が含まれていること

② 在外投票者数及び不在者投票者数は、除外していること

を確認する。

(6) 電話の発信

速報に当たっての電話の発信は、県から行うものであること。

(7) 推定投票率の公表

推定投票率の公表時刻は、9時、10時、11時、12時、13時、14時、15時、16時、17時、18時、19時、19時30分、20時である。

公表は、県政記者室への資料提供及び県政記者室Fネットによりファクシミリ送信することで行う。

(資料提供はB4版で行う(17部用意)。Fネット送信用に原稿(A4)も持参する。)

(8) 中間投票状況の報告

聞き取りにより集計した推定投票率を、県端末により中央選管に報告する。

報告に当たっては、データ入力後、帳票を打ち出し、読み合わせ確認を必ず行うこと。

回示	時刻	入力期限	送信期限
第1回	10時現在	10時50分	11時00分
第2回	11時現在	11時50分	12時00分
第3回	14時現在	14時50分	15時00分
第4回	16時現在	16時50分	17時00分
第5回	18時現在	18時50分	19時00分
第6回	19時30分現在	20時20分	20時30分

(9) ホームページへの掲示(ホームページ担当)

集計の際に作成したデータを使用して、ホームページ用データを作成し、定時(13回)に更新する。

B 電算係

(1) 投票速報

投票速報は、選挙区選挙、比例代表選挙の順に行うこと。

(2) 開票速報(選挙区選挙)

選挙区選挙の開票速報には、各市町村が開票を終了した後に行う確定報と、4市について開票の中間の状況を

報告する中間報（4市について、21時30分から30分おきの定時までには報告されるものであり、開票率ゼロでも報告してもらうこと）の2種類があること。

(3) 開票速報（比例代表）

比例代表の開票速報は、各市町村が開票を終了した後に行う確定報のみである。

(4) 作業内容

【代行端末班】

① 通常処理

(ア) 【受信確認】

市町村からの報告メールの受信は次の区分で、代行端末1及び代行端末2が受信する。
第1班及び第2班は、市町村からのメールを受信したら、「△△市（町村）、選挙区（比例）、投票（開票）結果を受信しました。」と発声し、県端末班に受信データの確認を依頼する。
県端末班のデータ確認済の発声を待って、次の受信確認の発声を行うこと。

区 分	受信する市町村
第1班 代行端末1	鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町（8団体）
第2班 代行端末2	三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町（11団体）

(イ) 【FD データ保存】

受信確認したメールに添付されているファイルは、自動的にサーバ（G:\Inputcsv）に保存される。市部の開票状況、市町村の開票結果の場合は、主査が該当するファイルをフロッピーディスクに保存することとし、「△△市（町村）、選挙区（比例）、開票結果、保存しました。」と発声し、副査が処理確認票を記入する。そして、保存フロッピーと処理確認票をメール送信係に回付する。
（「市町村個票 CSV 処理確認票」は副査がメール送信係から適宜回収する。）

(ウ) 【データの保存及び帳票印刷作業の振り分け】

班 別	担当	市 町 村（開票区）名
第1班 代行端末1	山根、新崎	受信担当市町村の CSV ファイルの保存 県集計 CSV ファイルの保存
第2班 代行端末2	吉川、村岡	信担当市町村の CSV ファイルの保存 県集計票の帳票印刷
第3班 代行端末3	岡村、川福	集計エクセルファイルの保存

(エ) 【作業順】

原則として到着時期の早い順から順に処理を行うものとするが、既に投票結果を受信している市町村の開票結果については、他市町村の投票結果に優先して保存作業を行うこと。また、訂正報ならびに4市中間報については、特に優先処理する必要がある。

② 訂正報の取り扱い

- (ア) 第1班及び第2班は、訂正報がある旨の調整係の発声を聞いたときは、その後該当市町村から送信されるメールに留意し、訂正報を受信したときは、「△△市（町村）、選挙区（比例）、投票（開票）結果、訂正報、受信しました。」と発声する。
- (イ) 県端末班から訂正報連絡票の回付を受けたときは、開票結果の訂正の場合、ファイルをフロッピーに保存する。

③ オンライン不通時

- (ア) 市町村でデータ入力や通信ができないとき、県の代行端末で市町村のかわりにデータを入力する。
- (イ) 代行入力用端末は、第3班（代行端末3）による。ただし、各代行端末のデータ受信状況を勘案して、調整係が指示する。
- (ウ) 代行入力を行う第3班は、調整係の発声を受けて、操作説明書に従い該当市町村の代行入力環境を作成し、完了後、「△△市（町村）、代行入力準備完了しました。」と発声する。そして、調整係から回付されたファクシミリにより入力する。この場合、1名が読み上げ、1名が入力することとし、入力後に印刷して、2名で確認する。
保存は入力確認ができてから行う。
保存作業は、「C:\Senkyo\SenkyoData¥（代行入力する市町村名）」の下の各データ種類フォルダ内にある最新の履歴番号ファイルを県サーバの「G:\Inputcsv」に複写することによって行う。
作業終了後、「△△市（町村）、選挙区（比例）、投票（開票）結果、代行入力しました。」と発声し、県端末班にデータ内容確認を指示する。

④ 定時公表及び最終確定時の公表用帳票等の作成

- (ア) 調整係の指示に従い、投票及び開票結果の時間別公表時刻（比例代表の開票結果については、10分前）に作業を一旦中断し、県計ファイルの保存及び帳票の印刷を行う。
（なお、市町村個票保存作業中に集計指示が出た場合には「市町村データ保存作業中です」と発声し、市町村個票保存作業を優先する。）
原則として、代行端末1でCSVファイルのフロッピーへの保存、代行端末2で県集計票の帳票印刷、代行端末3でエクセルファイルのフロッピーへの保存を行うこと。
フロッピー保存や印刷作業を行った際には、「□□時□□分現在（最終確定〇〇時〇〇分）、選挙区（比例）、投票（開票）結果、CSVファイル（エクセルファイル）、保存しました。（投票（開票）結果、印刷します。」と発声する。保存したフロッピー及びチェック記入した処理確認票は、メール送信係に回付

すること。

なお、エクセルファイル作成には、発表時間を手入力する必要があるので注意する。

(イ) 印刷又はファイル作成を行う帳票は、次のとおりとする。

I 印刷帳票（公表時間に合わせて印刷するもの）

- ・選挙区投票結果（国内＋在外）（選挙区・様式1-1、1-2、1-3）
- ・比例代表投票結果（国内＋在外）（比例・様式1-1、1-2、1-3）
- ・選挙区開票状況（候補者別開票区別得票数一覧）（選挙区・様式2）
- ・比例代表開票状況（総括表、得票総数の開票区別政党等別一覧、名簿登載者の得票総数の政党等別一覧）（比例・様式2、3、4）
- ・比例代表開票結果（名簿登載者の得票総数の開票区別一覧、開票区別投票総数）（比例・様式5、6）

II 作成ファイル

(i) 速報受信時に随時作成するもの

- ・選挙区開票状況（市別）CSV
- ・選挙区開票結果（市町村別）CSV
- ・比例代表開票結果（市町村別）CSV

(ii) 公表時間に合わせて作成するもの

CSV ファイル	①選挙区投票結果（県計）CSV ②選挙区開票状況（県計）CSV ③選挙区開票結果（県計）CSV （*全市町村が確定した場合のみ作成） ④比例代表投票結果（県計）CSV （*全市町村が確定した場合のみ作成） ⑤比例代表開票結果（県計）CSV
エクセル ファイル	①選挙区投票結果〔(国内＋在外)、(国内)、(在外)、(選挙区・様式1-1、1-2、1-3)〕 ②比例代表投票結果〔(国内＋在外)、(国内)、(在外)、(比例・様式1-1、1-2、1-3)〕 ③選挙区開票状況（候補者別開票区別得票数一覧）（選挙区・様式2） ④選挙区開票結果（開票区別投票総数）（選挙区・様式3） （*全市町村が確定した場合のみ作成） ⑤比例代表開票状況（総括表、得票総数の開票区別政党等別一覧、名簿登載者の得票総数の政党等別一覧）（比例・様式2、3、4） ⑥比例代表開票結果（名簿登載者の得票総数の開票区別一覧、開票区別投票総数）（比例・様式5、6） （*全市町村が確定した場合のみ作成）

【県端末班】

① 通常処理

(ア) 代行端末第1班及び第2班の発声によりメールの受信確認が判明したら、県サーバ画面上で、当日有権者数の確認や用意した過去のデータ（H22投票者数）との比較を行い、受信したデータに異常がないか確認する。異常がなければ、「△△市（町村）、選挙区（比例）、投票（開票）結果、確認しました。」と発声する。

(イ) データの異常が発生した場合は、「△△市（町村）、選挙区（比例）、投票（開票）結果、データ異常です。」と発声し、市町村連絡票を調整係に回付し、調整係が市町村委員会に連絡して内容を確認する。（この場合、代行端末班のデータ保存作業等は中断しない）

② 訂正報

(ア) 訂正報が入ったときは、調整係が「△△市（町村）、選挙区（比例）、投票（開票）結果、訂正報入ります。作業中断してください。」と発声するので、調整係から回付された、当該市町村の訂正前ファクシミリ受信票とサーバ上の当該市町村のデータを確認した上で、「△△市（町村）、選挙区（比例）投票（開票）結果、送信前データとファクシミリが一致しています。」と発声する。

(イ) 調整係は、当該市町村にメール送信を指示する。

(ウ) 当該市町村からメールを受信したら、代行端末班は「△△市（町村）、選挙区（比例）、投票（開票）結果、訂正報受信しました。」と発声する。

(エ) 調整係から訂正報連絡票が回付されてくるので、県サーバ画面上で、調整係から回付された訂正後のファクシミリ受信票と読み合わせ確認した上で、「△△市（町村）、選挙（比例）、投票（開票）結果、訂正確認しました。」と発声して、訂正報連絡票を代行端末班に回付する。内容が一致していなければ、調整係に連絡し、市町村委員会への確認を求めること。

③ 集計作業

中央選管への報告

(ア) 中央選管への定時報告は、次のとおり。

- 投票速報 選挙区選挙・・・確定次第報告する。
比例代表選挙・・・確定次第報告する。
- 開票速報 選挙区選挙・・・確定次第報告する。

比例代表選挙・・・23時から1時間おきである。

(定時の5分前には送信する)

報告は、報告用のファイルを県端末で作成し、送信することにより行う。

(イ) 作成するファイルは、次のとおり。

- ・選挙区投票結果（(国内+在外)、(国内)、(在外)）(選挙区・様式1-1、1-2、1-3)
- ・比例代表投票結果（(国内+在外)、(国内)、(在外)）(比例・様式1-1、1-2、1-3)
- ・選挙区開票結果（候補者別開票区別得票数一覧）(選挙区・様式2)
- ・選挙区開票結果（開票区別投票総数）(選挙区・様式3)
- ・比例代表開票状況（総括表、得票総数の開票区別政党等別一覧、名簿登載者の得票総数の政党等別一覧）(比例・様式2、3、4)
- ・比例代表開票結果（名簿登載者の得票総数の開票区別一覧、開票区別投票総数）(比例・様式5、6)

(ウ) 中央選管への定時報告の発声・処理

調整係の指示により、県サーバで集計し、「□□時□□分現在（最終確定〇〇時〇〇分）、選挙区（比例）、投票（開票）結果、集計しました。」と発声し、県サーバで集計作業を行った後、県端末で国に報告するためのファイルを作成する。（「データ取込」ボタンで自動集計可）そして、チェックリストを印刷し、内容を確認をした上で、中央選管に送信する。送信完了後、「□□時□□分現在（最終確定〇〇時〇〇分）、選挙区（比例）、投票（開票）結果、中央選管に送信しました。」と発声する。送信済みのチェックリストを打ち出し、送信時刻を朱書きして県端末班の籠に保管する。

定時公表（報道機関への報告）

(ア) 定時公表の時間は次のとおりである。

I 投票速報

- ・選挙区選挙 …… 20時30分から30分おきに公表する。
- ・比例代表選挙 …… 投票結果がまとまり次第、公表する。

II 開票速報

- ・選挙区選挙 …… 21時30分から30分おきに公表する。
- ・比例代表選挙 …… 23時から1時間おきに公表する。（10分前作業）

(イ) 定時公表の発声・処理

県端末班は、定時処理する場合は、県サーバで集計し、「□□時□□分現在選挙区（比例）、投票（開票）状況（結果）、集計しました。」と発声し、処理確認票に時刻及び回示を記入して代行端末班に回付する。

C メール送信係

(1) 【市町村個票の公表】

市町村個票のCSVファイルをメール送信によって、報道各社への発表を行うものであること。

- ① 代行端末班から市町村個票のフロッピーディスクの回付を受けたときは、事前に登録された各報道機関のアドレス宛にメール送信すること。（送信用メールはあらかじめドラフト保存により準備しておく。）
- ② 発表するデータは、代行端末班から回付される次のデータとする。

CSVファイル	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙区開票状況（市別）CSV ・選挙区開票結果（市町村別）CSV ・比例代表開票結果（市町村別）CSV
---------	--

- ③ 一度使用したフロッピーディスクは、印を付けて廃棄すること。（使用済みフロッピーは、使用しないこと）
- ④ 電算係からフロッピーディスクにデータ保存済みの処理票を受けたときは、メール送信係がメールにより報道へ送信する。このとき、件名は、「選挙区（比例代表）投票（開票）結果（状況）、市町村名（括弧書きで）（確定）（【訂正】（○））」（○は回数）とし、本文には「CSV」とのみ書き込む。訂正の場合は、訂正箇所、訂正前数字、訂正後の数字、訂正理由も書き込んで、送信することとする。
- ⑤ 発声・処理

「△△市（町村）、選挙区（比例）、投票（開票）結果、送信します。」と発声し、10秒間待機その後送信し、「△△市（町村）、選挙区（比例）、投票（開票）結果、送信しました。」と発声の上、処理確認票にチェック記入してフロッピーディスクと共に、メール送信係の籠に保管する。

(2) 【県集計票の公表】

- ① 定時公表及び最終確定時の発表は、代行端末班から回付された次の県集計票を報道にメールにより送信して行う。

CSVファイル	<ol style="list-style-type: none"> ①選挙区投票結果（県計）CSV ②選挙区開票状況（県計）CSV ③選挙区開票結果（県計）CSV（*全市町村が確定した場合のみ作成） ④比例代表投票結果（県計）CSV（*全市町村が確定した場合のみ作成） ⑤比例代表開票結果（県計）CSV
---------	---

エクセルファイル	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙区投票結果（(国内+在外)、(国内)、(在外)）(選挙区・様式1-1、1-2、1-3) ・比例代表投票結果（(国内+在外)、(国内)、(在外)）(比例・様式1-1、1-2、1-3) ・選挙区開票状況（候補者別開票区別得票数一覧）(選挙区・様式2) ・選挙区開票結果（開票区別投票総数）(選挙区・様式3)（*全市町村が確定した場合のみ作成）
----------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・比例代表開票状況（総括表、得票総数の開票区別政党等別一覧、名簿登載者の得票総数の政党等別一覧）（比例・様式2、3、4） ・比例代表開票結果（名簿登載者の得票総数の開票区別一覧、開票区別投票総数）（比例・様式5、6）（*全市町村が確定した場合のみ作成）
--	---

- ② 送信の際、件名は、CSVの場合、「選挙区（比例代表）投票（開票）結果〇時〇分現在県計（中間）（〇時〇分県計（確定））CSV」とし、エクセルの場合、最後に「（〇時〇分現在県計（中間）（〇時〇分県計（確定））EXCEL」と追記すること。

本文には、ファイルの種類（「CSV」又は「エクセル」）のみを書き込む。

- ③ 発声・処理

「〇〇時〇〇分現在（最終確定〇〇時〇〇分）、選挙区（比例）、投票（開票）結果（状況）、CSVファイル（エクセルファイル）送信します。」と発声し、10秒間待機その後送信し、「送信しました。」と発声の上、処理確認票にチェック記入して、フロッピーディスクと共に、HP担当に回付する。

- ④ 全市町村が確定した後に、訂正報があった場合の送信メールは、「選挙区（比例代表）投票（開票）結果（県計）（確定）【訂正】〇」（〇は、県集計票の訂正回数）とし、調整係から回付されたファクシミリ送信票で訂正内容を確認した上で、本文に、ファイル種類（CSV又はエクセル）、訂正箇所、訂正前数字、訂正後の数字、訂正理由を書き込んで、送信することとする。市町村の開票結果の個票修正の場合も同様に行う。

（例）◇◇党得票数 205→105、〇〇党得票数 105→205 理由：入力ミス

- ⑤ 訂正報のメール送信についても、②に基づいて発声・処理を行うこと。

D ホームページ担当

メール送信係からエクセルファイルのフロッピーディスクの回付を受けたとき、ノートに接続した端末でホームページ用データを作成し、更新する。

E 発表係

(1) 【通常処理】

- ① 発表は、県政記者室で行うものであること。

- ② 発表するデータは次のデータとする。

- ・選挙区投票結果（国内+在外）【選挙区・様式1-1、1-2、1-3】
- ・比例代表投票結果（国内+在外）【比例・様式1-1、1-2、1-3】
- ・選挙区開票状況（候補者別開票区別得票数一覧）【選挙区・様式2】
- ・選挙区開票結果（開票区別得票総数）【選挙区・様式3】
- ・比例代表開票状況（総括表）【比例・様式2】
- ・比例代表開票状況（得票総数の開票区別政党等別一覧）【比例・様式3】
- ・比例代表開票状況（名簿登載者の得票総数の政党別一覧）【比例・様式4】
- ・比例代表開票結果（名簿登載者の得票総数の開票区別一覧）【比例・様式5】
- ・比例代表開票結果（開票区別投票総数）【比例・様式6】

- ③ 県政記者室へ提供する書類はすべて **B4版に拡大複写**すること。

- ④ 時間別投票速報（県計集計表）（投票結果を含む。）

（ア）代行端末班が「〇〇時〇〇分現在、選挙区（比例）投票結果（の訂正）印刷します。」と発声したら、プリンターへ行き、帳票の打ち出しを確認し、「〇〇時〇〇分現在、選挙区（比例）投票結果、（の訂正）印刷しました。」と発声する。

（イ）表の右上にある「時 分発表」の空白の欄に時間を記入して、投票状況の場合にはさらに帳票のすべてに「**中間報**」印を右肩に押し、訂正のある回示の場合は、訂正のある団体名の左側に「訂正 〇」と記入した上で、帳票を17部コピー機で複写し、県政記者室に持ち込み、「選挙区（比例）投票速報、〇〇時〇〇分です。（訂正箇所があります）」と発声し、配付する。

（報道関係者用15部、広報課用1部、選管事務局長用1部）

（ウ）選挙区において投票結果が確定した際の処理

代行端末班が「最終確定〇〇時〇〇分、選挙区（比例）投票結果、印刷します。」と発声したら、プリンターへ行き、帳票の打ち出しを確認し、「最終確定〇〇時〇〇分、選挙区（比例）投票結果、印刷しました。」と発声する。帳票のすべてに「**確定報**」印を、右肩に押した上で、17部コピー機で複写し、県政記者室に持ち込み、「最終確定〇〇時〇〇分、選挙区（比例）投票結果です。」と発声して配付すること。（帳票が2枚以上になる場合には、すべての帳票に印を押すこと。）

なお、確定報後の訂正の場合は、帳票のすべてに「**確定報**」印に加え「**訂正報**」印も右肩に押す。

（エ）配布する帳票が2枚以上になる場合には、クリップで留めること。

（オ）記者室配付を終えて本部に戻ったら「〇〇時〇〇分現在、選挙区（比例）投票結果、（の訂正）配付しました。」と発声。

（カ）処理終了後、原稿を時間順に整理しておくこと。

- ⑤ 時間別開票速報（県計集計表）（開票結果を含む。）

（ア）定時の開票速報については、④（ア）、（イ）と同様の処理を行うこと。

比例代表については、早め（毎時55分）の帳票印刷となること。

（イ）開票結果が確定した際には、④（ウ）と同様の処理を行うこと。

（ウ）処理終了後、原稿を時間順に整理しておくこと。

(2) 【訂正報の処理】

訂正報の電話があった場合、調整係に呼ばれるので、訂正市町村名、訂正する速報の別（投票または開票）を確認し、「△△市（町村）、投票（開票）結果、訂正報入ります。」と記者室で待機中の選管事務局長に第一報（電話：7700）を入れる。

指導係から訂正理由の説明があった後、訂正報の作成に移る。調整係から回付された訂正前データ入力票（訂

正前ファクシミリ)と訂正後データ入力票(訂正後ファクシミリ)を、所定様式(A3)に貼り付け、訂正理由を記入して、18部(B4)複写し、1部をメール送信係に渡すとともに17部と原稿を県政記者室へ持ち込む。選管事務局長に1部手交したのち、15部を各社の箱へ配付し、原稿(1枚目の左上にFと記入)でFネット送信を行い、1部を広報課の箱に入れる。(なお、3社が独自に設置しているFAXは送信する必要がない。)

① 投票速報の場合

(ア) 県集計の訂正時の定時確定処理時に、調整係から回付された訂正報を17部(B4)複写し、県政記者室に配付すること。

(イ) 原稿を使って同帳票を県政記者室のFネットで送信する。

(事務局長説明)

「選挙区(比例代表)□□時□□分投票結果の訂正です。△△町(市)に訂正があります。理由(原因)は、……………です。」

② 開票速報の場合

(ア) 開票速報の場合は直ちに記者室へ資料提供する。調整係から回付された新旧訂正報ファクシミリ送信票を17部(B4)複写し、県政記者室に配付すること。指導係が同行し、事務局長へ説明。

(事務局長説明)

「選挙区(比例代表)開票結果訂正です。理由(原因)は、……………です。」

(イ) 原稿を使って同じ帳票を県政記者室のFネットで送信する。

③ 選挙区及び比例代表の開票速報において、全市町村が確定した後に、訂正報が入った場合には、調整係の指示により、報道機関あて訂正報が入る旨を県政記者室のFネットにより一斉送信したあと、県集計表に修正箇所を明記したものを17部複写して発表する。

F 調整係

◎使用する電話及びファクシミリは下記のものとする。

◆電話	0857-26-7591
	0857-26-7058
	0857-26-7089(予備)
◆ファクシミリ	0857-26-8129

速報の進捗管理及び市町村との連絡調整

ア 速報全体の進捗を管理し、県サーバ画面及びチェックリストにより、処理状況の把握を行う。

イ 報道機関への報告時刻に、電算係に対して確定処理を指示する。

ウ 報告の遅い市町村に対し、適宜督促を行う。

エ 無効投票速報

(ア) 市町村からの報告が届き次第、投票速報、開票速報が報告済みであることを確認する。

(投開票速報が済んでいない場合、市町村に確認をとる。)

(イ) 投票速報、開票速報確認済のものを指導係に回付する。

(ウ) 指導係の確認を得て、選挙毎に市町村に対して解除連絡を行う。

①【集計作業】

ア 選挙区

公表の定時となったら、「代行端末班は新たなメールの受信をやめてください。」「□□時□□分現在(最終確定〇〇時〇〇分)、選挙区投票(開票)、状況(結果)、集計処理してください。」と発声し、電算係に集計処理開始を指示する。代行端末班の保存、印刷が終わったら、「メールの受信を再開してください。」と発声して通常処理に戻す。

イ 比例代表

中央選管への定時報告の10分前となったら、「代行端末班は新たなメールの受信をやめてください。」「□□時□□分現在(最終確定〇〇時〇〇分)、比例、投票(開票)、状況(結果)、集計処理してください。」と発声し、電算係に集計処理開始を指示する。代行端末班の保存、印刷が終わったら、「メールの受信を再開してください。」と発声して通常処理に戻す。

②【県サーバ異常時】

ア 市町村から受信したメールの件名と添付ファイル名に不具合が生じるなどの理由により、県サーバで異常が確認されたら、県端末班から市町村連絡票を受け取り、市町村委員会に電話で内容を確認し、処理方法を指示する。

イ 市町村委員会への指示後は、市町村連絡票へ処理済みである旨を記入し、処理確認票へホッチキスで添付し、県端末班へ回付する。

③【訂正報の処理】

市町村から訂正報の電話があったときは、

ア 電話を切らずに「△△町(市・村)、選挙区(比例)、投票(開票)結果、訂正報入ります。△△町(市・村)に係る作業は中断してください。」と発声。

(訂正に関係ない市町村の作業はできる限り止めない。)

イ 指導係及び発表係を呼ぶとともに、当該市町村データの処理状況(県サーバ等における処理状況)を確認する。また、指導係の確認を得た上で、発表係に第一報を行うことを指示する。

ウ 引き続き、電話を切らずに、市町村の速報担当者に訂正前後のチェックリストをファクシミリで送信済みであることを確認する。

エ 送信されたファクシミリを2部複写した上で、1部を県端末班に回付し、訂正前データの確認を行ってもら

う。もう1部は訂正報作成用に発表係へ回付する。

(県端末班は、データ確認の間、代行端末班の発声中止、発声再開の指示を行う。)

- オ 確認後そのまま電話を切らずに、指導係に替わり訂正理由を確認後、再度調整係に電話を替わる。
- カ 市町村から送られてきたファクシミリ送信票をもとに、訂正内容（すべてのデータを読み合わせ）を確認する。（市町村が訂正箇所には○印を付すことになっているが、漏れている場合は読み合わせをしながら○印を付す。）
- キ 市町村へ訂正後データの送信を指示し、受信後は、県端末班にファクシミリと訂正後データの確認を行ってもらう。
- ク 代行端末班がFD保存作業を終えた時点で通常処理に戻す。
- ケ 市町村は、ファクシミリを送信した後速やかに電話連絡を行うこととなっているが、県がファクシミリを受信したにもかかわらず電話報告がない場合には、県から連絡することとし、前項と同様の内容を確認すること。
- コ ファクシミリデータと送信されたファイルデータが一致しない旨県端末班から報告があった場合には、市町村に確認を行う。
なお、電話連絡を受けてから5分を経過しても代行端末でデータが受信できない場合には、市町村に督促し、速やかに送信出来ない理由を確認しておくこと。
- サ 既に県計が確定した速報について、訂正報が入ったときは、発表係に報道各社への連絡を指示するとともに、訂正報のファクシミリを1部複写してメール送信係に回付する。

④【オンライン不通時の処理】

- ア 市町村のオンラインが不通となったときは、第1報が電話（0857-26-7591、0857-26-7058）で入るので、
（ア）電話を切らずに「速報システム不通。送信できない報告は、△△町（市・村）、選挙区（比例）、投票（開票）結果です。」と発声する。
（イ）市町村の速報担当者に対して、オンライン復旧までの間は、ファクシミリ 0857-26-8129、電話 0857-26-7591、0857-26-7058により速報を行うことを指示し、「△△町（市・村）、ファクシミリ送信指示しました」と発声。
- イ 既にファクシミリを受信している場合には、発受信者間でファクシミリデータを読み上げ確認し、最後に発信者、受信者の氏名を相互に呼称して記入する。
- ウ 電話報告を受けた際にファクシミリを受信していない場合には、一旦電話を切り、電算係・県端末担当に口頭で連絡する。ファクシミリを受信後に、再度データ確認のため電話をかけるものとする。
電話を受けてから5分を経過してもファクシミリが到着しない場合には、市町村選挙管理委員会に督促し、速やかにファクシミリ送信できない理由を確認すること。
- エ ファクシミリの内容が確認された時は、電算係に回付する。

⑤【無効投票内訳】

- ア 無効投票内訳をファクシミリで受信したときは、全ての速報が受信されているのを確認した上で、指導係に回付すること。
- イ 県端末班のチェックリスト等により速報の未受信が確認された時は、市町村委員会に連絡し、データの送信を依頼するとともに、送信後に再度無効投票内訳についてファクシミリを送信するように依頼することとする。

⑥【解除連絡】

全ての作業の終了が確認され次第、市町村委員会に解除連絡を行う。

⑦【留意事項】

- 訂正報を処理する場合の回示の考え方は、以下のとおりである。
- ア 中間、最終に関わらず、訂正報は次の回示での処理になる。
- イ 訂正待ちの状態では回示確定時刻が到来した場合は、訂正報の到着を待たずに回示確定を行う。
回示確定後、訂正報が到着すれば次回示での処理となる。
- ウ 選挙毎の投票、開票のそれぞれの最終確定時には、調整係は、「選挙（比例）投票（開票）結果最終確定。定時刻は〇〇時〇〇分。確定処理してください。」と発声。この発声を受け、県端末担当は処理確認票に確定時刻を入力して確定処理を行う。

(4) 参議院議員通常選挙の投・開票状況公表時刻一覧表

区分	選挙区選挙					
	推定投票率	確定投票率		開票状況		
公表一覧	速報投票区投票速報	時間別投票速報		市町村別開票速報	時間別開票速報	
公表内容	県下9投票区の投票者数及び全体の推定投票率を公表	20時30分から30分おきに公表		各市町村から開票速報が入り次第公表	21時30分から30分おきに市町村の確定報と市の中間報を累計して候補者別得票数を公表	
公表様式	速報投票区投票状況一覧	選挙区投票結果(県計集計票) CSV	選挙区投票結果(選挙区・様式1-1、1-2、1-3)	選挙区開票結果(市町村別個票) CSV	選挙区開票状況(県計集計票) CSV	選挙区開票状況(選挙区・様式2)
		選挙区投票結果(県計集計票) エクセル			選挙区開票状況(県計集計票) エクセル	(最終確定時) 選挙区開票結果(選挙区・様式2、様式3)
公表項目	・投票者数・全体の推定投票率	・当日有権者数 ・投票者数 ・投票率		・候補者別得票数	・開票率 ・候補者別得票総数	
公表方法及び公表場所	県政記者室からFネット送信及び一覧表配布(17部)	各社にメール送信	県政記者室において一覧表配布(17部)	各社にメール送信	各社にメール送信	県政記者室において一覧表配布(17部)
公表時刻	9:00	20:30				
	* 10:00	21:00				
	* 11:00	21:30				21:30
	12:00	22:00				22:00
	13:00	22:30				22:30
	* 14:00	23:00				23:00
	15:00					23:30
	* 16:00					0:00
	17:00					0:30
	* 18:00					1:00
	19:00					1:30
	* 19:30					2:00
	20:00					2:30
						3:00
						3:30
						市からの開票状況(中間報)の発信(県の受信)は、それぞれ公表時刻の10分前

* 国への定時報告

区分	比例代表選挙				
	確定投票率		開票状況		
公表一覧	投票速報		市町村別開票速報	時間別開票速報	
公表内容	投票結果がまとめ次第		各市町村から開票速報が入り次第公表	23時から1時間おきに公表	
公表様式	比例代表投票結果(県計集計票) CSV	比例代表投票結果(比例・様式1-1、1-2、1-3)	比例代表開票結果(市町村別個票) CSV	比例代表開票結果(県計集計票) CSV	比例代表開票状況(比例・様式2、3、4) (最終確定時) 比例代表開票結果(比例・様式2、3、4、5、6)
	比例代表投票結果(県計集計票) エクセル			比例代表開票結果(県計集計票) エクセル	
公表項目	<ul style="list-style-type: none"> ・当日有権者数 ・投票者数 ・投票率 		<ul style="list-style-type: none"> ・政党別名簿登載者別得票数 	<ul style="list-style-type: none"> ・開票率 ・政党別名簿登載者別得票数 	
公表方法及び公表場所	各社にメール送信	県政記者室において一覧表配布(17部)	各社にメール送信	各社にメール送信	県政記者室において一覧表配布(17部)
公表時刻	投票結果がまとめ次第		各市町村から開票結果が入り次第公表		
				23:00 (22:55)	
				0:00 (23:55)	
				1:00 (0:55)	
				2:00 (1:55)	
				3:00 (2:55)	
				4:00 (3:55)	
				5:00 (4:55)	
				6:00 (5:55)	
				公表は、中央選管に報告した後とする。	

() は国への定時報告

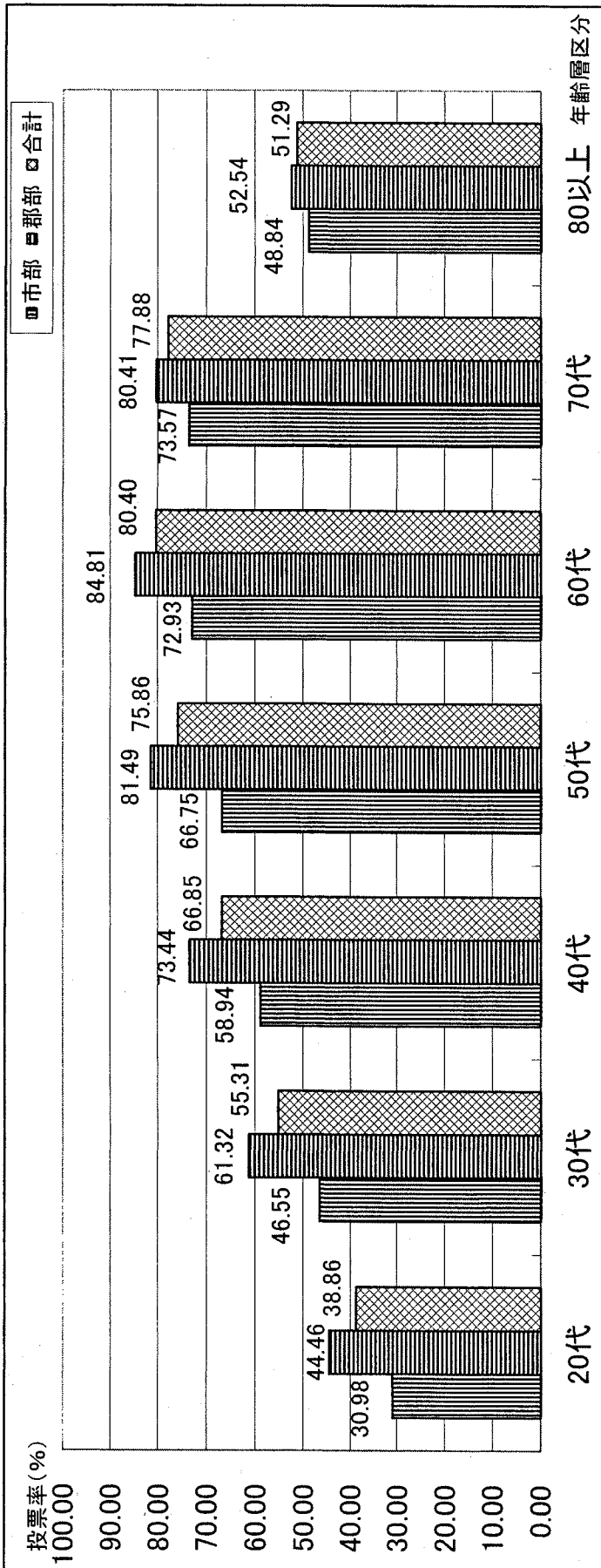
(5)開票予定場所・予定時刻表

団体名	開票の場所	選挙区			比例代表			
		投票速報予定時刻	開票開始予定時刻	開票速報予定時刻	投票速報予定時刻	開票開始予定時刻	開票速報予定時刻	
市	鳥取市	鳥取市民体育館	21:30	21:00	23:00	21:30	21:00	1:30
	米子市	鳥取県立武道館(主道場)	21:20	21:00	22:50	21:20	21:00	2:20
	倉吉市	倉吉市営体育センター	21:00	21:00	22:40	21:00	21:00	1:00
	境港市	境港市民会館大会議室	20:40	21:00	22:30	20:40	21:00	1:00
岩美郡	岩美町	岩美町中央公民館講堂	20:40	20:50	22:00	20:40	20:50	23:30
八頭郡	若桜町	若桜町山村開発センター(集会室)	20:50	20:50	21:50	20:50	20:50	23:50
	智頭町	智頭町総合センター(大集会室)	20:30	20:45	21:45	20:30	20:45	23:30
	八頭町	八東体育文化センター(2F 遠見山アリーナ)	21:00	21:10	22:30	21:00	21:10	0:30
東伯郡	三朝町	三朝町総合文化ホール(大会議室)	20:30	21:00	21:45	20:30	21:00	23:00
	湯梨浜町	羽合小学校(ふれあいホール)	20:40	21:00	22:30	20:45	21:40	0:30
	琴浦町	東伯勤労者体育センター	19:50	20:00	21:15	19:50	20:00	0:00
	北栄町	北栄町立大栄体育館	20:55	21:00	22:00	20:55	21:00	1:00
西伯郡	日吉津村	日吉津村農業者トレーニングセンター	20:10	20:15	21:10	20:10	20:15	23:00
	大山町	大山町保健福祉センターなわ(多目的ホール)	20:00	20:15	22:30	20:00	20:15	0:30
	南部町	プラザ西伯	20:30	21:00	21:45	20:30	21:00	23:15
	伯耆町	伯耆町農村環境改善センター(多目的ホール)	21:00	21:00	22:30	21:00	21:00	0:30
日野郡	日南町	日南町役場交流ホール	19:30	20:00	21:00	19:30	21:00	22:30
	日野町	日野町山村開発センター(大集会室)	20:40	20:45	21:45	20:40	20:45	23:00
	江府町	江府町山村開発センター	20:30	20:40	21:20	20:30	20:40	23:00

5 参考資料
(1) 年齢別投票率

第23回参議院議員通常選挙年齢別投票率(平成25年7月21日執行)(選挙区選挙)

抽出投票区数 19 有権者数 12,392 (男) 14,075 (女) (計) 26,467
 最高 65~69歳 80.00% 最高 65~69歳 83.22%
 最低 20~24歳 29.14% 最低 20~24歳 36.42%



(2) 被表彰者一覧 (総務大臣表彰)

日吉津村選挙管理委員会委員長 門脇眞一、大山町選挙管理委員会委員長 梅田徹
日野町明るい選挙推進協議会、三朝町明るい選挙推進協議会

(3) 参議院選挙区選出議員選挙立候補者等一覧表 (第1回～第23回)

回数	選挙期日	候補者名	得票数	党派	当落
1	昭和22年 4月20日	門田定蔵	83,742	日本社会党	当選(6年)
		田中信儀	76,912	諸派	当選(3年)
		山本鉄太郎	41,304	日本自由党	次点
2	昭和25年 6月4日 (満了5月2日)	中田吉雄	131,376	無所属	当選
		徳安実蔵	95,731	自由党	次点
		福本和夫	26,508	日本共産党	
3	昭和28年 4月24日 (満了5月2日)	三好英之	120,643	無所属	当選
		門田定蔵	66,053	日本社会党(左)	次点
		豊田収	38,388	無所属	
		山本義章	31,834	緑風会	
補欠	昭和31年 4月4日	中田吉雄	127,509	日本社会党	当選
		坂口平兵衛	118,247	自由民主党	次点
		裏坂憲一	6,178	日本共産党	
4	昭和31年 7月8日 (満了6月3日)	仲原善一	148,501	自由民主党	当選
		河崎巖	100,302	日本社会党	次点
		安田勝栄	-	日本共産党	
5	昭和34年 6月2日 (満了5月2日)	中田吉雄	117,991	日本社会党	当選
		宮崎正雄	117,952	自由民主党	次点
		米原昶	15,175	日本共産党	
		小田ス工	4,984	人遵主義政治連盟	
6	昭和37年 7月1日 (満了7月7日)	仲原善一	147,978	自由民主党	当選
		武部文	118,258	日本社会党	次点
		石尾実	7,516	日本共産党	
7	昭和40年 7月4日 (満了6月1日)	宮崎正雄	137,780	自由民主党	当選
		広田幸一	127,456	日本社会党	次点
		裏坂憲一	9,086	日本共産党	
8	昭和43年 7月7日 (満了7月7日)	足鹿覚	154,933	日本社会党	当選
		仲原善一	136,470	自由民主党	次点
		米村健	8,680	日本共産党	
9	昭和46年 6月27日 (満了7月3日)	宮崎正雄	141,455	自由民主党	当選
		野坂浩賢	122,372	日本社会党	次点
		裏坂憲一	16,372	日本共産党	
		和田実治	6,535	民社党	
10	昭和49年 7月7日 (満了7月7日)	石破二郎	192,120	自由民主党	当選
		北尾才智	126,999	日本社会党	次点
		裏坂憲一	15,575	日本共産党	
11	昭和52年 7月10日 (満了7月3日)	広田幸一	159,866	日本社会党	当選
		土谷栄一	154,625	自由民主党	次点
		川西基次	19,995	日本共産党	
12	昭和55年 6月22日 (満了7月7日)	石破二郎	209,025	自由民主党	当選
		新見修	107,996	日本社会党	次点
		保田睦美	18,176	日本共産党	

回数	選挙期日	候補者名	得票数	党派	当落
補欠	昭和 56 年 11 月 1 日	小林国司 新見修 保田睦美	166,839 113,480 14,551	自由民主党 日本社会党 日本共産党	当選 次点
1 3	昭和 58 年 6 月 26 日 (満了 7 月 9 日)	西村尚治 広田幸一 牛尾甫	160,242 152,043 13,656	自由民主党 日本社会党 日本共産党	当選 次点
1 4	昭和 61 年 7 月 6 日 (満了 7 月 7 日)	坂野重信 吉田達男 宅野亮介	190,141 145,126 18,281	自由民主党 日本社会党 日本共産党	当選 次点
1 5	平成元年 7 月 23 日 (満了 7 月 9 日)	吉田達男 西村尚治 宅野亮介	180,123 154,766 14,764	無所属 自由民主党 日本共産党	当選 次点
1 6	平成 4 年 7 月 26 日 (満了 7 月 7 日)	坂野重信 加茂篤代 佐々木康子 中西豊明	180,007 88,937 18,278 11,250	自由民主党 無所属 日本共産党 無所属	当選 次点
1 7	平成 7 年 7 月 23 日 (満了 7 月 22 日)	常田享詳 吉田達男 小野泰 小村勝洋	106,246 97,548 97,331 11,653	無所属 無所属 無所属 日本共産党	当選 次点
1 8	平成 10 年 7 月 12 日 (満了 7 月 25 日)	坂野重信 田村耕太郎 松永忠君 市谷知子 沖野寛	128,085 101,403 45,920 40,965 4,919	自由民主党 無所属 社会民主党 日本共産党 自由連合	当選 次点
1 9	平成 13 年 7 月 29 日 (満了 7 月 22 日)	常田享詳 佐藤誠 市谷知子 山本悟己 山口昌司	174,574 69,078 33,826 21,642 9,812	自由民主党 民主党 日本共産党 社会民主党 自由連合	当選 次点
補欠	平成 14 年 10 月 27 日	田村耕太郎 藤井省三 勝部日出男 市谷知子	90,274 86,562 73,383 22,187	無所属 無所属 諸派 日本共産党	当選 次点
2 0	平成 16 年 7 月 11 日 (満了 7 月 25 日)	田村耕太郎 土屋正秀 市谷知子	151,737 114,597 38,688	自由民主党 民主党 日本共産党	当選 次点
2 1	平成 19 年 7 月 29 日 (満了 7 月 28 日)	川上義博 常田享詳 市谷尚三	168,380 135,233 23,380	民主党 自由民主党 日本共産党	当選 次点
2 2	平成 22 年 7 月 11 日 (満了 7 月 25 日)	濱田和幸 小谷真理 岩永尚之	158,445 132,720 20,613	自由民主党 民主党 日本共産党	当選 次点
2 3	平成 25 年 7 月 21 日 (満了 7 月 28 日)	舞立昇治 川上義博 岩永尚之 吉岡ゆりこ 井上洋	160,783 82,717 19,600 6,782 6,158	自由民主党 民主党 日本共産党 幸福実現党 無所属	当選 次点